

Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX P1000

活用ガイド



見たいページを探す

- 製品をお使いになる前に本書をよくお読みください。
- 「安全上のご注意」(vi ページ) も必ずお読みになり、正しくお使いください。
- 「取り扱い上のご注意」の「● レンズを太陽に向けて撮影または放置しないでください」(188ページ) も必ずお読みください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。

Jp

🏠 見たいページを探す

閲覧中のページで右下の 🏠 をタッチまたはクリックすると、いつでもこのページに戻れます。

目次項目から探す

はじめに.....	iii
目次.....	x
各部の名称.....	1
撮影の準備.....	14
撮影と再生の基本操作.....	21
いろいろな撮影.....	30
いろいろな再生.....	79
動画.....	89
テレビ、プリンター、パソコンとの接続.....	102
メニューを使う.....	112
資料.....	185

目的から探す



安全上のご注意



マニュアル
フォーカス



露出設定の
ヒント



リモコン



操作部別
機能一覧



組み合わせて
使えない機能



故障かな？
と思ったら



索引

はじめに

はじめにお読みください

このたびは、COOLPIX P1000をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書の記載について

- ページ右下の  をタッチまたはクリックすると「見たいページを探す」(ii)を表示します。
- 本文中のマークについて

マーク	意味
	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
	関連情報が記載されているページです。

- SD/SDHC/SDXCメモリーカードを「メモリーカード」と表記することがあります。
- スマートフォンおよびタブレットを「スマートフォン」と表記することがあります。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- カメラの画面に表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[] で囲って表記しています。
- 本書では、画面上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。



ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないこととなります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

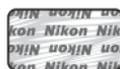
●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリ（電池、バッテリーチャージャー、ACアダプター、USBケーブル）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- ・専用Li-ionリチャージャブルバッテリーには、ニコン純正品を示すホログラムシールが貼られています。
- ・模倣品のLi-ionリチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの十分な性能が出せないことや、電池の異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。
- ・他社製品や模倣品と組み合わせると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。



ホログラム
シール

●説明書について

- ・説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- ・本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。
- ・説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- ・製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- ・「使用説明書」が破損などで判読できなくなったときは、PDFファイルを下記のウェブサイトからダウンロードできます。
<http://downloadcenter.nikonimglib.com>
ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。
- ・印刷した「活用ガイド」をご注文いただけます（有料）。詳細はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。



●著作権について

カメラで著作物を撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、個人として楽しむなどの目的であっても、実演や興行、展示物などは、撮影や録音が制限されている場合がありますのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはおお客様の責任において管理してください。

譲渡/廃棄前に、必ず、セットアップメニュー（☐☐113）の[設定クリアー]および通信メニュー（☐☐113）の[設定の初期化]でカメラの各種設定を初期化してください。初期化後、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってメモリー内のデータを完全に削除するか、セットアップメニュー（☐☐113）の[カードの初期化]でメモリーを初期化後、メモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。メモリーカードを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに十分ご注意ください。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B



安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
この説明書をお読みになった後は、いつでも参照できるように保管してください。

-  **危険** 「死亡または重傷を負うおそれ大きい内容」です。
-  **警告** 「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。
-  **注意** 「軽傷を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お守りいただく内容を、以下の図記号で区分しています。

-  は、してはいけない内容です。
-  は、実行しなければならない内容です。

警告

-  **禁止** 歩きながらや運転・操縦しながらの操作はしない
事故やけがの原因になります。
-  **分解禁止** 分解、修理または改造をしない
落下などによる破損で内部が露出したら、露出部に触らない
感電やけがの原因になります。
-  **実行** 熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、直ちに電池や電源を取り外す
放置すると、発火、やけどの原因になります。
-  **禁止** 水でぬらさない
ぬれた手で触らない
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電や発火の原因になります。



 **禁止** 電源を入れたまま長時間直接接触らない
低温やけどの原因になります。

 **禁止** 引火、爆発のおそれのある場所では使わない
プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使うと、爆発や火災の原因になります。

 **禁止** フラッシュを運転者にむけて発光しない
事故の誘発につながります。

 **禁止** 幼児の手の届くところに置かない
故障やけがの原因になります。
小さな付属品を誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。

 **禁止** ストラップ類を首に巻きつけない
事故の原因になります。

指定外の電池、充電器、ACアダプター、USBケーブルは使わない
指定の電池、充電器、ACアダプター、USBケーブルを使う際は、以下の点に注意する

 **禁止**

- ・コードやケーブルを傷つけたり、加工したりしない。
重いものを載せたり、加熱したり、引っばったり、無理に曲げたりしない
- ・海外旅行者用電子式変圧器(トラベルコンバーター)や DC/ACインバーターなどの電源に接続して使わない
発火、感電の原因になります。

 **禁止** 充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触らない
感電の原因になります。

 **接触禁止** 高温環境や低温環境では、直接接触らない
やけどや低温やけど、凍傷の原因になることがあります。



注意



禁止

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光して、内部部品の破損や発火の原因になることがあります。
逆光撮影では、太陽を画角から十分にずらしてください。
画角から太陽をわずかに外しても、発火の原因になります。



実行

使用が禁止されている場所では、電源をOFFにする

無線通信が禁止されている場所では、無線通信機能が作動しないようにする

医療機関や航空機内では、本機器が出す電磁波が、周囲の機器に悪影響を与えるおそれがあります。



実行

長時間使わないときは、電池やACアダプターを取り外す
故障や発火の原因になります。



接触 禁止

レンズなどの可動部には触らない
けがの原因になります。



接触 禁止

フラッシュを人体やものに密着させて発光させない
やけどや発火の原因になります。



禁止

外付けフラッシュ(スピードライト)を使うときは、内蔵フラッシュをポップアップさせない
破損や発火の原因になります。



禁止

夏場の車内や直射日光の当たる所など高温環境に放置しない
故障や発火の原因になります。



禁止

三脚などにカメラを取り付けたまま移動しない
故障やけがの原因になります。



危険 (電池について)

電池は誤った使い方をしない

注意事項を無視してお使いになると、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。



禁止

- 充電電池は、専用の充電電池以外を使わない
- 電池を火の中に入れてたり、加熱したりしない
- 電池を分解しない
- 電池をネックレスやヘアピンなどの金属類に接触させてショート(短絡)しない
- 電池、または電池の入った製品に強い衝撃を与えたり、投げたりしない



実行

指定の方法で充電する

液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。



実行

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の診察を受ける

放置すると、目に傷害を与える原因になります。

警告 (電池について)



禁止

電池を乳幼児の手の届く所に置かない

飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。



禁止

水につけたり、雨にぬらしたりしない

発火や故障の原因になります。

ぬれてしまったら、乾いたタオルなどで十分にふき取ってください。



禁止

変色・変形、そのほか異状に気づいたら使わない

所定の時間を超えても充電が完了しなければ、充電を中止する
放置すると、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。



実行

使用済みの電池は、ビニールテープなどで接点部を絶縁する
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因になります。



実行

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたら、すぐにきれいな水で洗い流す

放置すると、皮膚のかぶれなどの原因になります。



目次

見たいページを探す	ii
目次項目から探す	ii
目的から探す	ii
はじめに	iii
はじめにお読みください	iii
本書の記載について	iii
ご確認ください	iv
安全上のご注意	vi
各部の名称	1
カメラ本体	2
操作部別機能一覧	5
画像モニター / 電子ビューファインダーの表示内容	8
表示する情報を切り換える (DISPボタン)	8
撮影画面の表示内容	9
再生画面の表示内容	12
撮影の準備	14
ストラップの取り付け方	15
レンズキャップとレンズフードの取り付け方	15
電池とメモリーカードを入れる	16
電池やメモリーカードを取り出すには	16
電池を充電する	17
画像モニターを開く	18
電源を ON にして、カメラをセットアップする	19
撮影と再生の基本操作	21
画像を撮影する	22
内蔵フラッシュを使う	25
アクセサリシューカバー BS-1 (別売) の取り付け方	25
動画を撮影する	25
画像モニターと電子ビューファインダーを切り換える	26
画像を再生する	27
画像を削除する	28
削除画像選択画面の操作方法	29
いろいろな撮影	30



撮影モードを選ぶ.....	31
📷 (オート撮影) モード.....	32
シーンモード (撮影状況に合わせて撮影する).....	33
シーンモードのヒントとご注意.....	34
かんたんパノラマの撮影方法.....	41
かんたんパノラマの再生方法.....	43
クリエイティブモード (効果を付けて撮影する).....	44
P、S、A、M モード (露出を設定して撮影する).....	46
露出設定のヒント.....	47
シャッタースピードの制御範囲 (P、S、A、M モード時).....	49
バルブ撮影とタイム撮影 (M モード時).....	50
U (ユーザーセッティング) モード.....	52
U モードに設定を登録する (User Setting 登録).....	53
マルチセレクターで設定する撮影機能.....	54
フラッシュモード.....	55
セルフタイマー.....	58
笑顔自動シャッター (笑顔を自動撮影する).....	60
オートフォーカスでピントを合わせる.....	61
フォーカスモードを設定する.....	61
シャッターボタンの半押しと全押し.....	62
ターゲットファインドAFについて.....	63
顔認識撮影について.....	64
美肌機能について.....	65
オートフォーカスが苦手な被写体.....	65
フォーカスロック撮影.....	66
マニュアルフォーカスでピントを合わせる.....	67
露出補正 (明るさを調節する).....	69
Fn (ファンクション) ボタンを使う.....	70
ズームを使う.....	71
フラッシュ、セルフタイマー、フォーカスモードの初期設定一覧.....	73
撮影時に組み合わせて使えない機能.....	75

いろいろな再生.....	79
拡大表示.....	80
サムネイル表示 / カレンダー表示.....	81
連写した画像 (連写グループ) の再生と削除.....	82
連写グループの再生方法.....	82
連写グループの画像を削除する.....	83
画像の編集 (静止画).....	83
画像編集の前に.....	83
簡単レタッチ (コントラストと鮮やかさを高める).....	84
D- ライティング (画像の暗い部分を明るく補正する).....	84



美肌 (肌をなめらかにする).....	85
フィルター効果 (デジタルフィルター).....	86
スモールピクチャー (画像サイズを小さくする).....	87
トリミング (画像の一部を切り抜く).....	88
動画.....	89
動画の基本的な撮影と再生.....	90
動画撮影中に静止画を記録する.....	93
マニュアル動画 (露出を設定して動画撮影する).....	94
タイムラプス動画を撮影する.....	96
スーパーラプス動画を撮影する.....	98
動画再生中の操作.....	99
動画の編集.....	100
動画の必要な部分だけを切り出す.....	100
動画の1フレームを静止画として保存する.....	101
テレビ、プリンター、パソコンとの接続.....	102
画像の活用方法.....	103
テレビで鑑賞する.....	104
パソコンを使わずにプリントする.....	105
カメラとプリンターを接続する.....	105
1コマずつプリントする.....	106
複数の画像をプリントする.....	107
パソコンに画像を取り込む (NX Studio).....	109
NX Studioをインストールする.....	109
NX Studioを使ってパソコンに画像を取り込む.....	109
メニューを使う.....	112
メニューの操作方法.....	113
画像選択画面の操作方法.....	115
メニュー項目一覧.....	116
撮影メニュー.....	116
マニュアル動画メニュー.....	117
動画メニュー.....	117
再生メニュー.....	118
通信メニュー.....	118
セットアップメニュー.....	119
撮影メニュー (撮影モード共通).....	121
画質.....	121
画像サイズ.....	123
撮影メニュー (P、S、A、Mモード).....	124
Picture Control (COOLPIXピクチャーコントロール).....	124



CSM Picture Control	
(COOLPIXカスタムピクチャーコントロール)	128
ホワイトバランス (色合いの調整)	129
測光方式	132
連写	133
ISO感度設定	137
AEブラケティング	139
AFエリア選択	140
AFモード	143
調光補正	143
ノイズ低減フィルター	144
アクティブ D- ライティング	144
多重露出	145
ズームメモリー	147
起動ポジション設定	148
M モード露出反映表示	148
マニュアル動画メニュー	149
動画メニュー	150
動画設定	150
AFモード	153
電子手ブレ補正	154
風切り音低減	154
ズームマイク	155
フレームレート設定	155
外付けマイク感度	156
再生メニュー	157
送信画像の指定	157
スライドショー	158
プロテクト設定	159
画像回転	159
連写グループ表示方法	160
連写の代表画像選択	160
通信メニュー	161
文字入力画面の操作方法	163
セットアップメニュー	164
地域と日時	164
カードなし時リリース	166
モニター設定	167
EVFの自動切り換え (電子ビューファインダーの自動切り換え)	169
日付写し込み	169
セルフタイマー解除設定	170
手ブレ補正	171



AF補助光.....	172
電子ズーム	172
サイドズームレバー設定	173
クイックバックズーム	173
コントロールリング設定	174
AE-L/AF-Lボタン設定.....	175
操作音	175
オートパワーオフ.....	176
カードの初期化（フォーマット）.....	176
言語 /Language	176
HDMI	177
パソコン接続充電.....	179
画像コメント	180
著作権情報	181
位置情報.....	182
Av/Tv 操作切り換え.....	182
連番リセット	183
ピーキング	184
設定クリアー	184
バージョン情報	184

資料.....	185
無線通信機能についてのご注意.....	186
取り扱い上のご注意.....	188
カメラについて	188
電池について	189
本体充電ACアダプターについて	190
メモリーカードについて	191
お手入れ方法	192
クリーニングについて	192
保管について	192
警告メッセージ	193
故障かな？と思ったら.....	196
記録データのファイル名	205
使用できるアクセサリ	206
スピードライト（外部フラッシュ）	208
リモコン ML-L7	210
主な仕様.....	215
使用できるメモリーカード	220
索引	222
ニコンプラザについて.....	227
修理に関するお問い合わせ先.....	227



修理サービスのご案内.....	228
製品の使い方に関するお問い合わせ先.....	229



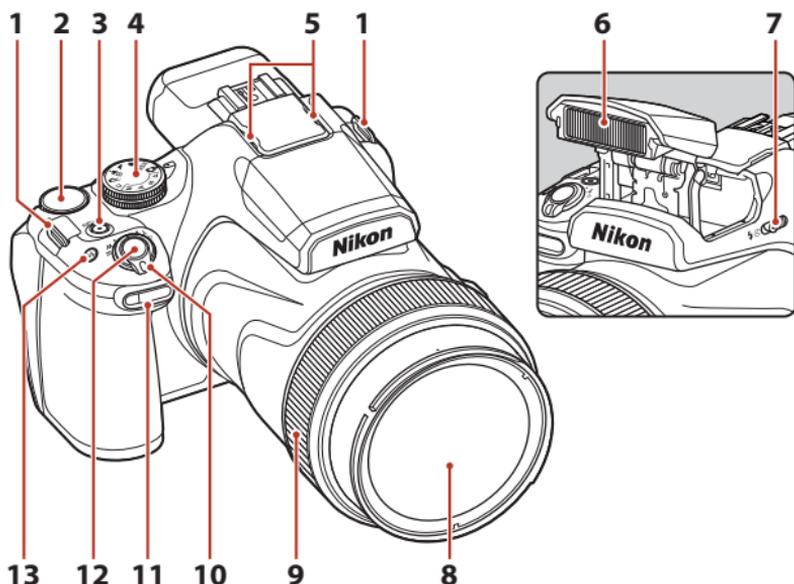
各部の名称

カメラ本体	2
操作部別機能一覧	5
画像モニター / 電子ビューファインダーの表示内容	8



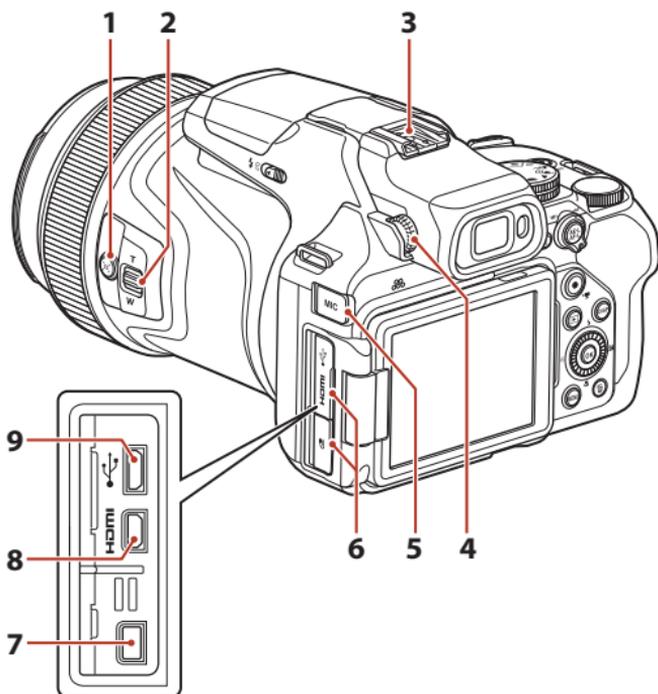
カメラ本体

内蔵フラッシュポップアップ時



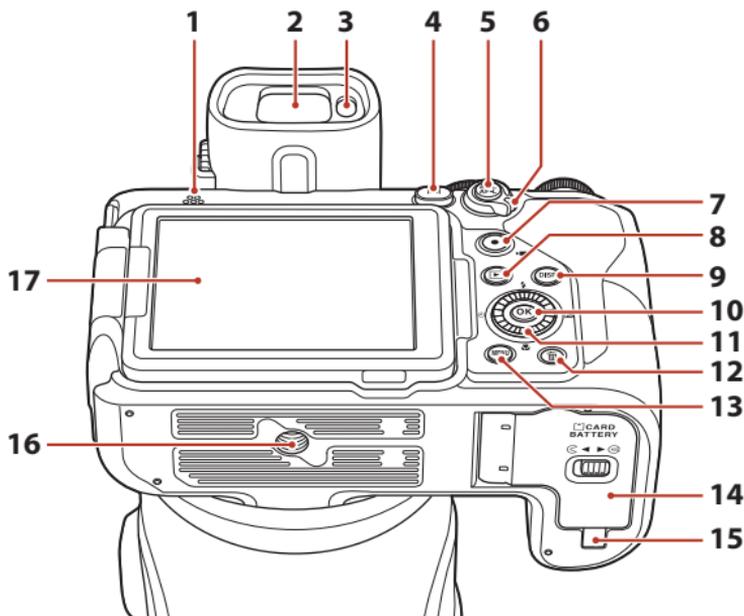
1	ストラップ取り付け部..... 15	9	コントロールリング ...67、 174
2	コマンドダイヤル 46		ズームレバー71
3	電源スイッチ/電源ランプ (充電ランプ) 17、 19、 24	10	W : 広角ズーム71
4	撮影モードダイヤル22、 31		T : 望遠ズーム71
5	マイク (ステレオ)90、 155		: サムネイル表示81
6	内蔵フラッシュ 25、 55		Q : 拡大80
7	(フラッシュポップアップ) レバー..... 55		セルフタイマーランプ58
8	レンズ	11	赤目軽減ランプ57
			AF補助光 172
		12	シャッターボタン 24、 62
		13	Fn (ファンクション) ボタン70





1	⏏ (クイックバックズーム) ボタン72	5	外部マイク端子カバー207
2	サイドズームレバー71 W : 広角ズーム71 T : 望遠ズーム71	6	端子カバー 17、103
3	アクセサリシュー ...25、208	7	アクセサリターミナル ...207
4	視度調節ダイヤル26	8	HDMIマイクロ端子 (Type D)103
		9	Micro-USB端子 17、103



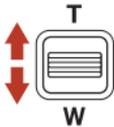


1	スピーカー.....99、175	10	OK (決定) ボタン.....113
2	電子ビューファインダー.....26	11	ロータリーマルチセレクター (マルチセレクター) ※54、113
3	アイセンサー.....26	12	削除 (削除) ボタン.....28
4	モニター (モニター) ボタン.....26	13	MENU (メニュー) ボタン113、116
5	AE-L/AF-L ボタン66、175	14	電池/メモリーカードカバー16
6	フォーカスモードセレクター61、67	15	パワーコネクターカバー (別売 ACアダプター用).....206
7	動画撮影 (動画撮影) ボタン25、90	16	三脚ネジ穴
8	再生 (再生) ボタン.....27	17	画像モニター.....8、18
9	DISP (表示切り換え) ボタン8		

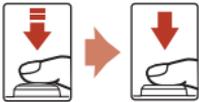
※ 本書では、マルチセレクターの上下左右を押す操作を▲▼◀▶と表記しています。



操作部別機能一覧

操作部	主な機能	
 撮影モードダイヤル	撮影時	撮影モードを選ぶ (P31)
 フォーカスモード セレクター	撮影時	AF (オートフォーカス)、または MF (マニュアルフォーカス) を選ぶ
 AE-L (AE-L/AF-L) ボタン	撮影時	露出やピントを固定する
 ズームレバー	撮影時	T (望遠) 側で被写体を大きく、 W (広角) 側で広い範囲を写す
	再生時	<ul style="list-style-type: none"> • T (望遠) 側で拡大表示、W (広角) 側でサムネイル/カレンダー表示する • 動画再生の音量を調節する
 クイックバック ズーム ボタン	撮影時	一時的に画角 (見える範囲) を広げる
 サイドズームレバー	撮影時	[サイドズームレバー設定] で割り当てた機能を使う <ul style="list-style-type: none"> • ズームレバー (初期設定) : T (望遠) 側で被写体を大きく、W (広角) 側で広い範囲を写す • MF レバー : フォーカスモードセレクターが MF 時にピントをマニュアルで合わせる



操作部	主な機能	
 <p>シャッターボタン</p>	撮影時	半押し：ピントと露出を合わせる 全押し：シャッターをきる
	再生時	撮影に戻る
 <p>● (▶ 動画撮影) ボタン</p>	撮影時	動画撮影を開始/終了する
	再生時	撮影に戻る
 <p>マルチセレクター</p>	撮影時	<ul style="list-style-type: none"> 撮影画面の表示中：以下の設定画面を表示する <ul style="list-style-type: none"> 上 (▲)：⚡ (フラッシュモード) 左 (◀)：⌚ (セルフタイマー/笑顔自動シャッター) 下 (▼)：👁 (フォーカスモード) ※ 右 (▶)：🖼 (露出補正) 撮影モード A、M、▶ (マニュアル動画) 時：回転して絞り値を設定する <p>※ フォーカスモードセレクターが AF 時のみ。</p>
	再生時	<ul style="list-style-type: none"> 再生画面の表示中：上 (▲)、左 (◀)、下 (▼)、右 (▶)、または回転で表示画像を切り換える 拡大表示中：表示位置を移動する
	設定時	▲▼◀▶または回転で項目を選ぶ、OK ボタンで選択を決定する
 <p>OK (決定) ボタン</p>	再生時	<ul style="list-style-type: none"> 連写グループの画像を 1 コマずつ表示する (📄28) かんたんパノラマで撮影した画像をスクロール再生する 動画を再生する サムネイル表示/拡大表示から 1 コマ表示に戻る
	設定時	マルチセレクターで選んだ項目を、決定する



操作部	主な機能	
 <p>コマンドダイヤル</p>	撮影時	<ul style="list-style-type: none"> 撮影モード P 時 (□46)：プログラムシフトを設定する 撮影モード S、M (□46)、 (マニュアル動画) の [マニュアル露出] 時：シャッタースピードを設定する
	再生時	拡大した画像の倍率を切り換える
 <p>コントロールリング</p>	撮影時	<ul style="list-style-type: none"> フォーカスモードセレクターが AF 時：[コントロールリング設定] (□119) で選んだ項目の設定画面を表示する※ フォーカスモードセレクターが MF 時：ピントをマニュアルで合わせる <p>※ 撮影モードによっては、使えません。</p>
 <p>MENU (メニュー) ボタン</p>	撮影時/再生時	メニューを表示/終了する (□113)
 <p>Fn (ファンクション) ボタン</p>	撮影時	撮影モード P 、 S 、 A 、 M 、 U 時：[連写] や [手ブレ補正] などの設定メニューを表示/終了する
 <p>□ (モニター) ボタン</p>	撮影時/再生時	画像モニターと電子ビューファインダーを切り換える (□26)
 <p>DISP (表示切り換え) ボタン</p>	撮影時/再生時	画面に表示する情報を切り換える
 <p>▶ (再生) ボタン</p>	撮影時	画像を再生する (□27)
	再生時	<ul style="list-style-type: none"> 電源 OFF 時に長押しして、再生モードで電源を ON にする (□27) 撮影に戻る
 <p>☒ (削除) ボタン</p>	撮影時	最後に保存した画像を 1 コマ削除する (□28)
	再生時	画像を削除する (□28)

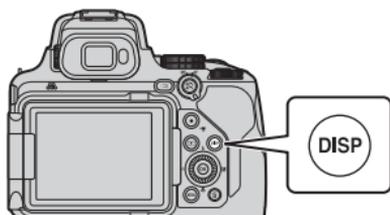


画像モニター / 電子ビューファインダーの表示内容

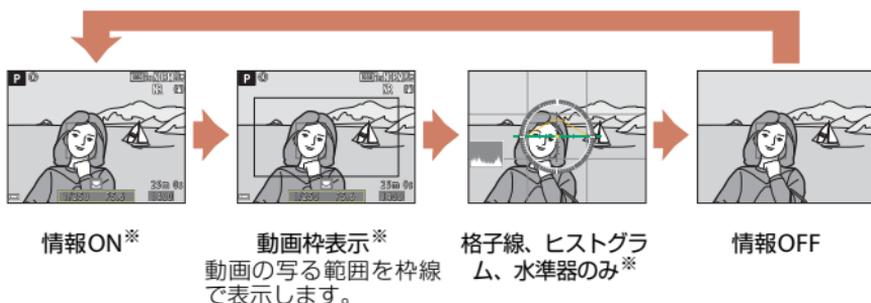
撮影、再生画面に表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。

表示する情報を切り換える (DISP ボタン)

DISP (表示切り換え) ボタンを押すたびに、撮影時や再生時の画面に表示する情報を切り換えられます。

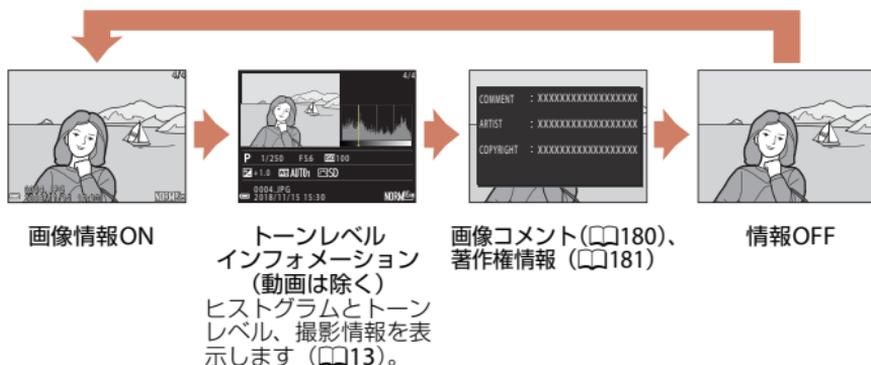


撮影時

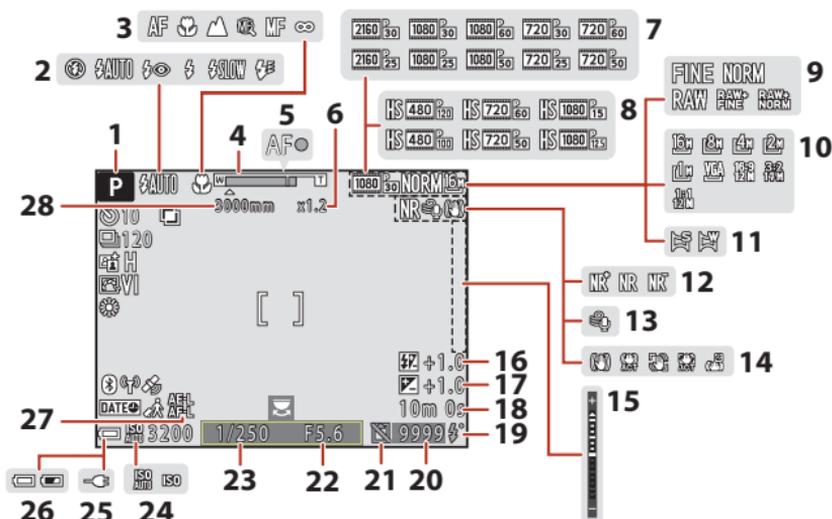


※ セットアップメニュー [モニター設定] (□167) の設定によっては、格子線、ヒストグラム、水準器が表示されます。

再生時

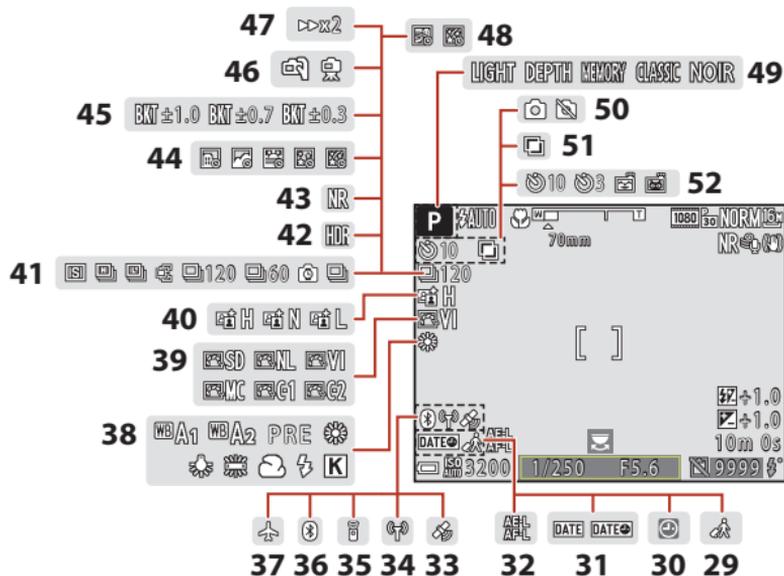


撮影画面の表示内容



1	撮影モード	31	16	調光補正	143
2	フラッシュモード	55	17	露出補正値	69
3	フォーカス設定	61、67	18	記録可能時間 (動画)	90、91
4	ズーム表示	62、71	19	レディーライト	55
5	AF表示	24	20	記録可能コマ数 (静止画)	22、122
6	電子ズーム倍率	71	21	カードなし時リリース許可表示 (メモリーカード未挿入時)	166、198
7	動画設定 (通常速度の動画)	150	22	絞り値	46
8	動画設定 (HS動画)	151	23	シャッタースピード	46
9	画質	121	24	ISO感度表示	137
10	画像サイズ	123	25	本体充電ACアダプター接続中表示	
11	かんたんパノラマ	41	26	電池残量表示	22
12	ノイズ低減フィルター	144	27	AE-L/AF-Lマーク (静止画)	66、175
13	風切り音低減	154	28	焦点距離 (35mm判換算)	71、147
14	手ブレ補正表示	171			
15	電子手ブレ補正表示	154			
16	調光補正	143			
17	露出補正値	69			
18	記録可能時間 (動画)	90、91			
19	レディーライト	55			
20	記録可能コマ数 (静止画)	22、122			
21	カードなし時リリース許可表示 (メモリーカード未挿入時)	166、198			
22	絞り値	46			
23	シャッタースピード	46			
24	ISO感度表示	137			
25	本体充電ACアダプター接続中表示				
26	電池残量表示	22			
27	AE-L/AF-Lマーク (静止画)	66、175			
28	焦点距離 (35mm判換算)	71、147			



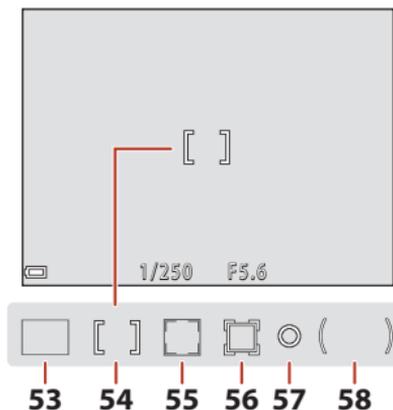


29 訪問先.....	164	41 連写モード.....	38、40、133
30 日時未設定.....	164、197	42 逆光 (HDR).....	37
31 日付写し込み.....	169	43 連写NR撮影/通常撮影.....	34、36
32 AE-L/AF-Lマーク (動画).....	91、175	44 タイムラプス動画.....	96
33 位置情報.....	182	45 AEブラケットング.....	139
34 Wi-Fi通信表示.....	162	46 手持ち撮影/三脚撮影.....	35、36
35 Bluetoothリモコン接続表示.....	213	47 再生倍速.....	98
36 Bluetooth通信表示.....	162	48 比較明合成.....	39
37 機内モード.....	161	49 効果グループ (クリエイティブモード).....	44
38 ホワイトバランス.....	129	50 動画撮影中の静止画記録.....	93
39 COOLPIX ピクチャーコントロール.....	124	51 多重露出.....	145
40 アクティブD-ライティング.....	144	セルフタイマー.....	58
		笑顔自動シャッター.....	60
		ペット自動シャッター.....	38

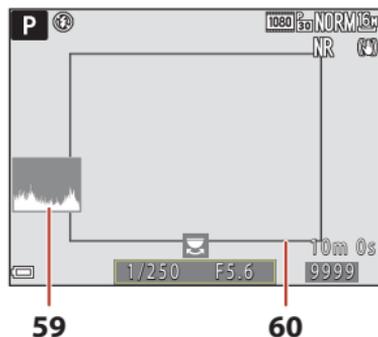
各部の名称

画像モニター / 電子ビューファインダーの表示内容

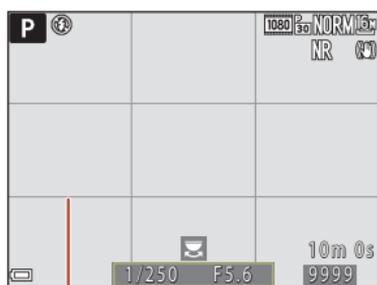




53 54 55 56 57 58



59 60



61

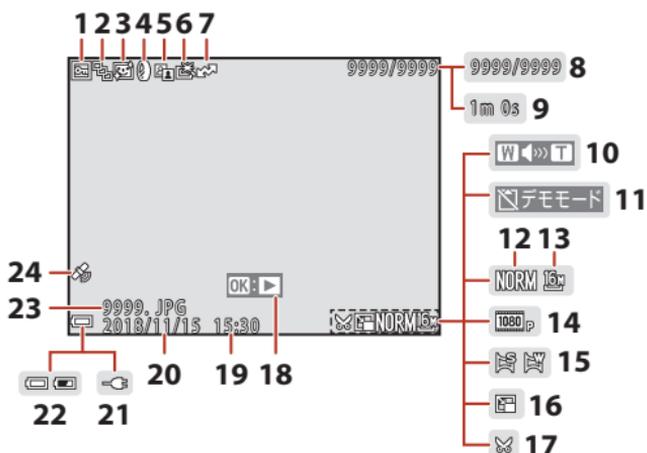


62

- | | | |
|-----------|---|--------------|
| 53 | AFエリア (ターゲットファイン
ドAF)..... | 63、141 |
| 54 | AFエリア (中央/マニュアル)
..... | 33、66、140 |
| 55 | AFエリア (顔認識、ペット検出)
..... | 38、60、64、140 |
| 56 | AFエリア (ターゲット追尾)
..... | 141、142 |
| 57 | スポット測光範囲..... | 132 |
| 58 | 中央部重点測光範囲..... | 132 |
| 59 | ヒストグラム表示..... | 167 |
| 60 | フレーミング枠 (月、鳥モード
またはクイックバックズーム
時)..... | 40、72 |
| 61 | 格子線表示..... | 167 |
| 62 | 水準器表示..... | 167、168 |



再生画面の表示内容

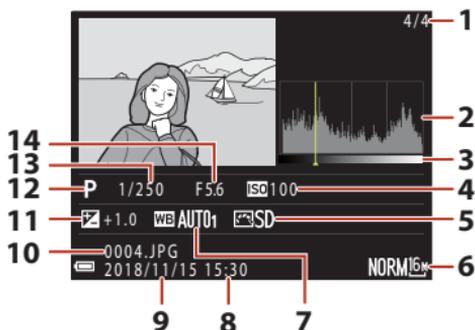


1	プロテクト表示.....	159	14	動画設定.....	150
2	連写グループ表示（[1枚ずつ]設定時）.....	160	15	かんたんパノラマ表示.....	43
3	美肌編集済み表示.....	85	16	スモールピクチャー.....	87
4	フィルター効果済み表示.....	86	17	トリミング.....	88
5	D-ライティング済み表示.....	84		かんたんパノラマ再生ガイド.....	43
6	簡単レタッチ済み表示.....	84	18	連写グループ再生ガイド.....	82
7	送信予約済み表示.....	157		動画再生ガイド.....	90
8	画像の番号/全画像数		19	撮影時刻	
9	動画の再生時間		20	撮影日	
10	音量表示.....	99	21	本体充電ACアダプター接続中表示	
11	カードなし時リリース許可表示（メモリーカード未挿入時）.....	166	22	電池残量表示.....	22
12	画質.....	121	23	ファイル名.....	205
13	画像サイズ.....	123	24	位置情報記録済み表示.....	182



トーンレベルインフォメーション表示

ハイライト部の白とびや暗部の黒つぶれの状態を、ヒストグラム表示やトーン（明暗）レベルごとの点滅表示などで確認できます。露出補正などで画像の明るさを調節する際の目安になります。



1	画像の番号/全画像数	8	撮影時刻	19、164
2	ヒストグラム※ ¹	9	撮影日	19、164
3	トーンレベル※ ²	10	ファイル名	205
4	ISO感度	11	露出補正值	69
5	COOLPIX ピクチャーコントロール	12	撮影モード	31
6	画質/画像サイズ	13	シャッタースピード	46
7	ホワイトバランス	14	絞り値	46

※1 ヒストグラムは、画像の明るさの分布を表すグラフです。横軸は輝度を示し、左へ行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなります。縦軸は画素数を示します。

※2 トーンレベルは、明暗のレベルを表します。マルチセレクターの◀▶または回転で確認するトーンレベルを選ぶと、選んだトーンレベルに対応する画像の部分が点滅します。



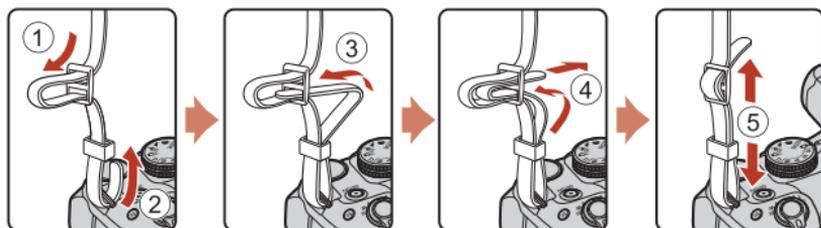
撮影の準備

ストラップの取り付け方.....	15
レンズキャップとレンズフードの取り付け方.....	15
電池とメモリーカードを入れる.....	16
電池を充電する.....	17
画像モニターを開く.....	18
電源を ON にして、カメラをセットアップする.....	19



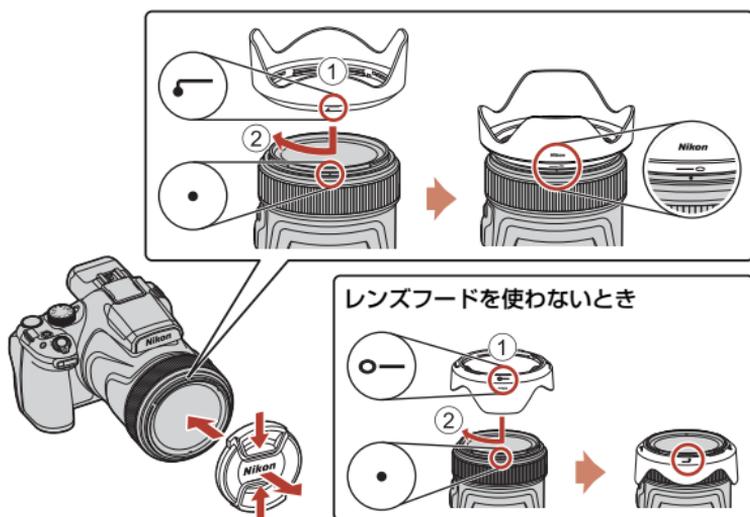
ストラップの取り付け方

左右2カ所に取り付けます。

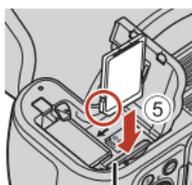
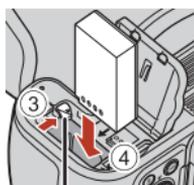


レンズキャップとレンズフードの取り付け方

- 撮影しないときは、レンズキャップをレンズに取り付け、レンズを保護してください。
- レンズフードは画像に悪影響を及ぼす光線をカットし、カメラの保護にも役立ちます。ただし、フラッシュ撮影時やAF補助光が必要な撮影では、レンズフードを使わないでください。



電池とメモリーカードを入れる



電池ロックレバー

メモリーカード
スロット

- 電池は、+と-を正しい向きにし、オレンジ色の電池ロックレバーをずらしながら (③)、奥まで差し込みます (④)。
- メモリーカードは、正しい向きでカチッと音がするまで差し込みます (⑤)。
- 電池やメモリーカードの向きを間違えると、故障の原因になりますので、ご注意ください。
- メモリーカードの書き込み禁止スイッチがロックされていると、撮影、画像の削除、カードの初期化はできません。

☑ メモリーカードの初期化について

他の機器で使ったメモリーカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。

- メモリーカードを初期化すると、メモリーカード内のデータは、すべて削除されます。初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- メモリーカードをカメラに入れ、MENU ボタンを押し、セットアップメニュー (☞113) の [カードの初期化] を選びます。

電池やメモリーカードを取り出すには

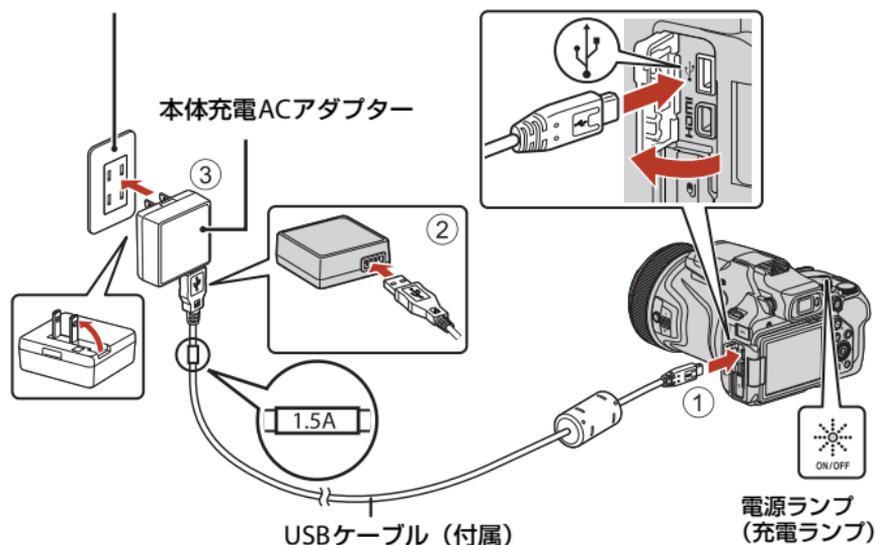
電源をOFFにして、電源ランプと画面の消灯を確認してから、電池/メモリーカードカバーを開けます。

- 電池ロックレバーをずらすと、電池が押し出されます。
- メモリーカードを指で軽く押し込むと、メモリーカードが押し出されます。
- カメラを使った直後は、カメラや電池、メモリーカードが熱くなっていることがありますので、ご注意ください。



電池を充電する

家庭用コンセント



- 電池を入れたカメラを、図のように家庭用コンセントに接続すると充電が始まります。充電中は電源ランプ（充電ランプ）がゆっくり点滅します。
- 充電が終わると、電源ランプが消灯します。コンセントから本体充電ACアダプターを外し、USBケーブルを外してください。充電時間は、残量がない電池の場合、約3時間です。
- 電源ランプが速い点滅を繰り返す場合は、充電できません。以下の原因が考えられます。
 - 充電可能な温度ではない。
 - USBケーブルまたは本体充電ACアダプターが正しく接続されていない。
 - 電池に異常がある。



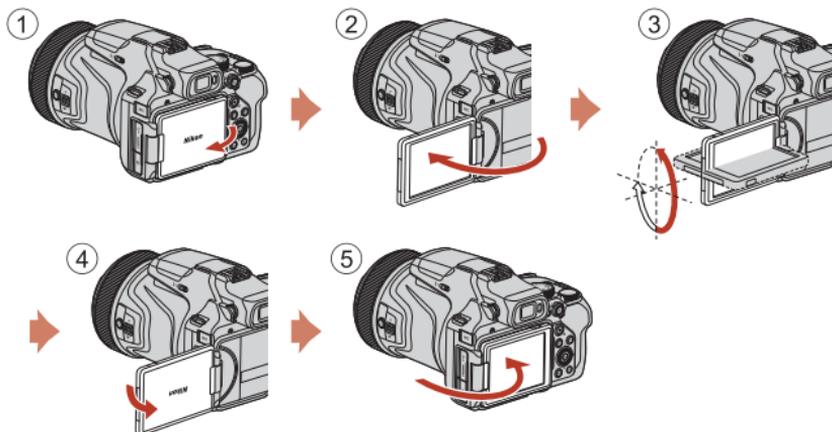
✓ USBケーブルについてのご注意

- UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。
- プラグは形状と向きを確認して、まっすぐに抜き差ししてください。

✓ 充電についてのご注意

- 充電中もカメラを操作できますが、充電時間は長くなります。操作中は電源ランプ（充電ランプ）は消灯します。
- EH-73P以外の本体充電ACアダプター、市販のUSB-ACアダプター、携帯電話用充電器は絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。

画像モニターを開く



- 画像モニターは、向きや角度を調節できます。通常は⑤の状態でお使いください。
- カメラを使わないときや持ち運ぶときは①の状態にしてください。

✓ 画像モニターについてのご注意

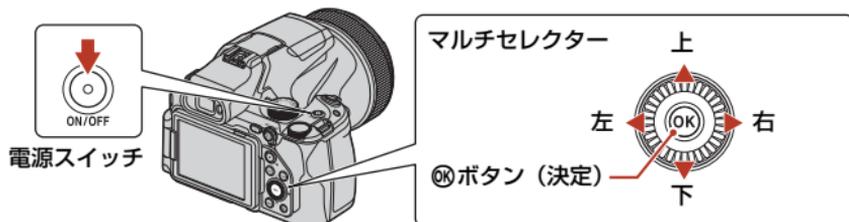
- カメラにケーブル類やアクセサリーを装着すると、画像モニターの可動範囲が制限されることがあります。
- 画像モニターを動かすときは、接続部が破損しないよう、無理な力を加えず、可動範囲内でゆっくりと動かしてください。



電源をONにして、カメラをセットアップする

1 カメラの電源をONにする

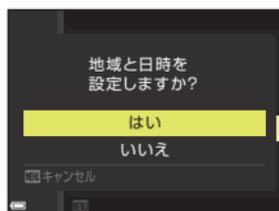
- 設定項目の変更や決定にはマルチセレクターを使います。



- 言語選択の画面が表示されます。マルチセレクターの▲▼で言語を選び、OK ボタンを押して決定します。国や地域によって、表示される言語は異なります。
- 言語はYセットアップメニュー (□113) の [言語/Language] で変更できます。



2 [はい] を選び、OK ボタンを押す



3 自宅のある地域 (現在地) を選び、OK ボタンを押す

- ▲を押すと地図上部に📍が表示され、夏時間として設定されます。取り消すには▼を押します。



4 ▲▼で日付の表示順を選び、OK ボタンを押す

🏠 撮影の準備

電源をONにして、カメラをセットアップする



5 日付と時刻を設定して、**OK**ボタンを押す

- ◀▶で項目を選び、▲▼で日時を合わせます。
- [分]を選んで**OK**ボタンを押し、設定を確認します。



6 確認画面が表示されたら、▲▼で [はい] を選び、**OK**ボタンを押す

- セットアップが完了すると、撮影画面になります。

地域と日時の設定を変更するには

▼セットアップメニューの「**地域と日時**」で設定します。

「**タイムゾーン**」で、夏時間の設定をオンにすると時計が1時間早くなり、オフにすると1時間戻ります。

SnapBridgeアプリを使用するには

カメラとSnapBridgeアプリをインストールしたスマートフォンを無線接続すると、カメラで撮影した画像をスマートフォンに送信することや、リモート撮影などができます。接続方法は、付属の「SnapBridge接続ガイド」をご覧ください。



撮影と再生の基本操作

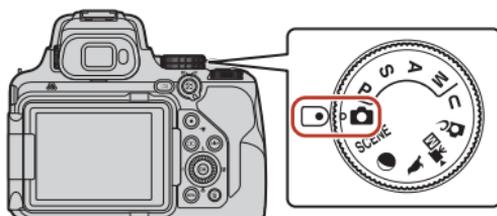
画像を撮影する	22
画像を再生する	27
画像を削除する	28



画像を撮影する

📷 (オート撮影) モードを例に説明します。📷 (オート撮影) モードでは、さまざまな撮影状況で標準的な撮影ができます。

1 撮影モードダイヤルを回して、📷に合わせる



- 電池残量表示
🔋：電池残量があります。
🔋：電池残量が少なくなりました。
- DISP (表示切り換え) ボタンを押すたびに、画面に表示される情報が切り換わります。

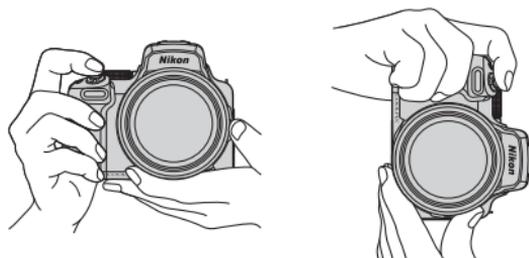
記録可能コマ数



電池残量表示

2 カメラを構える

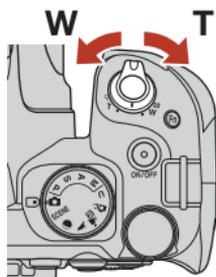
- レンズやフラッシュ、AF 補助光、マイク、スピーカーなどに、指などがつかないようにご注意ください。



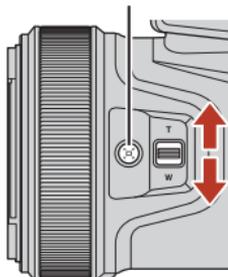
3 構図を決める

- ズーム位置を変えるには、ズームレバーまたはサイドズームレバーを動かします。
- 望遠側で撮影中に被写体を見失ったときは、**W** (クイックバックズーム) ボタンを押すと、見える範囲が一時的に広がり、被写体をとらえやすくなります。

広い範囲を写す 大きく写す



W ボタン

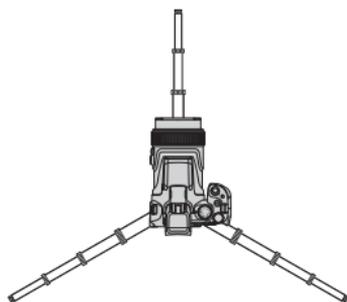


T 大きく写す

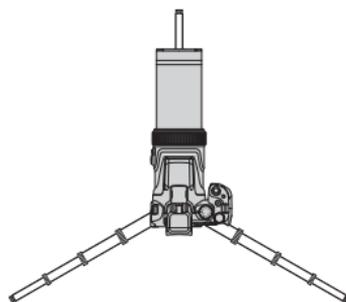
W 広い範囲を写す

三脚などの使用について

- 以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
 - 暗い場所でフラッシュが Ⓢ (発光禁止) のとき
 - ズーム位置が望遠側のとき
- 三脚などで固定して撮影するときは、補正機能の誤動作を防ぐためセットアップメニュー (□□113) の [手ブレ補正] を [しない] にしてください。
- カメラを三脚などに取り付けたら、レンズのズーム位置を変えても転倒しないことをお確かめください。
三脚の脚を1本は被写体側に、他の2本は撮影者側に向けて、等間隔になるよう広げてください。
- 三脚で固定しても、カメラ操作による振動で、オートフォーカスが少しずれることがあります。シャッターボタンは、直前のカメラ操作から数秒おいて、ゆっくり押ししてください。



広角側にズーム時

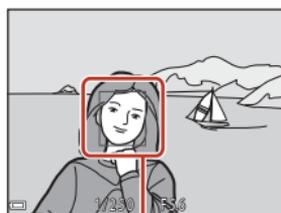
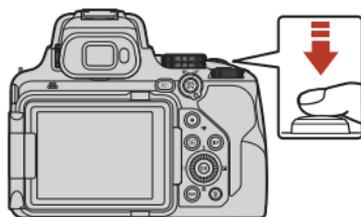


望遠側にズーム時



4 シャッターボタンを半押しする

- 半押しとは、シャッターボタンを押して、軽く抵抗を感じるところで止めたままにすることをいいます。
- ピントが合うと、AFエリアまたはAF表示が緑色に点灯します。
- 電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。
- AFエリアまたはAF表示が点滅したときはピントが合っていません。構図を変えて半押しをやり直してください。



AF エリア

5 シャッターボタンを半押ししたまま、全押しして撮影する



✓ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。電池/メモリーカードカバーを開けたり、電池やメモリーカードを取り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやメモリーカードが壊れることがあります。

📎 オートパワーオフについて

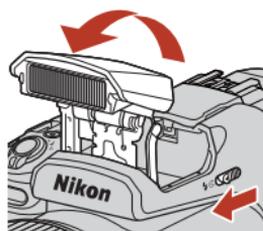
- カメラを操作しない状態が約1分続くと、画面が消灯して待機状態になり、電源ランプが点滅します。待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。
- 待機中に画面を再点灯するには、電源スイッチやシャッターボタンなどを押します。



内蔵フラッシュを使う

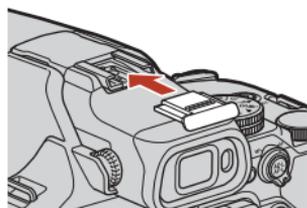
暗いところや逆光などでフラッシュが必要なときは、**☑**（フラッシュポップアップ）レバーを動かし、内蔵フラッシュをポップアップさせます。

- 内蔵フラッシュを使わないときは、内蔵フラッシュを手で軽く押し下げて、閉じてください。

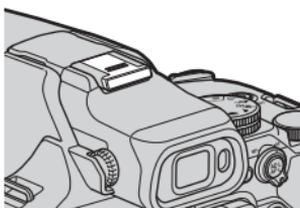


アクセサリシューカバー BS-1（別売）の取り付け方

①



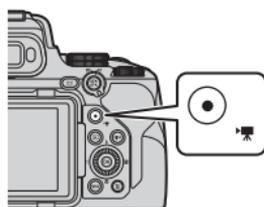
②



動画を撮影する

撮影画面を表示し、**●**（**▶**動画撮影）ボタンを押すと撮影を開始します。終了するには、もう一度**●**（**▶**）ボタンを押します。

- 撮影モードダイヤルを**▶**（マニュアル動画）に合わせると、シャッタースピードや絞り値を設定した動画を撮影できます。

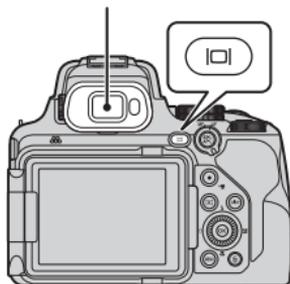


画像モニターと電子ビューファインダーを切り換える

日差しの強い屋外など、明るい場所で画像モニターが見えにくいときは、電子ビューファインダーの使用をおすすめします。

- 電子ビューファインダーに顔を近づけると、アイセンサーが反応し、電子ビューファインダーが点灯して、画像モニターが消灯します（初期設定）。
- **|O|**（モニター）ボタンを押しても、画像モニターまたは電子ビューファインダーに表示が切り換わります。

電子ビューファインダー



ファインダーの視度調節

ファインダー内の像が見えにくいときは、ファインダーをのぞきながら、視度調節ダイヤルを回して調節します。

- 爪や指先で目を傷つけないようにご注意ください。



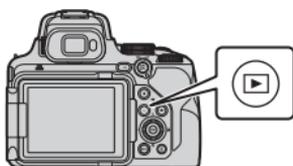
視度調節ダイヤル



画像を再生する

1 ▶ (再生) ボタンを押して、再生モードにする

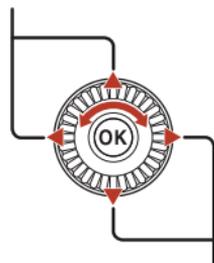
- 電源OFFの状態では▶ボタンを長押しすると、再生モードで電源がONになります。



2 マルチセレクターで前後の画像を表示する

- ▲▼◀▶を長押しすると、画像が速く切り換わります。
- マルチセレクターを回しても画像を選べます。
- DISP (表示切り換え) ボタンを押すたびに、画面に表示される情報が切り換わります。
- 撮影した動画を再生するには、OK ボタンを押します。
- 撮影に戻るには、▶ ボタンまたはシャッターボタンを押します。
- 1コマ表示でズームレバーをT (Q) 側に動かすと、拡大表示されます。

前の画像を表示



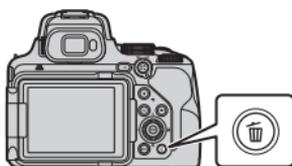
次の画像を表示

- 1コマ表示でズームレバーをW (Q) 側に動かすと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。



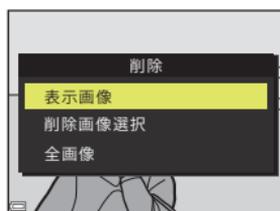
画像を削除する

- 1 削除したい画像を表示して  (削除) ボタンを押す



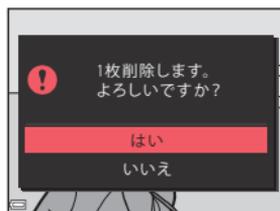
- 2 マルチセレクターの   で削除方法を選び、 ボタンを押す

- 削除をやめるには、MENU ボタンを押します。



- 3 [はい] を選び、 ボタンを押す

- 削除した画像は、元に戻せません。



RAWとJPEGを同時記録した画像の削除についてのご注意

[画質] (□116) の設定を [RAW+FINE] または [RAW+NORMAL] で撮影した画像を、このカメラで削除すると、同時記録したRAWとJPEG画像が両方とも削除されます。片方のみを削除することはできません。

連写した画像 (連写グループ) の削除について

- 連写した画像は「連写グループ」として保存され、再生すると1コマ目 (代表画像) のみを表示します (初期設定)。
- 代表画像の表示中に  ボタンを押すと、その連写グループの画像すべてが削除されます。
- 連写グループ内の画像を個別に削除するときは、 ボタンを押して1コマずつに展開表示してから  ボタンを押します。



撮影モードで画像を削除する

撮影モードで  ボタンを押すと、最後に保存した画像を削除できます。



削除画像選択画面の操作方法

1 マルチセクターの◀▶または回転で、削除したい画像を選ぶ

- ズームレバー (□2) をT (Q) 側に動かすと1コマ表示に、W (R) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。



2 ▲▼でON/OFFを設定する

- ON にすると、選択画像の下にアイコンが表示されます。複数の画像に設定したいときは、手順1と2を繰り返します。



3 OKボタンを押して画像選択を決定する

- 確認画面が表示されます。表示内容に従って操作してください。



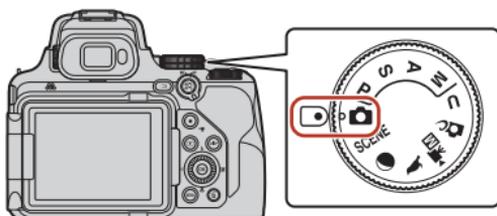
いろいろな撮影

撮影モードを選ぶ	31
 (オート撮影) モード	32
シーンモード (撮影状況に合わせて撮影する)	33
クリエイティブモード (効果を付けて撮影する)	44
P、S、A、M モード (露出を設定して撮影する)	46
U (ユーザーセッティング) モード	52
マルチセレクターで設定する撮影機能	54
フラッシュモード	55
セルフタイマー	58
笑顔自動シャッター (笑顔を自動撮影する)	60
オートフォーカスでピントを合わせる	61
マニュアルフォーカスでピントを合わせる	67
露出補正 (明るさを調節する)	69
Fn (ファンクション) ボタンを使う	70
ズームを使う	71
フラッシュ、セルフタイマー、フォーカスモードの初期設定一覧	73
撮影時に組み合わせて使えない機能	75



撮影モードを選ぶ

撮影モードダイヤルを回し、指標に合わせます。



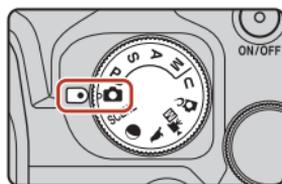
- **📷 (オート撮影) モード**
さまざまな撮影状況で標準的な撮影ができます。
- **SCENE、🌙、🐦 (シーン) モード**
撮影状況に合わせてシーンモードを選ぶと、その状況に適した設定で撮影ができます。
 - SCENE : MENU ボタンを押して、シーンモードを選びます。[おまかせシーン] にすると、構図を決めるだけでカメラが撮影状況を判別し、状況に適した撮影ができます。
 - 🌙 (月) : 月の望遠撮影に適しています。
 - 🐦 (鳥) : 野鳥の望遠撮影に適しています。
- **📷 (クリエイティブ) モード**
画像に効果を付けて撮影できます。
- **P、S、A、Mモード**
シャッタースピードや絞り値などを自分で決めて、より本格的な撮影を楽しめます。
- **U (ユーザーセッティング) モード**
P、S、A、Mモード撮影でよく使う設定を登録できます。登録した設定で撮影するには、撮影モードダイヤルをUに合わせます。
- **🎬 (マニュアル動画) モード**
絞り優先オートやマニュアルの露出で、画(え)作りを工夫した動画を撮影できます。



📷 (オート撮影) モード

さまざまな撮影状況で標準的な撮影ができます。

- カメラが主要な被写体を検出し、ピントを合わせます (ターゲットファインドAF)。カメラが人物の顔を検出したときは、人物を優先します。
- 「オートフォーカスでピントを合わせる」→ 📖61



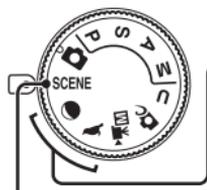
📷 (オート撮影) モードで設定できる機能

- フラッシュモード (📖55)
- セルフタイマー (📖58)
- 笑顔自動シャッター (📖60)
- フォーカスモード (📖61)
- 露出補正 (📖69)
- 撮影メニュー (📖121)



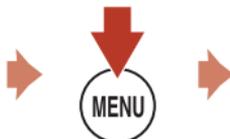
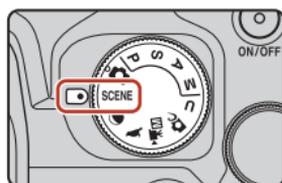
シーンモード（撮影状況に合わせて撮影する）

撮影状況に合わせてシーンモードを選ぶと、その状況に適した設定で撮影ができます。



●月（□40）※1※2※3、🐦鳥（□40）※1
撮影モードダイヤルを●または🐦に合わせて撮影します。

SCENE



MENU ボタンを押してシーンメニューを表示し、マルチセレクターで以下のシーンモードを選びます。

🏠* おまかせシーン（初期設定）（□34）	👤 クローズアップ（□36）
👤 ポートレート	🍴 料理（□37）
🌄 風景（□34）※1※2	💣 打ち上げ花火（□37）※3
🏃 スポーツ（□35）※1	🌑 逆光（□37）※1
🌃 夜景ポートレート（□35）	🏠 かんたんパノラマ（□41）※1
🎉 パーティー（□35）※1	🐶 ペット（□38）
🏖️ ビーチ ※1	SOFT ソフト※1
❄️ 雪 ※1	🖌️ セレクトカラー（□38）※1
🌅 夕焼け ※1※2※3	🔄 比較明合成（□39）※3
🌆 トワイライト ※1※2※3	🕒 タイムラプス動画（□96）※3
🌃 夜景（□36）※1※2	🏠 スーパーラプス動画（□98）※1

※1 ピントは画面中央のエリアで合わせます。エリアの位置は移動できません。

※2 ピントは遠景に合います。

※3 三脚などの使用をおすすめします（□23）。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニューの「手ブレ補正」（□171）を「しない」にしてください。



シーンモードのヒントとご注意

SCENE → おまかせシーン

- カメラを被写体に向けて、撮影状況に合わせた設定に自動的に切り換わります。

	ポートレート (1~2人程度のアップ)
	ポートレート (人数の多い場合や背景の面積が大きい場合)
	風景
	夜景ポートレート (1~2人程度のアップ)
	夜景ポートレート (人数の多い場合や背景の面積が大きい場合)
	夜景
	クローズアップ
	逆光 (人物以外の撮影)
	逆光 (人物撮影)
	その他の撮影状況

- 撮影状況によっては、意図した設定に切り換わらないことがあります。その場合は、他の撮影モードに切り換えて撮影してください (□□31)。

SCENE → 風景

-  [風景] を選ぶと表示される画面で、[連写 NR 撮影] または [通常撮影] を選びます。
- [連写 NR 撮影] : ノイズを抑えたシャープな風景を撮影できます。
 - シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて 1 コマ記録します。
 - シャッターボタンを全押しした後は、静止画が表示されるまで、カメラがブレないようにしっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
 - 保存される画像の画角 (写る範囲) は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
 - 撮影条件により、連続撮影されない場合があります。
- [通常撮影] (初期設定) : 輪郭やコントラストを強調した画像を記録します。
 - シャッターボタンを全押しすると 1 コマ撮影します。



SCENE → スポーツ

- シャッターボタンを全押ししている間、連写します。
- 約7コマ/秒の速度で約7コマ連写できます。
- 画質、画像サイズ、メモリーカードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- 2コマ目以降のピント、露出および色合いは、1コマ目と同じ条件に固定されます。

SCENE → 夜景ポートレート

-  [夜景ポートレート] を選ぶと表示される画面で、 [手持ち撮影] (初期設定) または  [三脚撮影] を選びます。
- スローシャッターで1コマ撮影します。 [手持ち撮影] では、 [三脚撮影] に比べて、手ブレしにくくなるように、撮影状況によってシャッタースピードを速めに制御します。
-  [三脚撮影] の場合、セットアップメニューの [手ブレ補正] (□□171) の設定にかかわらず、手ブレ補正を行いません。三脚などの使用時は、「三脚などの使用について」(□□23) をご覧ください。
- 内蔵フラッシュをポップアップさせてから撮影してください。

SCENE → パーティー

- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニューの [手ブレ補正] (□□171) を [しない] にしてください。三脚などの使用時は、「三脚などの使用について」(□□23) をご覧ください。



SCENE → 夜景

-  [夜景] を選ぶと表示される画面で、 [手持ち撮影] または  [三脚撮影] を選びます。
-  [手持ち撮影] (初期設定) :
 - シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて 1 コマ記録します。
 - シャッターボタンを全押しした後は、静止画が表示されるまで、カメラがブレないようにしっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
 - 保存される画像の画角(写る範囲)は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
 - 撮影条件により、連続撮影されない場合があります。
-  [三脚撮影] :
 - シャッターボタンを全押しすると、スローシャッターで 1 コマ撮影します。
 - セットアップメニューの [手ブレ補正] (171) の設定にかかわらず、手ブレ補正を行いません。
 - 三脚などの使用時は、「三脚などの使用について」(23) をご覧ください。

SCENE → クローズアップ

 [クローズアップ] を選ぶと表示される画面で、[連写NR撮影] または [通常撮影] を選びます。

- [連写 NR 撮影] : ノイズを抑えたシャープな撮影ができます。
 - シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて 1 コマ記録します。
 - シャッターボタンを全押しした後は、静止画が表示されるまで、カメラがブレないようにしっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
 - 連写中に被写体が動いたり、手ブレが大きかったりすると、画像がゆがんだり、重なったり、ぼやけることがあります。
 - 保存される画像の画角(写る範囲)は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
 - 撮影条件により、連続撮影されない場合があります。
- [通常撮影] (初期設定) : 輪郭やコントラストを強調した画像を記録します。
 - シャッターボタンを全押しすると 1 コマ撮影します。
- フォーカスモード (61) が  (マクロ AF) になり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- ピントを合わせるエリア (AF エリア) を移動できます。 ボタンを押し、マルチセクターの    または回転で移動し、 ボタンで決定します。



SCENE → 🍴 料理

- フォーカスモード (📷61) が 📷 (マクロ AF) になり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- 色合いをコマンドダイヤルで調節できます。色合いの設定は、電源を OFF にしても記憶されます。
- ピントを合わせるエリア (AF エリア) を移動できません。📷 ボタンを押し、マルチセレクターの ▲▼◀▶ または回転で移動し、📷 ボタンで決定します。



SCENE → 🎆 打ち上げ花火

- シャッタースピードは、4 秒に固定されます。
- 露出補正は使えません (📷69)。
- マニュアルフォーカス (📷67) でピントを合わせることをおすすめします。

SCENE → 🌃 逆光

- 🌃 [逆光] を選ぶと表示される画面で、HDR (ハイダイナミックレンジ) 合成の [する] / [しない] を撮影状況に合わせて選びます。
- [しない] (初期設定)：人物が陰にならないように、フラッシュを発光します。内蔵フラッシュをポップアップさせてから撮影してください。
 - シャッターボタンを全押しすると、1 コマ撮影します。
- [する]：明暗差の大きい風景撮影に適しています。
 - シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、以下の 2 コマを記録します。
 - HDR 合成していない画像
 - HDR 合成した画像 (白とびや黒つぶれを抑えた画像)
 - 記録可能コマ数が 1 コマの場合は、撮影時に D-ライティング (📷84) で暗い部分を明るく補正し、1 コマ記録します。
 - シャッターボタンを全押しした後は、静止画が表示されるまで、カメラがブレないようにしっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
 - 保存される画像の画角(写る範囲)は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
 - 撮影状況によっては、明るい被写体の周辺に暗い影が出たり、暗い被写体の周辺が明るくなったりします。

✔ HDR についてのご注意

三脚などのご使用をおすすめします (📷23)。三脚などで固定して撮影するときには、セットアップメニューの [手ブレ補正] (📷171) を [しない] にしてください。

🏠 いろいろな撮影

シーンモード (撮影状況に合わせて撮影する)



SCENE → 🐾 ペット

- 犬または猫にカメラを向けると、顔を検出してピントを合わせます。初期設定では、犬または猫の顔を検出すると自動でシャッターがきれます（ペット自動シャッター）。
- 🐾 [ペット] を選ぶと表示される画面で、**[S]** [単写] または **[C]** [連写] を選びます。
 - **[S]** [単写]：犬または猫の顔を検出するたびに、1 コマ撮影します。
 - **[C]** [連写]（初期設定）：犬または猫の顔を検出するたびに、3 コマ連写します。

✔ ペット自動シャッターについて

- マルチセレクターの **◀ (☺)** を押すと、[ペット自動シャッター] の設定を変更できます。
 - **[ON]**：犬または猫の顔を検出すると自動でシャッターがきれます。
 - **[OFF]**：犬または猫の顔を検出しても、自動でシャッターはきれません。シャッターボタンを押してください。[OFF] のときは、人物の顔も認識します。
- [ペット自動シャッター] は、連写で5回繰り返すと [OFF] になります。
- [ペット自動シャッター] の設定にかかわらず、シャッターボタンを押しても撮影できます。

✔ AFエリアについて

- 検出した顔は、黄色い枠で囲われます。二重枠のAFエリア表示で囲まれた顔にピントが合うと、表示が緑色に変わります。顔を検出していないときは、ピントは画面中央のエリアで合わせます。
- 撮影条件によっては、顔を検出しないことや、犬や猫以外に枠が表示されることがあります。



SCENE → 🎨 セレクトカラー

- 選択した色だけを残し、他の色は白黒にします。
- コマンドダイヤルを回して色を選び、**OK** ボタンで決定します。色を選び直すには、もう一度 **OK** ボタンを押します。



SCENE → 比較明合成

- 動きのある被写体を一定間隔で自動撮影し、それぞれの画像を比較し明るい部分だけを合成して1コマの画像として記録します。車のライトの流れや星の動きなど、光の軌跡を撮影します。
- 比較明合成を選ぶと表示される画面で、夜景と光跡 または 星軌跡 を選びます。

項目	内容
夜景と光跡	<p>夜景を背景に、車のライトの流れなどを撮影するのに適しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> コマンドダイヤルを回して撮影間隔を設定できます。設定した撮影間隔が、シャッタースピードになります。50コマ撮影すると自動終了します。 10コマ撮影するごとに、撮影開始時からの軌跡を合成した画像を、自動保存します。 ピントは画面中央のエリアで合わせます。
星軌跡	<p>星の動きを撮影するのに適しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 約5秒ごとに、シャッタースピード25秒で撮影します。300コマ撮影すると自動終了します。 30コマ撮影するごとに、撮影開始時からの軌跡を合成した画像を、自動保存します。



- 撮影の間は、画面が消灯することがあります。画面の消灯中は、電源ランプが点灯します。
- 撮影中はオートパワーオフ (□176) は機能しません。
- 途中で撮影を終了するには、OK ボタンを押します。
- お好みの軌跡を得られたら撮影を終了してください。撮影を続けると、合成部分が白とびすることがあります。
- 飛行機や花火など、遠くの被写体を撮影するときは、フォーカスモード (□61) の ▲ (遠景 AF)、またはマニュアルフォーカス (□67) でピントを合わせることをおすすめします。
- 星を撮影するときは、マニュアルフォーカスでピントを合わせることをおすすめします。
- 露出補正は使えません (□69)。

比較明合成についてのご注意

- 撮影が終了するまで、撮影モードダイヤルを回したり、メモリーカードを交換したりしないでください。
- 途中で電源が切れないよう、十分に残量のある電池をお使いください。



残り時間について

撮影が自動終了するまでの残り時間を、画面で確認できます。



● 月

- ズーム位置が広角側では、1000 mm 相当 (35mm 判換算) の撮影画角を示すフレーミング枠が表示されます (初期設定)。枠内に月をおさめて  ボタンを押すと、フレーミング枠の撮影画角 (焦点距離) になります。フレーミング枠の撮影画角は、MENU ボタンを押し、[月] メニューの [焦点距離の選択] で変更できます。
- 色合いをコマンドダイヤルで調節できます。色合いの設定は、電源を OFF にしても記憶されます。
- 月の満ち欠けなどの撮影状況や撮影意図などに応じて、露出補正 ()69) で明るさを調節してください。
- セルフタイマー ()58) の初期設定は 3s) (3 秒) です。マルチセレクターの  (☺) を押すと変更できます。

鳥

- ズーム位置が広角側では、500 mm 相当 (35mm 判換算) の撮影画角を示すフレーミング枠が表示されます (初期設定)。枠内に鳥をおさめて  ボタンを押すと、フレーミング枠の撮影画角 (焦点距離) になります。フレーミング枠の撮影画角は、MENU ボタンを押し、[鳥] メニューの [焦点距離の選択] で変更できます。
- 連写するには、MENU ボタンを押し、[鳥] メニューから [連写] を選びます。
 -  [単写] (初期設定) : 1 コマずつ撮影します。
 -  [連写] : シャッターボタンを全押ししている間、連写します。約 7 コマ / 秒の速度で約 7 コマ連写できます。

いろいろな撮影

シーンモード (撮影状況に合わせて撮影する)



かんたんパノラマの撮影方法

撮影モードダイヤルをSCENEに合わせる → MENUボタン → かんたんパノラマ → ボタン

- 1 撮影する範囲を [標準 (180°)] または [ワイド (360°)] から選び、 ボタンを押す



- 2 一番端の被写体に構図を合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

- ズーム位置は、広角側に固定されます。
- 画面中央でピントが合います。



- 3 シャッターボタンを全押しし、シャッターボタンから指を離す

- カメラを動かす方向を示す マークが表示されます。



- 4 カメラを4方向のいずれかに、ガイドの終端まで動かす

- カメラが動いている方向を検出すると、撮影が始まります。
- 設定の範囲を撮影し終わると撮影が終了します。
- ピントと露出は、撮影終了まで固定されます。



カメラの動かし方の例

- 撮影者を軸にして、カメラをマーク（△▽◁▷）と平行に、円弧を描くようにゆっくり動かします。
- ガイドが端まで到達しないまま、撮影開始から約 15 秒（**STD** [標準 (180°)] 時)、または約 30 秒（**WIDE** [ワイド (360°)] 時) が経過すると撮影は終了します。



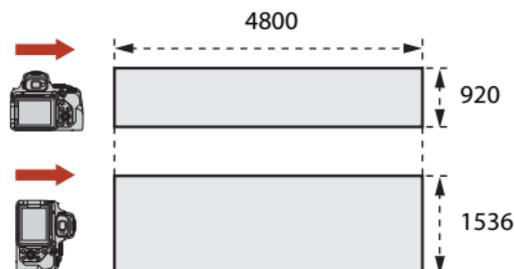
✓ **かんたんパノラマ撮影時のご注意**

- 保存される画像の範囲は、撮影時に画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 動かす速度が速すぎるときや、ブレが大きいとき、または壁や暗闇など被写体に変化が少ないときなどはエラーになります。
- パノラマ範囲の半分に到達する前に撮影が止まると、パノラマ画像は保存されません。
- パノラマ範囲の半分以上を撮影していて、終端に到達する前に撮影が終了したときは、撮影されなかった範囲がグレーの表示で記録されます。

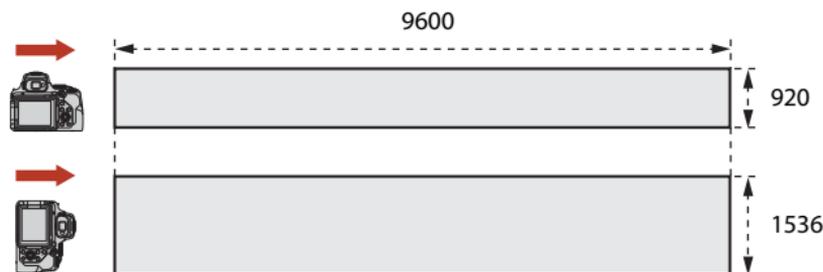
📎 **かんたんパノラマの画像サイズについて**

画像サイズ（ピクセル）は、以下の4種類になります。

STD [標準 (180°)] に設定時



WIDE [ワイド (360°)] に設定時



🏠 **いろいろな撮影**

シーンモード（撮影状況に合わせて撮影する）



かんたんパノラマの再生方法

再生モードにして（□27）、かんたんパノラマで撮影した画像を1コマ表示し、OKボタンを押すと、撮影したときと同じ方向でスクロールします。

- マルチセレクターを回すと、早送り/巻き戻しができます。

再生中は、画面に操作パネルが表示されます。マルチセレクターの◀ ▶で操作パネルのアイコンを選び、OKボタンを押すと以下の操作ができます。



機能	アイコン	内容
巻き戻し	◀	OKボタンを押している間、スクロールを巻き戻しします。*
早送り	▶	OKボタンを押している間、スクロールを早送りします。*
一時停止	⏸	一時停止します。一時停止中に以下の操作ができます。
		◀ コマ戻しします。OKボタンを押し続けると、連続してコマ戻しします。*
		▶ コマ送りします。OKボタンを押し続けると、連続してコマ送りします。*
		▶ 自動スクロールを再開します。
再生終了	■	1コマ表示に戻ります。

※ マルチセレクターを回しても操作できます。

✓ かんたんパノラマ画像についてのご注意

- このカメラでは画像編集はできません。
- このカメラ以外のかんたんパノラマで撮影した画像は、スクロール再生や拡大表示ができないことがあります。

✓ パノラマ写真をプリントするときのご注意

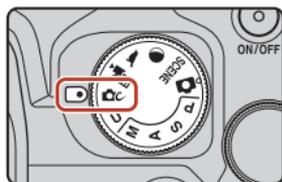
プリンターの設定によっては、全景をプリントできないことがあります。また、プリンターによっては、プリントできないことがあります。



クリエイティブモード (効果を付けて撮影する)

画像に効果を付けて撮影できます。

- [ライト] (初期設定)、[デプス]、[メモリー]、[クラシック]、[ノワール] の5種類の効果グループから選べます。



1 OK ボタンを押す

- 効果の選択画面が表示されます。

2 マルチセレクターの◀▶で効果を選ぶ

- コマンドダイヤルを回すと、効果グループを切り換えられます。
- 中止するときは、▲を押します。



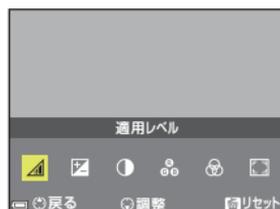
3 効果を調整する場合は、▼を押す

- 効果を調整しない場合は、OK ボタンを押して手順 6へ進んでください。



4 調整する項目を◀▶で選び、▼を押す

- [適用レベル]、[露出補正]、[コントラスト]、[色味]、[彩度]、[フィルター]、[周辺光量] から選びます。選べる項目は、グループによって異なります。



5 度合いを◀▶で調整し、ⓧボタンを押す



6 シャッターボタンまたは●(▶▶動画撮影) ボタンを押して撮影する

- カメラが主要な被写体を検出すると、その被写体にピントが合います (□63)。

効果グループと効果の選択について

手順1の画面でMENUボタンを押しても、効果グループと効果を選べます。

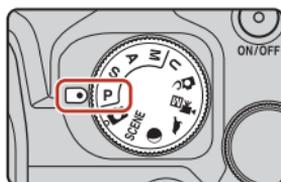
クリエイティブモードで設定できる機能

- フラッシュモード (□55)
- セルフタイマー (□58)
- フォーカスモード (□61)
- 露出補正 (□69)
- 撮影メニュー (□121)



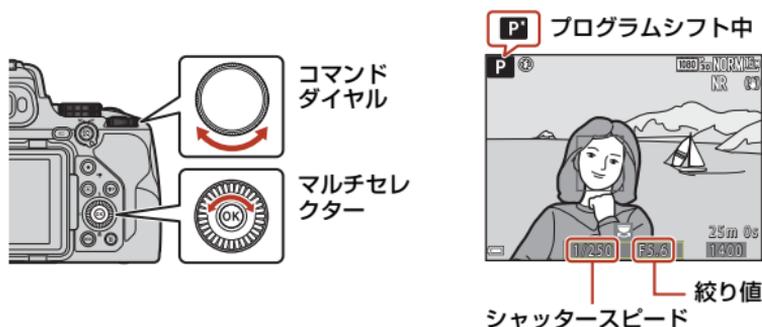
P、S、A、Mモード(露出を設定して撮影する)

P、S、A、Mモードでは、撮影意図に応じて露出(シャッタースピードや絞り値などの組み合わせ)を自分で設定できます。さらに撮影メニュー(☞116)の項目を設定して、より本格的な撮影を楽しめます。



撮影モード	内容
P プログラムオート	<p>シャッタースピードと絞り値の設定をカメラまかせにして撮影できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コマンドダイヤルを回すと、シャッタースピードと絞り値の組み合わせを変更できます(プログラムシフト)。プログラムシフト中は画面左上に ✳(プログラムシフトマーク)が表示されます。 • プログラムシフトを解除するには、✳が消えるまでコマンドダイヤルを設定時の逆方向に回すか、撮影モードを切り換えるか、または電源をOFFにします。
S シャッター優先オート	コマンドダイヤルを回してシャッタースピードを設定すると、絞り値をカメラが自動制御します。
A 絞り優先オート	マルチセレクターを回して絞り値を設定すると、シャッタースピードをカメラが自動制御します。
M マニュアル露出	<p>シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定します。シャッタースピードはコマンドダイヤルを回して設定します。絞り値はマルチセレクターを回して設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • バルブ撮影、タイム撮影による長時間露出もできます。

- 露出設定の操作部は、セットアップメニュー(☞113)の[Av/Tv操作切り換え]で割り当てを変更できます。



露出設定のヒント

同じ露出でもシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えると、被写体の流動感や背景のぼかし具合が変わります。

シャッタースピードによる効果

動きの速い被写体を速いシャッタースピードで撮影して動きを止めたり、遅いシャッタースピードで動きを強調したりできます。



速くする
1/1000 秒



遅くする
1/30 秒

絞り値による効果

被写体を手前から奥まで鮮明に写したり、被写体の背景を意図的にぼかしたりできます。



小さくする
(絞りを開く)
f/2.8



大きくする
(絞りを絞り込む)
f/8

シャッタースピードと絞り値について

- シャッタースピードの制御範囲は、ズーム位置や絞り値、ISO感度の設定によって異なります。
- このカメラのレンズは、絞り値がズーム位置によっても変化します。
- 露出を設定した後にズーム操作をすると、露出の組み合わせや絞り値が変化することがあります。
- レンズの絞り値は、数値が小さくなるほど（絞りを開くほど）明るくなり、数値が大きくなるほど（絞りを絞るほど）暗くなります。数値が一番小さい状態を「開放絞り」、一番大きい状態を「最小絞り」といいます。
- 絞り値の制御段数は、ズームレンズを望遠側にするほど少なくなります。焦点距離 2800 mm 相当 (35mm 判換算) より望遠側では、f/8.0 に固定されます。



動画撮影時の露出設定について

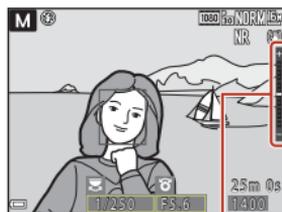
P、S、A、M、Uモードでの動画撮影時は、シャッタースピードや絞り値の設定は反映されません。撮影モードダイヤルを  (マニュアル動画) にすると、露出を自分で設定して動画を撮影できます。

露出設定についてのご注意

被写体が暗すぎたり明るすぎたりすると、適切な露出が得られない場合があります。このときにシャッターボタンを半押しすると、シャッタースピード表示や絞り値表示が点滅します (**M**モード時を除く)。設定したシャッタースピード、または絞り値を変えてください。

露出インジケータについて (**M**モード時)

設定した露出値とカメラが測定した適正露出値の差が画面の露出インジケータに表示されます。露出インジケータは、 -3 EV から $+3$ EV の範囲で $1/3$ EV ごとに表示されます。



露出インジケータ

ISO感度についてのご注意

Mモード時のISO感度は、**[ISO感度設定]** (□116) を **[オート]** (初期設定) または **[感度制限オート]** に設定すると、ISO 100に固定されます。

P、S、A、Mモードで設定できる機能

- ・フラッシュモード (□54)
- ・セルフタイマー (□54)
- ・笑顔自動シャッター (□54)
- ・フォーカスモード (□54)
- ・露出補正 (□54)
- ・撮影メニュー (□116)
- ・Fn (ファンクション) ボタンで設定できる機能 (□114)

AFエリアについて

ピント合わせをするエリアは、撮影メニューの **[AFエリア選択]** (□116) の設定によって異なります。初期設定の **[ターゲットファインドAF]** では、カメラが主要な被写体を検出し、ピントを合わせます。カメラが人物の顔を検出したときは、人物を優先します。



シャッタースピードの制御範囲(P、S、A、Mモード時)

シャッタースピードの制御範囲は、ズーム位置や絞り値、ISO感度の設定によって異なります。さらに、以下の連写設定時は、制御範囲が変わります。

設定		制御範囲(秒)
ISO感度設定 (□137) ※1	オート※2、 感度制限オート※2	1/4000 ※3 ※4 ~ 1秒 (P、S、Aモード) 1/4000 ※3 ※4 ~ 30秒 (Mモード) ※5
	ISO 100	1/4000 ※3 ※4 ~ 8秒 (P、S、Aモード) 1/4000 ※3 ※4 ~ 30秒 (Mモード) ※5
	ISO 200	1/4000 ※3 ※4 ~ 4秒 (P、S、Aモード) 1/4000 ※3 ※4 ~ 8秒 (Mモード)
	ISO 400	1/4000 ※3 ※4 ~ 4秒
	ISO 800	1/4000 ※3 ※4 ~ 2秒
	ISO 1600	1/4000 ※3 ※4 ~ 1秒
	ISO 3200	1/4000 ※3 ※4 ~ 1/2秒
	ISO 6400	1/4000 ※3 ※4 ~ 1/2秒
連写 (□133)	連写 H、連写 L	1/4000 ※3 ※4 ~ 1/30秒
	先取り撮影、 高速連写 120 fps	1/4000 ~ 1/125秒
	高速連写 60 fps	1/4000 ~ 1/60秒
	インターバル撮影	[単写] 設定時と同じ

※1 連写の設定によっては、ISO感度の設定が制限されます ([□76](#))。

※2 Mモードのときは、ISO 100に固定されます。

※3 ズームが最も広角側でかつ絞り値が最も大きい(最小絞り)ときの最高速です。ズームを望遠側にするほど、または絞り値を小さくする(絞りを開く)ほど最高速は遅くなります。例えば、ズームが最も望遠側で絞り値が最も大きい値(最小絞り)では、最高速は1/2500秒になります。

※4 1/2000秒より速いシャッタースピードで同一被写体を撮影すると、露出にばらつきが出る場合があります。

※5 パルプ撮影、またはタイム撮影ができます ([□50](#))。



バルブ撮影とタイム撮影（Mモード時）

バルブまたはタイム撮影で長時間露出撮影ができます。花火や夜景、星空の撮影や、自動車のライトの流れを表現したいときなどに適しています。バルブまたはタイム撮影の最長シャッタースピードは60秒です。

バルブ撮影	シャッターボタンを押し続けている間シャッターが開いたままになり、シャッターボタンを離すとシャッターが閉じます。
タイム撮影	シャッターボタンを全押しするとシャッターが開いたままになり、もう一度全押しするとシャッターが閉じます。 ・リモコン ML-L7（別売）のシャッターボタンを押してもタイム撮影ができます。

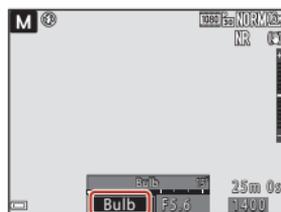
1 三脚などを使ってカメラを固定する

- ・セットアップメニューの[手ブレ補正]（□□171）を[しない]にしてください。
- ・三脚などの使用時は、「三脚などの使用について」（□□23）をご覧ください。

2 撮影モードダイヤルをMに合わせる

- ・[ISO感度設定]は[オート]、[感度制限オート]または[100]に設定してください。
- ・[連写]（□□133）の設定は[単写]にしてください。

3 シャッタースピード表示が[Bulb]（バルブ撮影）または[Time]（タイム撮影）に変わるまで、コマンドダイヤルを低速側に回す



4 ピントを合わせて、シャッターボタンを全押しする

- ・バルブ撮影：必要な露出時間が経過するまでシャッターボタンを押し続けます。
- ・タイム撮影：必要な露出時間が経過したら、シャッターボタンをもう一度全押しします。
- ・露出時間が60秒を経過すると、シャッターが自動的に閉じて撮影を終了します。



☑ バルブ撮影、タイム撮影についてのご注意

[連写]（□□133）の設定を[単写]以外にすると、バルブおよびタイム撮影はできません。



長時間露出について

- 遅いシャッタースピードで撮影すると、画像の記録が終了するまで時間がかかることがあります。
- 撮影中の電池切れを防ぐため、十分に充電された電池、または別売の AC アダプター EH-5b/EH-5c とパワーコネクター EP-5C をお使いになることをおすすめします (P206)。

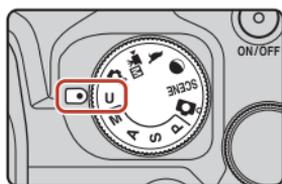


U (ユーザーセッティング) モード

P (プログラムオート)、**S** (シャッター優先オート)、**A** (絞り優先オート) または **M** (マニュアル露出) でよく使う設定の組み合わせを **U** に登録できます。

撮影モードダイヤルを回して、**U** に合わせると、**[User Setting 登録]** で登録した設定になります。

- そのまま、構図を決めて撮影するか、必要に応じて設定を変えて撮影します。



以下の設定内容を登録できます。

基本設定

- 撮影モード **P**、**S**、**A**、**M** (□46)
- フォーカスモード (□61)
- ズーム位置 (□71)
- 露出補正 (□69)
- フラッシュモード (□55)
- Fn ボタン設定 (□70)
- セルフタイマー (□58)

マニュアルフォーカス設定

- フォーカス距離、拡大率、ピーキングレベル (□67)

表示設定

- 画像モニター/電子ビューファインダー表示 (□26)
- 情報表示 (□8)

撮影メニュー

- 画質 (□121)
- AF エリア選択 (□140)
- 画像サイズ (□123)
- AF モード (□143)
- Picture Control (□124)
- 調光補正 (□143)
- CSM Picture Control (□128)
- ノイズ低減フィルター (□144)
- ホワイトバランス (□129)
- アクティブD-ライティング (□144)
- 測光方式 (□132)
- 多重露出 (□145)
- 連写 (□133)
- ズームメモリー (□147)
- ISO 感度設定 (□137)
- 起動ポジション設定 (□148)
- AE ブラケティング (□139)
- M モード露出反映表示 (□148)

セットアップメニュー

- モニター設定 (□167)



Uモードに設定を登録する (User Setting 登録)

P、S、A、Mモード撮影でよく使う設定を登録できます。ご購入時は、Pモードの初期設定が登録されています。

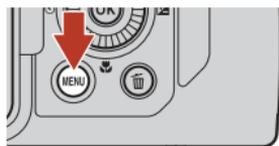
1 撮影モードダイヤルをP、S、A、MまたはUに合わせる

- 撮影モードを変更したいときは、P、S、A、Mに合わせます。
- 登録済みの撮影モードを変更しないときは、Uに合わせます。

2 撮影時の設定をよく使う組み合わせに変更する

- 登録内容は□52をご覧ください。
- プログラムシフトの設定 (Pのとき)、シャッタースピード (S、Mのとき)、絞り値 (A、Mのとき) の設定も記憶します。
- AFエリア選択の [マニュアル (スポット)] [マニュアル (標準)] [マニュアル (ワイド)] で設定したAFエリアの位置も記憶します。

3 MENU (メニュー) ボタンを押し、撮影メニューを表示する



4 マルチセレクターの▲▼で [User Setting 登録] を選んで、OKボタンを押す

- Uモードの登録内容が、現在の設定内容に上書きされます。



U (ユーザーセッティング) のリセットについて

撮影メニューで [User Setting リセット] を選ぶと、ユーザーセッティングに登録された設定内容は、初期設定に戻ります。

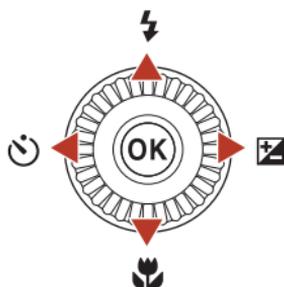
✓ 時計用電池のご注意

内蔵の時計用電池が切れると、Uに登録した設定内容がリセットされます。重要な設定はメモしておくことをおすすめします。



マルチセレクターで設定する撮影機能

撮影画面でマルチセレクターの▲ (⚡) ◀ (🕒) ▼ (🌸) ▶ (📷) を押すと、以下の機能を設定できます。



- ⚡ フラッシュモード
発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。
- 🕒 セルフタイマー / 笑顔自動シャッター
シャッターボタンを押してから、設定した秒数が経過するとシャッターがきれます。笑顔自動シャッターに設定すると、カメラが人物の笑顔を検出するたびに、自動でシャッターがきれます。
- 🌸 フォーカスモード
被写体との距離によって、AF（通常AF）、🌸（マクロAF）、または▲（遠景AF）に設定できます（フォーカスモードセレクターがAF（オートフォーカス）時）。
- 📷 露出補正
画像全体の明るさを調節できます。

設定できる機能は、撮影モードによって異なります。

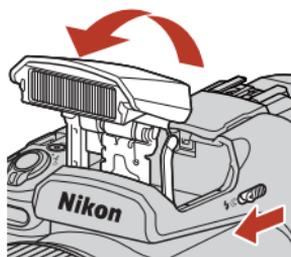


フラッシュモード

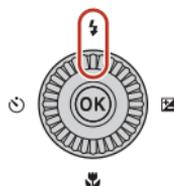
発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。

1 ⚡ (フラッシュポップアップ) レバーを動かし、内蔵フラッシュをポップアップさせる

- 内蔵フラッシュを閉じているときは発光禁止になり、**🚫**が表示されます。
- スピードライトを使用するときは、内蔵フラッシュを必ず閉じてください。
- 「スピードライト（外部フラッシュ）」→ [📖208](#)



2 マルチセレクターの▲ (⚡) を押す



3 フラッシュモード (📖56) を選び、OK ボタンを押す

- OK ボタンを押さないと、選択はキャンセルされます。



✓ レディーライト（フラッシュ充電表示）について
内蔵フラッシュの充電中は🔴が点滅します。撮影できません。

充電が完了していると、シャッターボタンを半押ししたときに🔴が点灯します。



レディーライト



フラッシュモードの種類

AUTO 自動発光

暗い場所などで、必要に応じてフラッシュを発光します。

- 撮影画面のフラッシュモードアイコンは、設定直後のみ表示されます。

赤目軽減自動発光/赤目軽減発光

フラッシュで人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します (□57)。

- [赤目軽減発光] では、常にフラッシュを発光します。

強制発光/通常発光

常にフラッシュを発光します。

SLOW スローシンクロ

夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。強制発光でメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。

リアシンクロ

シャッターが閉じる直前にフラッシュを強制発光します。動いている被写体の後方に流れる光や軌跡などを表現したいときなどに適しています。

フラッシュ撮影についてのご注意

ズーム位置が広角側で、フラッシュを使うと、撮影距離によっては画像の周辺部が暗くなる場合があります。

望遠側に少しズーム操作すると、改善することがあります。



📎 フラッシュモードの設定について

設定できるフラッシュモードは、撮影モードによって以下のように異なります。

フラッシュモード	📷※1	SCENE、 🌑、👤	📷	P※1	S※1	A※1	M※1
⚡AUTO 自動発光	○	※2	○	×	×	×	×
⚡👁️ 赤目軽減自動発光	○		○	×	×	×	×
赤目軽減発光	×		×	○	○	○	○
⚡ 強制発光	○		○	×	×	×	×
通常発光	×		×	○	○	○	○
⚡SLOW スローシンク口	○		○	○	×	○	×
🔊 リアシンク口	○		○	○	○	○	○

※1 📷 (オート撮影) モードで、👁️ (赤目軽減自動発光) にして撮影した場合、およびP、S、A、Mモードで設定した場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。

※2 設定によって異なります。→「フラッシュ、セルフタイマー、フォーカスモードの初期設定一覧」(□73)

📎 赤目軽減自動発光/赤目軽減発光について

フラッシュが本発光する前に、赤目軽減ランプが発光し、赤目現象の発生を軽減します。撮影する際は、以下にご注意ください。

- 赤目軽減ランプが発光するため、シャッターボタンを押してからシャッターがきるまでに、通常よりも時間がかかります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。

📎 スピードライト (外部フラッシュ) を使用するには

- スピードライトを取り付けると、内蔵フラッシュは発光しません。内蔵フラッシュを必ず閉じてください。
- スピードライトの着脱時には、カメラの電源をOFFにします。
- スピードライトのモード名や機能は、内蔵フラッシュとは異なることがあります。
- 詳しくは、「スピードライト (外部フラッシュ) 」(□208) および、お使いになるスピードライトの説明書をご覧ください。

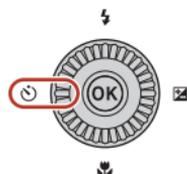


セルフタイマー

シャッターボタンを押してから、設定した秒数が経過するとシャッターがきれま
す。

三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニューの[手ブレ補正]
(171)を[しない]にしてください。三脚などの使用時は、「三脚などの使用
について」(23)をご覧ください。

1 マルチセレクターの ◀ (☺) を押す



2 シャッターがきれるまでの秒数を選び、 OK ボタンを押す

- [☺10s] (10 秒)：記念撮影や手ブレの軽減など
に適しています。三脚などを使用した望遠撮影に
は、[☺10s] をおすすめします。
- [☺3s] (3 秒)：手ブレの軽減に適しています。
- OK ボタンを押さないと、選択はキャンセルされま
す。



3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

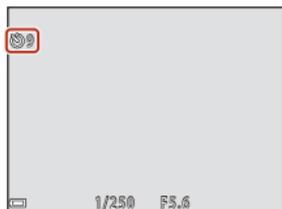
- ピントが合っているか確認してください。



4 シャッターボタンを全押しする

- ピントと露出を固定し、カウントダウンが始まります。セルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは [OFF] になります。*
- カウントダウンを止めるには、もう一度シャッターボタンを押します。

※ 撮影モードが月モードのときは、自動で [OFF] にはなりません。セルフタイマーを終了するには、手順 2 で [OFF] を選んでください。



✓ 三脚などで固定して撮影するときのご注意

- 三脚で固定しても、カメラ操作による振動で、オートフォーカスが少しずれることがあります。シャッターボタンは、直前のカメラ操作から数秒おいて、ゆっくり押ししてください (□23)。
- オートフォーカスでピントを合わせにくいときは、マニュアルフォーカス (□67) もお試しください。
- 別売のリモートコントローラー (□207) を使うと、カメラのシャッターボタンを押さずにシャッターをきれます。

📎 セルフタイマーの設定について

- 撮影モードによっては、設定できないことがあります (□73)。
- 撮影後にセルフタイマーを解除するかどうかを、セットアップメニューの [セルフタイマー解除設定] (□170) で設定できます。



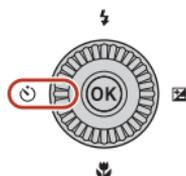
笑顔自動シャッター（笑顔を自動撮影する）

カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます。

- 撮影モードが （オート撮影）、**P**、**S**、**A**、**M**、**U**、シーンモードの [ポートレート] または [夜景ポートレート] のときに使えます。

1 マルチセレクターの を押す

- フラッシュモード、露出、撮影メニューなどを設定するときは、 を押す前に設定してください。



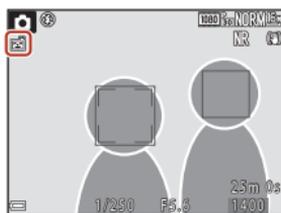
2 （笑顔自動シャッター）を選び、 ボタンを押す

-  ボタンを押さないと、選択はキャンセルされます。



3 構図を決め、シャッターボタンを押さずに笑顔を待つ

- 人物の顔にカメラを向けてください。
- カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます。
- 笑顔を検出するたびに自動撮影を繰り返します。



4 自動撮影を終了する

- 笑顔検出による自動撮影を終了するには、手順1に戻って [OFF] を選びます。

笑顔自動シャッターについてのご注意

- フォーカスモードセレクターが **MF**（マニュアルフォーカス）のときは、笑顔自動シャッターを設定できません。
- 撮影条件などによっては、適切に顔認識や笑顔検出ができないことがあります（64）。シャッターボタンを押しても撮影できます。

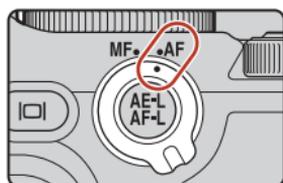
セルフタイマーランプの点滅について

笑顔自動シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は速く点滅します。



オートフォーカスでピントを合わせる

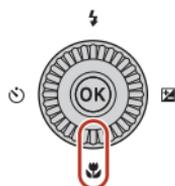
ピントを自動で合わせて撮影するには、フォーカスモードセレクターを**AF**（オートフォーカス）にします。



フォーカスモードを設定する

撮影距離に適したフォーカスモードを選べます。

- 1 マルチセレクターの▼（👇）を押す



- 2 フォーカスモード（📖62）を選び、**OK**ボタンを押す

- **OK**ボタンを押さないと、選択はキャンセルされます。



フォーカスモードの種類

AF 通常AF

レンズから30 cm以上（最も望遠側の場合は7.0 m以上）離れた被写体を撮影するときに使います。

- 撮影画面のフォーカスモードアイコンは、設定直後のみ表示されます。

🌸 マクロAF

被写体に近づいて撮影するときに設定します。

🌸マークやズーム表示が緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約10 cmの被写体から、△マークより広角のズーム位置ではレンズ前約1 cmの被写体から、ピント合わせができます。

▲ 遠景AF

窓越しの景色や風景、建物などを撮影するときに使います。

無限遠付近でピントを合わせます。

- 近くの被写体にはピントが合わないことがあります。

📎 フォーカスモードの設定について

- 撮影モードによって、設定できないことがあります。
- 撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**の場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。

シャッターボタンの半押しと全押し

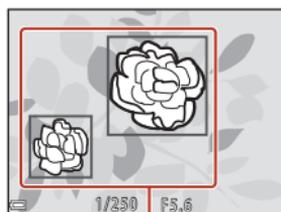
<p>半押し</p> 	<p>シャッターボタンを押して、軽く抵抗を感じるところで止めたままにすることを「半押し」といいます。</p> <ul style="list-style-type: none">• 半押しするとピントと露出（シャッタースピードと絞り値）が合います。半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。• ピントを合わせる位置（AF エリア）は、撮影モードによって異なります。
<p>全押し</p> 	<p>シャッターボタンを深く押し込むことを「全押し」といいます。</p> <ul style="list-style-type: none">• 全押しするとシャッターがきれます。• 全押しするとき力を入れすぎると、カメラが動いて画像がブレる（手ブレする）ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。



ターゲットファインドAFについて

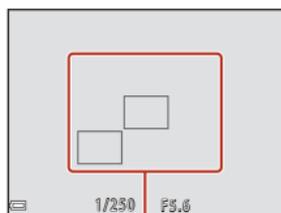
📷 (オート撮影) モード、クリエイティブモード、または**P**、**S**、**A**、**M**、**U**モードのときに [AFエリア選択] (□□140) が [ターゲットファインドAF] のときは、シャッターボタンを半押しすると、以下の動作でピントを合わせます。

- カメラが主要な被写体を検出し、ピントを合わせます。ピントが合うと、AFエリア表示が緑色に点灯します。カメラが人物の顔を検出したときは、人物を優先します。



AF エリア

- カメラが主要な被写体を検出していないときは、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します。



AF エリア

✔ ターゲットファインドAFについてのご注意

- どの被写体を主要被写体とみなして検出するかは、撮影条件によって異なります。
- [ホワイトバランス] や [Picture Control]、クリエイティブモードの効果グループの設定によっては、主要被写体を検出できないことがあります。
- 以下のような場合、カメラが主要被写体を適切に検出できないことがあります。
 - 被写体が非常に暗い、または明るい
 - 主要被写体の色に特徴が少ない
 - 主要被写体が画面の周辺部にある
 - 主要被写体が同じパターンを繰り返す



顔認識撮影について

以下の設定では、人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。

- シーンモード (□33) の [おまかせシーン]、[ポートレート]、[夜景ポートレート]
- ☑ (笑顔自動シャッター) (□60)
- [AFエリア選択] (□140) を [顔認識オート] に設定時



複数の顔を認識したときは、ピントを合わせる顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。

顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しした場合：

- [おまかせシーン] では、カメラが判別した撮影状況によって AF エリアが変わります。
- [ポートレート]、[夜景ポートレート] では、画面中央にピントが合います。
- [AF エリア選択] を [顔認識オート] に設定時は、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。
- 📷 (オート撮影) モード、または **P**、**S**、**A**、**M**、**U**モードで☑ (笑顔自動シャッター) を設定したときは、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。

✔ 顔認識機能についてのご注意

- 顔の向きなどの撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。
- 以下のような場合は、顔を認識できません。
 - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
 - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている



美肌機能について

シーンモードの「おまかせシーン」、[ポートレート]、[夜景ポートレート]では、人物の顔をカメラが検出すると、画像処理で顔の肌をなめらかにして記録します（最大3人）。

再生時にも、記録した画像に美肌の編集ができます（[□85](#)）。

美肌機能についてのご注意

- 撮影後の画像の記録時間は、通常より長くなることがあります。
- 撮影条件によっては、美肌の効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理されることがあります。

オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、等距離にある別の被写体にピントを合わせて、フォーカスロック撮影（[□66](#)）をお試しく下さい。

マニュアルフォーカスでピントを合わせることもできます（[□67](#)）。

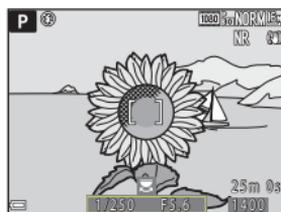


フォーカスロック撮影

AF（オートフォーカス）エリアが画面中央でも、ピントを固定（フォーカスロック）する方法を使うと、構図を工夫して撮影できます。

1 被写体を画面中央に配置し、シャッターボタンを半押しする

- ピントが合い、AFエリア表示が緑色に点灯します。
- 露出も固定されます。



2 半押ししたまま構図を変える

- 被写体との距離は変えないでください。



3 シャッターボタンを全押しして撮影する



AFエリアを任意の場所に移動するには

撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**では、撮影メニューの**[AFエリア選択]**（□□140）をマニュアルに設定すると、マルチセレクターでAFエリアを移動できます。

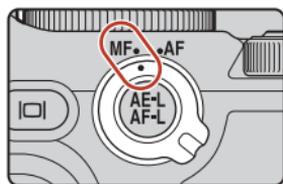
縦（AE-L/AF-L）ボタンを使ったピントの固定について

シャッターボタンを半押ししたまま縦（AE-L/AF-L）ボタンを押すと、**[AE-L/AF-Lボタン設定]**（□□175）の設定に応じて露出やピントを固定できます。



マニュアルフォーカスでピントを合わせる

ピントを手動で合わせるには、フォーカスモードセレクターを**MF**（マニュアルフォーカス）にします。



1 マルチセレクターまたはコントロールリングでピントを合わせる

- ◀を押すと、拡大率が1倍、2倍または4倍に切り換わります。
- より細かくピント合わせるには、マルチセレクターまたはコントロールリングをゆっくり回します。
- ▶を押すと、画面中央の被写体にオートフォーカスします。オートフォーカスでピントを合わせてから、マニュアルフォーカスの操作ができます。
- ピントが合った箇所は、白色で強調（ピーキング）表示し、ピント合わせを補助します（□68）。コマンドダイヤルを回してピーキングレベルを調節できます。
- シャッターボタンを半押しすると構図を確認できます。そのまま全押しすると撮影ができます。



ピーキングレベル

2 マルチセレクターの▼を押す

- 設定したピントに固定されます。
- シャッターボタンを全押しすると撮影できます。
- 設定したピントを変更するときは、▼を押して手順1の画面を表示します。



マニュアルフォーカスについて

- 手順1で画面右のゲージに表示される数字は、ゲージを中央付近にしたときにピントが合う距離の目安です。
- ピント合わせができる最短撮影距離は、ズーム位置によって異なります。最も広角側のズーム位置では、レンズ前約1 cmの被写体からピント合わせができます。最も望遠側のズーム位置では、レンズ前約7.0 mの被写体からピント合わせができます。
- 実際にピントが合う範囲は、絞り値やズーム位置によって異なります。ピントが合っているかどうかは、撮影後の画像で確認してください。
- セットアップメニューの [サイドズームレバー設定] (📖119) を [MFレバー] にすると、手順1でマルチセクターまたはコントロールリングのかわりにサイドズームレバーでもピント合わせができます。

ピーキングについて

- ピーキングレベルを調節すると、ピントが合っていると見なす範囲を変更できます。コントラストの高い被写体では弱めに、低い被写体では強めに設定すると効果的です。
- ピーキングでは、画像のコントラストが高い部分を白色で強調します。撮影条件によっては、適切に強調できないことや、ピントの合っていない部分を強調して表示することがあります。
- セットアップメニューの [ピーキング] (📖120) でピーキング表示しない設定にできます。
- セットアップメニュー [HDMI] (📖119) の [HDMIクリーンアウト] を [する] に設定し、HDMI対応機器に接続中は、ピーキング表示しません。

動画撮影中のマニュアルフォーカスについて

- フォーカスモードセクターをMFにして● (📽 動画撮影) ボタンを押すと、動画撮影中もマルチセクターまたはコントロールリングでピントを合わせることができます。
- ピーキング表示はしません。
- マルチセクターの◀▶、フォーカスモードセクターの操作は無効です。

リモコン ML-L7 (別売) を使用してピントを合わせるには

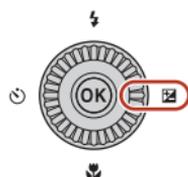
- リモコンのマルチセクターの▲▼を押すと、マニュアルフォーカス時にリモコンでピントを合わせることができます。
- リモコンのⓈ (決定) ボタンを押すと、設定したピントに固定できます。



露出補正（明るさを調節する）

画像全体の明るさを調節できます。

1 マルチセレクターの▶ (📷) を押す



2 補正值を選び、OKボタンを押す

- 明るくする：「+」側に設定します。
- 暗くする：「-」側に設定します。
- OKボタンを押さなくても、補正值が設定されます。



📌 露出補正の設定について

- P、S、Aモードの場合、設定は、電源をOFFにしても記憶されます。
- 以下の撮影モードでは、露出補正は使えません。
 - シーンモード (📷33) の [打ち上げ花火]、[比較明合成]、[タイムラプス動画] の [星空/150分間撮影]、[星軌跡/150分間撮影]
 - M (マニュアル露出) モード (📷46)
 - 📷 (マニュアル動画) モードの [マニュアル露出]
- 内蔵フラッシュ使用時に露出補正を設定した場合は、背景露出とフラッシュの発光量の両方が補正されます。
- 露出補正は、コントロールリングでも設定できます (📷174)。

📌 ヒストグラム表示について

ヒストグラムは、画像の明るさの分布を表すグラフです。フラッシュを使わない撮影で、露出を補正するときの目安になります。

- 横軸は輝度を示し、左へ行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなります。縦軸は画素数を示します。
- 露出補正を「+」側にすれば山が右側に寄り、「-」側にすれば山が左側に寄ります。



Fn (ファンクション) ボタンを使う

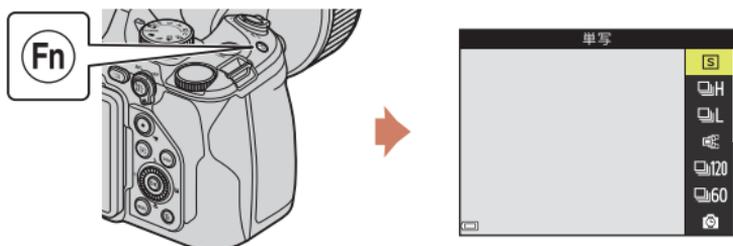
P、S、A、M、UモードでFnボタンを押すと、あらかじめ登録したメニュー項目をすばやく設定できます。

- 登録できるメニュー項目は以下のとおりです。

画質 (□□121)	連写 (□□133)
画像サイズ (□□123)	ISO感度設定 (□□137)
Picture Control (□□124)	AFエリア選択 (□□140)
ホワイトバランス (□□129)	手ブレ補正 (□□171)
測光方式 (□□132)	

1 撮影画面で、Fn (ファンクション) ボタンを押す

- 登録したメニュー (初期設定は [連写]) の設定項目と  [Fnボタン設定] を選べます。



2 マルチセレクターで設定項目を選び、OK ボタンを押す

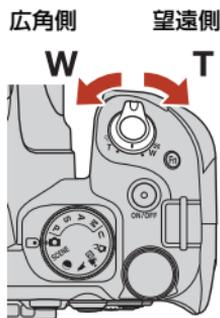
- OK ボタンを押さないと、選択はキャンセルされます。
- 設定を変更せずに撮影画面に戻るには、Fnボタンまたはシャッターボタンを押します。
- メニュー項目の登録を変更するには、 [Fnボタン設定] を選んでOK ボタンを押します。登録したいメニュー項目を選びOK ボタンを押すと、登録を変更します。



ズームを使う

ズームレバーを動かすと、ズーム位置が変わります。

- 大きく写す：**T**側
- 広い範囲を写す：**W**側
- ズームレバーをいっぱいまで回すと、ズームが速くなります（動画撮影中を除く）。
- サイドズームレバーを **T** または **W** 側に動かしても、ズームの操作ができます。
サイドズームレバーの機能は、セットアップメニューの [サイドズームレバー設定] (□173) で変更できます。
- ズームレバーを動かすと、撮影画面にズームの量と焦点距離（35mm判換算）が表示されます。
- 光学ズームの最大倍率でズームレバーを **T** 側に動かすと、電子ズームが作動し、さらに約4倍まで拡大できます。
- リモコン ML-L7（別売）使用時は、リモコンの+ボタンを押すと望遠側に、-ボタンを押すと広角側にズームします。



✓ 動画撮影時の電子ズームについてのご注意

- 動画撮影中は、ズーム表示はされません。
- 動画撮影中にズーム操作を続けると、光学ズームと電子ズームが切り換わるズーム位置でズーム動作が止まります。ズームレバーをいったん離してから再度ズーム操作すると、ズーム動作を再開します。
- 動画撮影で [動画設定] (□150) が [2160/30p] (4K UHD) または [2160/25p] (4K UHD) のときは、電子ズーム倍率は約3.6倍までに制限されます。

📎 電子ズームについて

電子ズームが作動するとズーム表示が青色に変わり、さらに倍率を上げると黄色に変わります。

- ズーム表示が青色のとき：ダイナミックファインズームにより、電子ズームによる画質の劣化が抑えられます。
- ズーム表示が黄色のとき：画質の劣化が目立つことがあります。
- 青色の領域は、画像サイズが小さいほど広くなります。
- 連写の設定などによっては、ズーム表示が青色にならないことがあります。



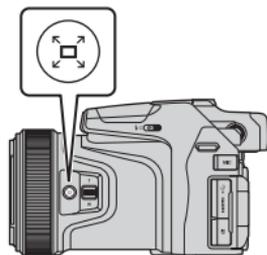
動画撮影中のズームについて

ズームレバー使用時と、サイドズームレバー使用時ではズーム速度が異なります。サイドズームレバーはズーム速度が遅くなるため、ズーム速度を優先したい場合にはズームレバーをお使いください。

クイックバックズームを使う

望遠側で撮影中に被写体を見失ったときは、 (クイックバックズーム) ボタンを押すと、見える範囲が一時的に広がり、被写体をとらえやすくなります。

-  ボタンを押したまま、撮影画面のフレーミング枠内に被写体をとらえます。見える範囲をさらに広げたいときは、 ボタンを押したまま、ズームレバーを **W** 側に動かします。
-  ボタンを離すと、元のズーム位置に戻ります。
- セットアップメニューの [クイックバックズーム] ( 173) で、 ボタンを押したときに見える範囲を一時的に広げる量を設定できます。
- 動画撮影中はクイックバックズームを使えません。



フレーミング枠



フラッシュ、セルフタイマー、フォーカスモードの初期設定一覧

各撮影モードの初期設定は以下のとおりです。

	フラッシュモード (□□54)	セルフタイマー (□□54)	フォーカスモード (□□54)
📷 (オート撮影)	⚡AUTO	OFF※ ¹	AF
SCENE			
📷 (おまかせシーン)	⚡AUTO※ ²	OFF	AF※ ²
👤 (ポートレート)	⚡👤	OFF※ ¹	AF※ ²
🏞️ (風景)	📷※ ²	OFF	▲※ ²
🏃 (スポーツ)	📷※ ²	OFF※ ²	AF※ ²
🌃 (夜景ポートレート)	⚡👤※ ³	OFF※ ¹	AF※ ²
🎉 (パーティー)	⚡👤※ ⁴	OFF	AF※ ²
🏖️ (ビーチ)	⚡AUTO	OFF	AF※ ⁵
❄️ (雪)	⚡AUTO	OFF	AF※ ⁵
🍷 (夕焼け)	📷※ ²	OFF	▲※ ²
🌆 (トワイライト)	📷※ ²	OFF	▲※ ²
🌃 (夜景)	📷※ ²	OFF	▲※ ²
🌸 (クローズアップ)	⚡AUTO※ ⁶	OFF	🌸※ ²
🍴 (料理)	📷※ ²	OFF	🌸※ ²
🎆 (打ち上げ花火)	📷※ ²	OFF※ ²	👁️※ ²
🌅 (逆光)	⚡📷※ ⁷	OFF	AF※ ²
📺 (かんたんパノラマ)	📷※ ²	OFF※ ²	AF※ ²
🐾 (ペット)	📷※ ²	📷※ ⁸	AF※ ⁵
SOFT (ソフト)	⚡AUTO	OFF	AF
🖌️ (セレクトカラー)	⚡AUTO	OFF	AF
🖼️ (比較明合成)	📷※ ²	OFF	AF/👁️※ ⁹
🕒 (タイムラプス動画)	📷※ ²	OFF	AF/▲/👁️※ ¹⁰
🕒 (スーパーラプス動画)	📷※ ²	OFF	AF



	フラッシュモード ()54)	セルフタイマー ()54)	フォーカスモード ()54)
 (月)	 ※2	 3s	 ※2
 (鳥)	 ※2	OFF	AF※11
 (マニュアル動画)	 ※2	OFF	AF
 (クリエイティブ)	 AUTO	OFF	AF※5
P、S、A、M		OFF※1	AF
U (ユーザーセッティング)		OFF※1	AF

※1 笑顔自動シャッターも選べます。

※2 変更できません。

※3 変更できません。[手持ち撮影] のときは赤目軽減スローシンクロで強制発光します。[三脚撮影] のときは赤目軽減スローシンクロで自動発光します。

※4 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。

※5 AF (通常AF) または  (マクロAF) に変更できます。

※6 [連写NR撮影] の場合は、 (発光禁止) に固定されます。

※7 [HDR] が [しない] のときは  (強制発光) に、[HDR] が [する] のときは  (発光禁止) に固定されます。

※8 ペット自動シャッターのON/OFFを設定できます。セルフタイマーは使えません。

※9 [夜景と光跡] の場合は、AF (通常AF)、または  (遠景AF) に変更できます。[星軌跡] の場合は  (無限遠) に固定されます。

※10 [街中/10分間撮影] の場合はAF (通常AF)、[風景/25分間撮影]、[夕焼け/50分間撮影] の場合は  (遠景AF)、[星空/150分間撮影]、[星軌跡/150分間撮影] の場合は  (無限遠) に固定されます。

※11 AF (通常AF)、または  (遠景AF) から選べます。



撮影時に組み合わせて使えない機能

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。

制限される機能	設定	内容
フラッシュモード	フォーカスモード (□□61)	▲ (遠景AF) にすると、フラッシュは使えません。
	連写 (□□133)	フラッシュは使えません ([インターバル撮影] を除く)。
	AEブラケティング (□□139)	フラッシュは使えません。
セルフタイマー / 笑顔自動シャッター	フォーカスモード (□□61)	AF (通常AF) 以外にすると、笑顔自動シャッターは [OFF] になります。
	AFエリア選択 (□□140)	[ターゲット追尾] にすると、セルフタイマー / 笑顔自動シャッターは使えません。
フォーカスモード	笑顔自動シャッター (□□60)	笑顔自動シャッターにすると、AF (通常AF) に固定されます。
画質	連写 (□□133)	<ul style="list-style-type: none"> • [先取り撮影] にすると、[NORMAL] に固定されます。 • [高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps] にすると、[RAW]、[RAW+FINE] または [RAW+NORMAL] は使えません。
	多重露出 (□□145)	[多重露出モード] を [する] にすると、[RAW]、[RAW+FINE] または [RAW+NORMAL] は使えません。
画像サイズ	画質 (□□121)	<ul style="list-style-type: none"> • [RAW] にすると、[画像サイズ] は $16M$ [4608×3456] に固定されます。 • [RAW+FINE]、[RAW+NORMAL] にすると、JPEG 画像の [画像サイズ] を設定できます。ただし、$12M$ [4608×2592]、$14M$ [4608×3072]、$12M$ [3456×3456] は選べません。
	連写 (□□133)	連写の設定によって、[画像サイズ] は以下に固定されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [先取り撮影] 時：$12M$ (1280×960 ピクセル) • [高速連写 120 fps] 時：$7M$ (640×480 ピクセル) • [高速連写 60 fps] 時：$12M$ (1920×1080 ピクセル)



制限される機能	設定	内容
Picture Control	AFエリア選択 (☞140)	[ターゲット追尾] にすると、[モノクローム] を設定できません。
	アクティブD-ライティング (☞144)	[アクティブD-ライティング] を使うときは、「手動調整」の [コントラスト] を調整できません。
ホワイトバランス	Picture Control (☞124)	[モノクローム] にすると、[ホワイトバランス] は [オート (標準)] に固定されます。
測光方式	アクティブD-ライティング (☞144)	[アクティブD-ライティング] を使うときは、[測光方式] は [マルチパターン] にリセットされます。
連写 AEブラケットイング	連写 (☞133) / AEブラケットイング (☞139) / 多重露出 (☞145)	[連写]、[AEブラケットイング]、[多重露出] はいずれかひとつしか使えません。
	セルフタイマー (☞58)	<ul style="list-style-type: none"> • [連写 H] または [連写 L] に設定しても、セルフタイマーのカウントダウン開始後にシャッターボタンを離すと、連写しません。 • [先取り撮影] に設定しても連写しません。 • [インターバル撮影] は、1コマで終了します。 • [AEブラケットイング] は使えません。
	笑顔自動シャッター (☞60)	<ul style="list-style-type: none"> • 笑顔検出してシャッターがきれた場合、1コマのみの撮影になります。インターバル撮影は、1コマで終了します。 • [AEブラケットイング] は使えません。
	画質 (☞121)	[RAW]、[RAW+FINE] または [RAW+NORMAL] にすると、[先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps] は使えません。
	Picture Control (☞124)	[モノクローム] にすると、[AEブラケットイング] は使えません。
ISO感度設定	連写 (☞133)	[先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps] にすると、[ISO感度設定] は [オート] に固定されます。
	動画設定 (☞150)	マニュアル動画モード時に [動画設定] を HS動画に設定すると、[ISO感度設定] は [オート] に固定されます。



制限される機能	設定	内容
AFエリア選択	笑顔自動シャッター (☞60)	[AFエリア選択] の設定にかかわらず、顔認識撮影になります。
	フォーカスモード (☞61)	[ターゲット追尾] 以外に設定したときにフォーカスモードを▲ (遠景AF) にすると、[AFエリア選択] の設定にかかわらず、遠景にピントが合います。
	Picture Control (☞124)	[モノクローム] にすると、[ターゲット追尾] を設定できません。
	ホワイトバランス (☞129)	[ターゲットファインドAF] 時、[オート(標準)] 以外に設定すると、顔、または9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。
AFモード	笑顔自動シャッター (☞60)	笑顔自動シャッターのときは、[シングルAF] で動作します。
	フォーカスモード (☞61)	フォーカスモードを▲ (遠景AF) にすると、[シングルAF] で動作します。
多重露出	画質 (☞121)	[RAW]、[RAW+FINE]または[RAW+NORMAL]のときは、[多重露出] が使えません。
	連写 (☞133) / AEブラケットリング (☞139)	[連写]、[AEブラケットリング]、[多重露出] はいずれかひとつしか使えません。
モニター設定	AFエリア選択 (☞140)	<ul style="list-style-type: none"> • [マニュアル (スポット)]、[マニュアル (標準)]、[マニュアル (ワイド)] にしてAFエリアを選択中は、ヒストグラムは表示されません。 • [ターゲット追尾] にしてターゲット登録後 (追尾中) は、ヒストグラムは表示されません。 • [ターゲットファインド AF] のときは、ヒストグラムは表示されません。
日付写し込み	画質 (☞121)	[RAW]、[RAW+FINE]または[RAW+NORMAL]のときは、日付と時刻を写し込めません。
	連写 (☞133)	[先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps] にすると、日付と時刻を写し込めません。



制限される機能	設定	内容
電子ズーム	笑顔自動シャッター (☞60)	笑顔自動シャッターにすると、電子ズームは使えません。
	画質 (☞121)	[RAW]、[RAW+FINE]または[RAW+NORMAL]にすると、電子ズームは使えません。
	AFエリア選択 (☞140)	[ターゲット追尾] にすると、電子ズームは使えません。
	ズームメモリー (☞147)	[ズームメモリー] を [する] にすると、電子ズームは使えません。
シャッター音	連写 (☞133)	[先取り撮影]、[高速連写 120 fps] または [高速連写 60 fps] にすると、シャッター音は鳴りません。
	AEブラケティング (☞139)	シャッター音は鳴りません。

☑ 電子ズームについてのご注意

- 撮影モードや設定によっては、電子ズームを使えません (☞172)。
- 電子ズーム使用時は、AFエリア選択や測光方式などが制限されます。



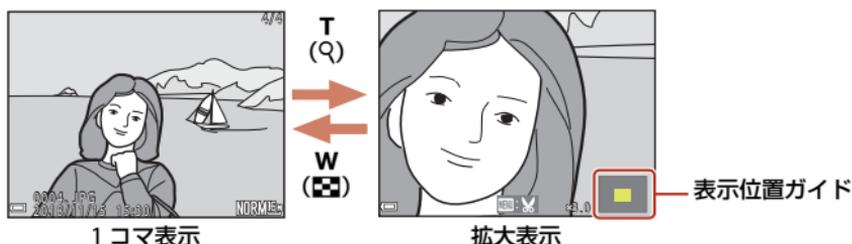
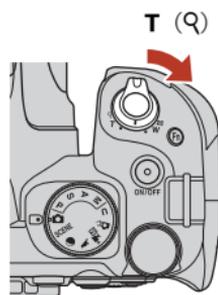
いろいろな再生

拡大表示.....	80
サムネイル表示 / カレンダー表示.....	81
連写した画像（連写グループ）の再生と削除.....	82
画像の編集（静止画）.....	83



拡大表示

再生モードの1コマ表示 (□27) でズームレバーをT (Q) 拡大表示) 側に動かすと、拡大表示されます。



- 拡大率を調節するには、ズームレバー (W (Q) / T (Q)) を動かします。コマンドダイヤルを回しても操作できます。
- 表示位置を移動するには、マルチセレクターの▲▼◀▶を押します。
- 顔認識またはペット検出して撮影した画像は、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示します ([連写] または [AEブラケット]) で撮影した画像を除く)。顔以外の位置を拡大するには、いったん拡大率を変更してから▲▼◀▶を押します。
- 拡大表示中にOKボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。

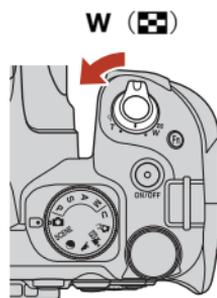
画像をトリミングするには

拡大表示中にMENUボタンを押すと、表示されている部分だけにトリミングし、別画像として保存できます (□88)。



サムネイル表示/カレンダー表示

再生モードの1コマ表示 (□27) でズームレバーをW (☒サムネイル表示) 側に動かすと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。



- 表示コマ数は、ズームレバー (W (☒) / T (Q)) で変更できます。
- サムネイル表示で、マルチセレクターの▲▼◀▶または回転で、画像を選びOKボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示します。
- カレンダー表示で、▲▼◀▶または回転で、日付を選びOKボタンを押すと、その日に撮影した画像に移動して表示します。

☑ カレンダー表示についてのご注意

日時を設定せずに撮影した画像は、カレンダー表示で「2018年1月1日」の画像として扱われます。



連写した画像（連写グループ）の再生と削除

連写グループの再生方法

連写した画像は「連写グループ」として保存されます。1コマ表示やサムネイル表示では、グループ内の1コマ目を代表画像として表示します（初期設定）。グループ内の画像を1コマずつ表示するには、OK ボタンを押します。



OK ボタンを押した後の操作方法は、以下のとおりです。

- 画像を切り換えるには、マルチセレクターを回すか、◀▶を押します。
- 表示しているグループ以外の画像を見るには、▲を押し、代表画像の表示に戻します。
- 連写グループ内の画像をサムネイル表示やスライドショーで再生するには、再生メニュー [連写グループ表示方法] (□160) を [1枚ずつ] にしてください。



✓ 連写グループの表示方法について

- このカメラ以外で連写した画像は、連写グループとして表示できません。
- カメラ内のメモリーカードに保存された連写グループが1000セットを超えると、それ以降に連写した画像を連写グループとして表示できません。不要な連写グループを削除するか、メモリーカードを交換してください。ただし、不要な連写グループを削除しても、撮影時にグループ化されなかった画像は連写グループとして表示できません。

✎ 連写グループで使える再生メニュー

- グループ内画像の1コマ表示中にMENU ボタンを押すと、再生メニュー (□118) の機能が選べます。
- 代表画像でMENU ボタンを押すと、そのグループ内の画像すべてに、以下の設定ができます。
 - 送信画像の指定、プロテクト設定



連写グループの画像を削除する

連写グループでは、 (削除) ボタンを押すと、表示している画像によって削除される対象が異なります。

- 代表画像の表示中：
 - [表示画像]：表示しているグループ内の画像をすべて削除します。
 - [削除画像選択]：削除画像の選択画面 (📄115) で代表画像を選ぶと、そのグループ内の画像をすべて削除します。
 - [全画像]：メモリーカード内の画像をすべて削除します。
- グループ内画像の1コマ表示中：
 - [表示画像]：表示している1コマを削除します。
 - [削除画像選択]：グループ内の画像を選択して削除します。
 - [表示グループ]：表示しているグループ内の画像をすべて削除します。

画像の編集 (静止画)

画像編集の前に

このカメラでは画像を簡単に編集できます。編集した画像は元画像とは別に、異なるファイル名で保存されます。

編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。

画像編集の制限

- RAW画像、およびかんたんパノラマの画像は編集できません。
- JPEG画像は、10回まで編集できます。動画編集で作成した静止画は9回まで編集できます。
- 画像サイズや編集の種類によっては、編集できないことがあります。



簡単レタッチ（コントラストと鮮やかさを高める）

▶ ボタンを押す（再生モード） → 画像を選ぶ → MENU ボタン
→ 簡単レタッチ → ⊗ ボタン

マルチセクターの▲▼で効果の度合いを選び、⊗ ボタンを押す

- 右側に表示される画像は、編集後の見本です。
- 中止するときは、◀ を押します。

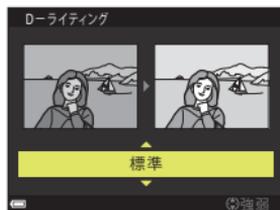


D-ライティング（画像の暗い部分を明るく補正する）

▶ ボタンを押す（再生モード） → 画像を選ぶ → MENU ボタン
→ D-ライティング → ⊗ ボタン

マルチセクターの▲▼で効果の度合いを選び、⊗ ボタンを押す

- 右側に表示される画像は、編集後の見本です。
- 中止するときは、◀ を押します。



美肌（肌をなめらかにする）

▶ ボタンを押す（再生モード）→ 画像を選ぶ → MENU ボタン
→ 美肌 → OK ボタン

1 マルチセレクトターの ▲▼ で効果の度合いを選び、OK ボタンを押す

- 中止するときは、◀ を押します。



2 効果を確認し、OK ボタンを押す

- 編集した顔が拡大表示されます。
- 編集した顔が複数あるときは、◀ ▶ を押すと顔を切り換えられます。
- 効果の度合いを変えたいときは、MENU ボタンを押して、手順1に戻ります。
- 編集画像が作成されます。



✓ 美肌についてのご注意

- 画面の中央に近い顔から順に、最大12人の肌を編集できます。
- 顔の向きや明るさなどによっては、適切に顔を検出できないことや望ましい効果が得られないことがあります。
- 顔を検出できないときは、警告メッセージが表示され、再生メニューに戻ります。



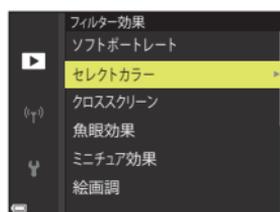
フィルター効果（デジタルフィルター）

▶ ボタンを押す（再生モード）→ 画像を選ぶ → MENU ボタン
→ フィルター効果 → OK ボタン

項目	内容
ソフトポートレート	人物の背景をぼかします。人物が認識できない場合は、画面中央部を残し、そのまわりをぼかします。
セレクトカラー	選択した色だけを残し、他の色は白黒にします。
クロススクリーン	太陽の反射や街灯などの光源から、放射状に光の筋を伸ばします。夜景などを撮影した画像が適しています。
魚眼効果	魚眼レンズで撮影したような画像にします。マクロで撮影した画像が適しています。
ミニチュア効果	ミニチュア（模型）を接写したように加工します。高いところから見下ろして撮影した画像で、主要な被写体が画面中央付近に写った画像が適しています。
絵画調	絵画のような雰囲気加工します。
周辺減光	画像の中央部から外側の周辺光量を下げた加工をします。
フォトイラスト	輪郭を強調し、色数を減らすことでイラスト風の画像にします。
背景モノクロポートレート	人物の背景をモノクロにします。人物が認識できない場合は、画面中央部を残し、そのまわりをモノクロにします。

1 マルチセクターの ▲▼ でフィルター効果の種類を選び、OK ボタンを押す

- ・ [セレクトカラー] 以外の場合 → 手順3



- 2 ▲▼で残したい色合いを選び、**OK** ボタンを押す



- 3 効果を確認し、**OK** ボタンを押す

- 編集画像が作成されます。
- 中止するときは、**◀**を押します。



スモールピクチャー（画像サイズを小さくする）

▶ボタンを押す（再生モード）→ 画像を選ぶ → MENU ボタン
→ スモールピクチャー → **OK** ボタン

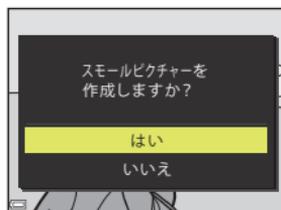
- 1 マルチセクターの ▲▼ でスモールピクチャーのサイズを選び、**OK** ボタンを押す

- アスペクト比16:9の画像の場合は、640×360のサイズに固定です。**OK** ボタンを押して手順2へ進んでください。



- 2 **[はい]** を選び、**OK** ボタンを押す

- 編集画像が作成されます（圧縮率約1/8）。



✓ スモールピクチャーについてのご注意
アスペクト比3:2および1:1の画像は編集できません。



トリミング（画像の一部を切り抜く）

1 ズームレバーで拡大表示する（☞80）

2 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節し、MENU（メニュー）ボタンを押す

- ズームレバーを**T**（Q）または**W**（☒）側に動かして拡大率を調節します。**☒**が表示される拡大率にしてください。
- マルチセレクターの▲▼◀▶で表示範囲を移動します。



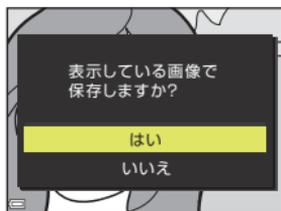
3 画像を確認し、OKボタンを押す

- 切り抜きたい部分を選び直すには、◀を押して手順2に戻ります。
- トリミング画像を保存せずに終了するには、MENUボタンを押します。



4 [はい] を選び、OKボタンを押す

- 編集画像が作成されます。



✔ トリミングについてのご注意

かんたんパノラマの画像は編集できません。

📎 画像サイズについて

- トリミング後のアスペクト比（横：縦）は、元画像と同じです。
- トリミングして画像サイズが320×240以下になった画像は、再生画面で小さく表示されます。



動画

動画の基本的な撮影と再生	90
動画撮影中に静止画を記録する	93
マニュアル動画（露出を設定して動画撮影する）	94
タイムラプス動画を撮影する	96
スーパーラプス動画を撮影する	98
動画再生中の操作	99
動画の編集	100

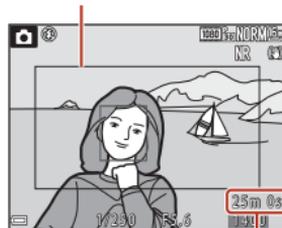


動画の基本的な撮影と再生

1 撮影画面を表示する

- 記録できる時間を確認します (□91、150)。
- 動画の写る範囲を示す動画枠の表示をおすすめします (□91)。

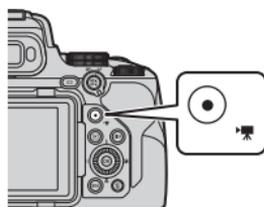
動画枠



動画の記録可能時間

2 ● (📷 動画撮影) ボタンを押して、動画の撮影を開始する

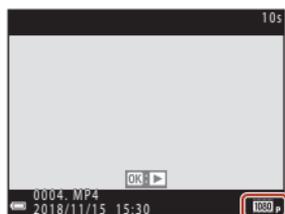
- 画面中央でピントが合います。
- OK ボタンを押すと撮影を一時停止し、もう一度 OK ボタンを押すと撮影を再開します ([動画設定] を HS 動画にした場合を除く)。一時停止したまま約 5 分経過すると、撮影が終了します。
- 動画撮影中にシャッターボタンを押すと、静止画を記録できます (□93)。



3 ● (📷) ボタンを押して、撮影を終了する

4 再生モードの1コマ表示で動画を選び、OK ボタンを押して再生する

- 動画設定のアイコンが表示されている画像が動画です。



動画設定



動画枠について

- 動画枠を表示するには、**DISP** ボタンを押します (□8)。動画撮影開始前に動画の写る範囲を確認できます。
- 動画の写る範囲は、動画メニューの [動画設定] や [電子手ブレ補正] などの設定によって異なります。

ピントについて

- 動画撮影中のピントは、動画メニュー [AF モード] (□153) の設定によって以下のようになります。
 - **AF-S [シングル AF]** (初期設定)：動画撮影開始時に固定されます。動画撮影中にピントをオートフォーカスで合わせたいときは、マルチセレクターの ◀ を押します。
 - **AF-F [常時 AF]**：動画撮影中もピント合わせを繰り返します。セットアップメニュー [AE-L/AF-L ボタン設定] (□175) を [AE-L/AF-L]、[AF-L] に設定中は、動画撮影中に ⚡ ボタン (□5) を押すと、ピントが固定されます。解除するには、もう一度 ⚡ ボタンを押します。[AE-L]、[AE-L (ホールド)] に設定中は、動画撮影中にマルチセレクターの ◀ を押すと、ピントが固定されます。解除するには、もう一度 ◀ を押します。
- フォーカスモードセレクターが **MF** (マニュアルフォーカス) のときは、動画撮影中もマルチセレクターまたはコントロールリングを回して、手動でピントを合わせられます。

露出について

セットアップメニュー [AE-L/AF-L ボタン設定] (□175) を [AE-L/AF-L]、[AE-L]、[AE-L (ホールド)] に設定中は、動画撮影中に ⚡ ボタンを押すと、露出が固定されます。解除するには、もう一度 ⚡ ボタンを押します。[AF-L] に設定中は、動画撮影中にマルチセレクターの ▶ を押すと、露出が固定されます。解除するには、もう一度 ▶ を押します。

動画の連続撮影可能時間

1回の撮影で記録可能な時間は、メモリーカードの残量が多いときでも最長29分です。ただし、動画のサイズ/フレームレートが [2160/30p] (4K UHD) 時は約6分以上、[2160/25p] (4K UHD) 時は約7分以上撮影すると、複数の動画ファイル (1ファイルにつき最大4GB) で記録され、連続再生できません (□150)。

- 撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。
- カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。
- 実際に記録可能な時間は、画像の絵柄や動き、メモリーカードの種類によって異なることがあります。



- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のメモリーカードをおすすめします。動画のサイズ/フレームレートが [2160/30p] または [2160/25p] (4K UHD) の場合は、UHSスピードクラス3以上のメモリーカードをおすすめします。転送速度が遅いメモリーカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

✓ カメラの温度について

- 動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがあります。
- 動画撮影中、カメラ内部が極端に高温になると、撮影が自動終了します。自動終了までの残りの秒数 (約10s) が画面に表示されます。自動終了後、電源もOFFになります。カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。

動画撮影についてのご注意

✓ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。電池/メモリーカードカバーを開けたり、電池やメモリーカードを取り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやメモリーカードが壊れることがあります。

✓ 記録した動画についてのご注意

- コントロールリングやズームレバーなどの操作音、ズーム、オートフォーカス、手ブレ補正、明るさが変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画撮影中の画面の表示に、以下のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画像に横帯が発生する
 - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体がゆがむ
 - カメラを左右に動かした場合、画面全体がゆがむ
 - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
- 撮影距離やズーム倍率によっては、動画の撮影時や再生時、同じパターンを繰り返す被写体（布地や建物の格子窓など）に色の付いた縞模様（干渉縞、モアレ）が現れることがあります。これは被写体の模様と撮像素子の配列が干渉すると起きる現象で故障ではありません。

✓ オートフォーカスについてのご注意

「オートフォーカスが苦手な被写体」(□65) では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を撮影するときは、マニュアルフォーカス (□67) でピントを合わせるか、以下の方法をお試しください。

1. 撮影前に動画メニューの [AFモード] を [シングルAF] (初期設定) にする。
2. 等距離にある別の被写体を画面中央に配置して ● (●) ボタンを押し、動画撮影を開始してから構図を変える。



動画撮影中に静止画を記録する

動画の撮影中に、シャッターボタンを全押ししたときの1フレームを静止画（JPEG画像）として記録できます。静止画の記録中も動画撮影が続きます。

- 画面に  が表示されているときに記録できます。表示が  のときは記録できません。
- 記録される静止画の画像サイズは、動画の画像サイズ（)によって異なります。



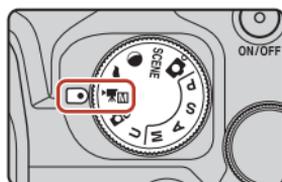
✓ 動画撮影中の静止画記録についてのご注意

- 以下の場合は、動画撮影中の静止画記録はできません。
 - 動画撮影の一時停止中
 - 動画記録可能時間が5秒未満の場合
 - **【動画設定】**（) がHS動画の場合
- 撮影メニュー **【画質】**（) の設定が **[RAW]** または **[RAW+FINE]** のときは、記録される静止画の画質は **[FINE]** になります。**[RAW+NORMAL]** のときは、**[NORMAL]** になります。
- **【動画設定】** が  **[2160/30p]** または  **[2160/25p]** のときは、1回の動画撮影中に記録できる静止画は最大20コマです。画質は **[FINE]** になります。
- 撮影後の画像の記録に時間がかかることがあります。
- 静止画を記録した瞬間の動画のフレームは、なめらかに再生されない場合があります。
- 撮影中の動画にシャッターボタンの操作音が録音されることがあります。
- シャッターボタンを押すときに、カメラが動いて画像がブレることがあります。



マニュアル動画（露出を設定して動画撮影する）

マニュアル動画モードでは、絞り優先オートやマニュアル露出で、露出（シャッタースピードや絞り値）を自分で設定して動画撮影できます。



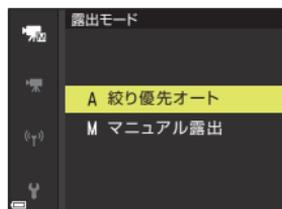
絞り優先オート (初期設定)	絞り値を設定すると、シャッタースピードをカメラが自動制御します。被写体を手前から奥まで鮮明に写したり、被写体の背景を意図的にぼかしたりできます。
マニュアル露出	シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定します。

- 1 MENU ボタンを押し、マニュアル動画メニューの [露出モード] を選び、**OK** ボタンを押す



- 2 [絞り優先オート] または [マニュアル露出] を選び、**OK** ボタンを押す

- 撮影状況や撮影意図によって、[Picture Control]、[CSM Picture Control]、[ホワイトバランス]、[ISO感度設定] を設定します。



- 3 MENU ボタンを押し、撮影画面にする

- 4 露出を設定する

- シャッタースピードはコマンドダイヤル、絞り値はマルチセクターを回して設定します。



5 ● (📹 動画撮影) ボタンを押して、動画の撮影を開始する

- 動画撮影中も、シャッタースピードと絞り値を設定できます ([動画設定] をHS動画にした場合を除く)。
- 動画撮影中にシャッターボタンを全押しすると、静止画を撮影できます (📖93)。



✔ マニュアル動画モードについてのご注意

- マニュアル動画モードでは、● (📹) ボタンを押す前にシャッターボタンを押しても、静止画を撮影できません。
- マニュアル動画モードでは、動画撮影開始前にシャッターボタンを半押ししてもピントを合わせることができません。動画撮影開始前にピントを合わせるには、動画メニューの [AFモード] (📖153) を [常時AF] に設定するか、マニュアルフォーカス (📖67) をお使いください。

✔ ISO感度についてのご注意

- マニュアル動画モードでは、最低ISO感度はISO 125になります。
- マニュアル動画モードで [露出モード] が [マニュアル露出] のときに [ISO 感度設定] (📖137) を [オート]、[ISO 125-400] または [ISO 125-800] に設定すると、ISO感度はISO 125に固定されます。
- [動画設定] (📖150) をHS動画に設定すると、ISO感度は [オート] に固定されます。

📎 シャッタースピードについて

シャッタースピードは、動画のフレームレートに近いほど動きがなめらかな動画になります。

マニュアル動画モードで設定できる機能

- セルフタイマー (📖58)
- フォーカスモード (📖61)
- 露出補正 (📖69)
- マニュアル動画メニュー (📖149)
- 動画メニュー (📖150)



タイムラプス動画を撮影する

静止画を一定間隔で自動撮影し、時間の経過による被写体の変化を約10秒間の早送り動画にして記録します。

- 動画メニューの「フレームレート設定」が「30 fps (30p/60p)」時は、30コマ撮影し [1080/30p] で記録します。「25 fps (25p/50p)」時は、25コマ撮影し [1080/25p] で記録します。

撮影モードダイヤルをSCENEに合わせる → MENUボタン → タイムラプス動画 → ボタン

種類/撮影所要時間	撮影間隔	
	30 fps (30p/60p)	25 fps (25p/50p)
街中/10分間撮影※ ¹ (初期設定)	2秒	2.4秒
風景/25分間撮影※ ¹	5秒	6秒
夕焼け/50分間撮影※ ¹	10秒	12秒
星空/150分間撮影※ ²	30秒	36秒
星軌跡/150分間撮影※ ³	30秒	36秒

※¹ ピントは画面中央のエリアで合わせます。

※² 星の動きなどに適しています。

※³ 画像処理で星の動きを光の線で表現します。

- 1 マルチセクターの ▲▼ で種類を選び、 ボタンを押す



- 2 露出（明るさ）を固定するかどうかを選び、 ボタンを押す（星空および星軌跡を除く）

- 「AE-Lする」にすると、露出を1コマ目で固定します。夕暮れなど、明るさの変化が激しいときは「AE-Lしない」をおすすめします。



3 三脚などでカメラを固定する

- 三脚などの使用時は、「三脚などの使用について」(□23)をご覧ください。

4 シャッターボタンを押し、1コマ目を撮影する

- 露出補正 (□69) は、1コマ目のシャッターをきる前に設定してください ([星空/150分間撮影]、[星軌跡/150分間撮影] では露出補正は使えません)。1コマ目を撮影した後は変更できません。ピントと色合いは、1コマ目の撮影時に固定されます。
- 星を撮影するときは、マニュアルフォーカス (□67) でピントを合わせることをおすすめします。
- 撮影中はオートパワーオフ (□176) は機能しません。
- 2コマ目以降は自動でシャッターがきれます。
- 撮影の合間は、画面が消灯することがあります。
- 300コマまたは250コマ撮影すると自動終了します。
- OK ボタンを押すと、撮影所要時間が終わる前に撮影を終了し、タイムラプス動画を記録します。
- 音声と静止画は記録されません。



✓ タイムラプス動画についてのご注意

- メモリーカードは、撮影を終了するまで交換しないでください。
- 途中で電源が切れないよう、十分に残量のある電池をお使いください。
- ● (●) ボタンを押しても、タイムラプス動画は撮影できません。
- 撮影が終了するまで、撮影モードダイヤルを回さないでください。



スーパーラプス動画を撮影する

動画を撮影し、早送り動画（ [1080/30p] または  [1080/25p]）にして記録します。カメラを移動させながら撮影し、被写体の移り変わりを時間短縮して記録するのに適しています。

撮影モードダイヤルをSCENEに合わせる → MENUボタン → 。スーパーラプス動画 →  ボタン

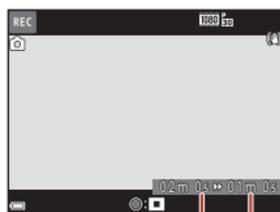
1 マルチセレクターの ▲▼ で再生倍速を選び、 ボタンを押す

- 初期設定の [2倍速] では、2分間撮影した場合、1分間の動画として再生されます。
- 撮影時間が 29 分を超えると、自動的に終了します。



2 ● (動画撮影) ボタンを押して、撮影を開始する

- 撮影時間と再生時間を画面で確認できます。
- 動画の写る範囲を示す動画枠の表示をおすすめします ( 91)。
- 音声は記録されません。



撮影時間

再生時間

静止画撮影について

- ● ( 動画撮影) ボタンを押す前にシャッターボタンを押すと、静止画 ( 92 (1920×1080ピクセル)) を撮影できます。
- 動画の撮影中に静止画を撮影できます ( 93)。



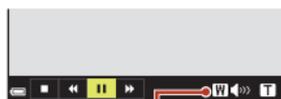
動画再生中の操作

音量を調節するには、再生中にズームレバー（)を動かします。

早送り/巻き戻しをするには、マルチセレクターまたはコマンドダイヤルを回します。

画面に操作パネルが表示されます。

マルチセレクターの◀▶でアイコンを選び、OKボタンを押すと以下の操作ができます。



音量表示



一時停止時

機能	アイコン	内容
巻き戻し		OKボタンを押している間、巻き戻します。
早送り		OKボタンを押している間、早送りします。
一時停止		一時停止します。一時停止中は、以下の操作ができます。
		 コマ戻しします。OKボタンを押し続けると、連続してコマ戻しします。*
		 コマ送りします。OKボタンを押し続けると、連続してコマ送りします。*
		 再生を再開します。
		 撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別ファイルとして保存します。
		 撮影した動画の1フレームを静止画として切り出して保存します。
再生終了		1コマ表示に戻ります。

※ マルチセレクターまたはコマンドダイヤルを回してもコマ送り/コマ戻しできます。



動画の編集

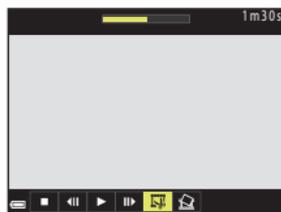
動画の編集をするときは、編集集中に電源が切れないよう、十分に残量のある電池をお使いください。

動画の必要な部分だけを切り出す

撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別ファイルとして保存します。

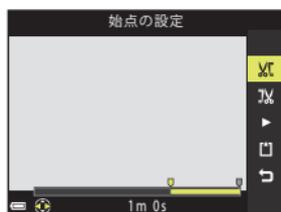
1 編集する動画を再生して、切り出したい先頭で一時停止する (🔍99)

2 マルチセレクターの◀▶で操作パネルの🔍を選び、Ⓚ ボタンを押す



3 ▲▼で編集操作パネルの🔍 (始点の設定) を選ぶ

- ◀ ▶またはコマンドダイヤルを回して、始点を調節します。
- 編集を中止するには、⏪ (戻る) を選び、Ⓚ ボタンを押します。



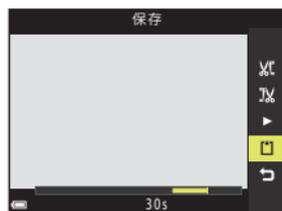
4 ▲▼で🔍 (終点の設定) を選ぶ

- ◀ ▶またはコマンドダイヤルを回して、終点を調節します。
- 設定した範囲をプレビューするには、▲▼で▶を選び、Ⓚ ボタンを押します。プレビューを停止するときは、もう一度Ⓚ ボタンを押します。



5 ▲▼で□(保存)を選び、OK ボタンを押す

- 画面に従って保存します。



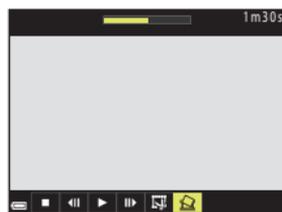
✓ 動画の切り出しについてのご注意

- 編集で作成した動画は、再編集できません。
- 設定した始点/終点のフレームと、実際の切り出し範囲は、多少ずれることがあります。
- 再生時間が2秒未満になる切り出しはできません。

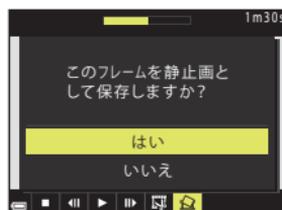
動画の1フレームを静止画として保存する

撮影した動画の1画面を静止画として切り出して保存します。

- 動画の再生を一時停止して、切り出したい画面を表示します (□99)。
- マルチセレクターの◀ ▶で操作パネルの📷を選び、OK ボタンを押します。



- 確認画面で [はい] を選び、OK ボタンを押して保存します。
- 保存される静止画の画質は [NORMAL] です。画像サイズは元の動画の画像サイズ (□150) になります。



✓ 静止画切り出しの制限

HS動画で撮影した動画から静止画を切り出すことはできません。



テレビ、プリンター、パソコンとの接続

画像の活用方法	103
テレビで鑑賞する	104
パソコンを使わずにプリントする	105
パソコンに画像を取り込む (NX Studio).....	109



画像の活用方法

撮影した画像は、SnapBridgeアプリを使って楽しむだけでなく、以下の機器とカメラを接続することで、さまざまな用途に活用できます。

テレビで鑑賞する



撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。

接続方法：市販のHDMIケーブルをテレビのHDMI入力端子に接続します。

パソコンを使わずにプリントする



PictBridge対応プリンターと接続すると、パソコンを使わずに画像をプリントできます。

接続方法：USBケーブルをプリンターのUSB端子に接続します。

パソコンに画像を取り込む (NX Studio)

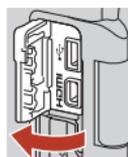


パソコンに画像や動画を取り込んで、閲覧、編集ができます。

接続方法：USBケーブルをパソコンのUSB端子に接続します。

- パソコンと接続する前にNX Studioをパソコンにインストールしてください。

✓ カメラにケーブルを接続するときのご注意



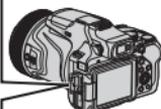
端子カバーを開ける



プラグを差し込む

Micro-USB端子

HDMIマイクロ端子 (Type D)



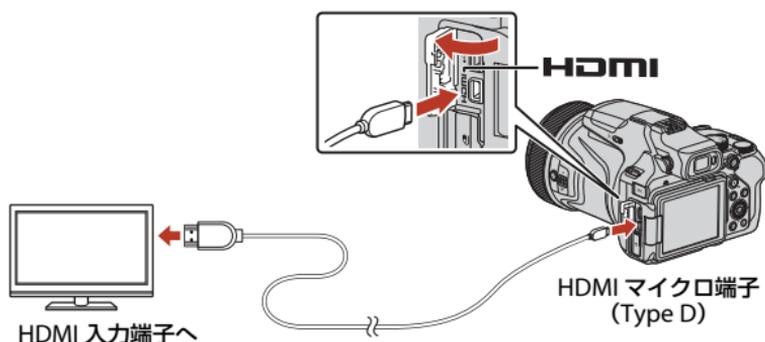
- プラグは形状と向きを確認して、必ずカメラの電源をOFFにしてから、まっすぐに抜き差ししてください。
- カメラの電池残量が十分にあるか確認してください。別売のACアダプター EH-5b/EH-5cとパワーコネクター EP-5Cを使うと、家庭用コンセントから電源を供給できます。EH-5b/EH-5c以外のACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- 接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書もあわせてお読みください。



テレビで鑑賞する

1 カメラの電源をOFFにし、テレビに接続する

- プラグは形状と向きを確認して、まっすぐに抜き差ししてください。

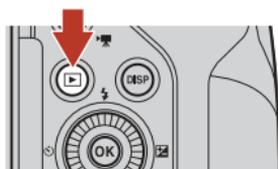


2 テレビの入力を外部入力に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの説明書をご覧ください。

3 カメラの **▶** (再生) ボタンを長押しして電源をONにする

- 画像がテレビに表示されます。
- カメラの画面は点灯しません。
- カメラの電源スイッチで電源をONにすると、撮影画面がテレビに表示されます。撮影した画像や動画をテレビに映すときは、**▶**ボタンを押して再生モードにしてください。



✓ HDMIケーブル接続についてのご注意

USBケーブル使用時には、カメラからテレビにHDMI出力できません。

📎 4K動画の再生について

[2160/30p] (4K UHD) または [2160/25p] (4K UHD) で記録した動画を4K UHD画質で再生するには、4Kに対応したテレビおよびHDMIケーブルをお使いください。また、セットアップメニュー [HDMI] の [HDMIクリーンアウト] (□177) を [しない] に設定してください。

- 接続するテレビによっては、テレビ画面の表示をカメラからの出力に合った表示に合わせるのに時間がかかり、4K動画再生時に最初の数秒間が表示されない場合があります。

🔌 テレビ、プリンター、パソコンとの接続

テレビで鑑賞する



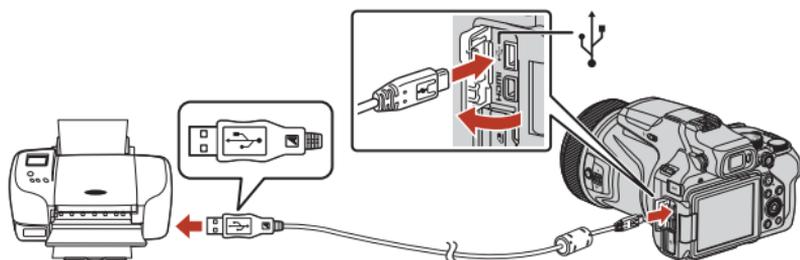
パソコンを使わずにプリントする

PictBridge対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます（ダイレクトプリント）。

カメラとプリンターを接続する

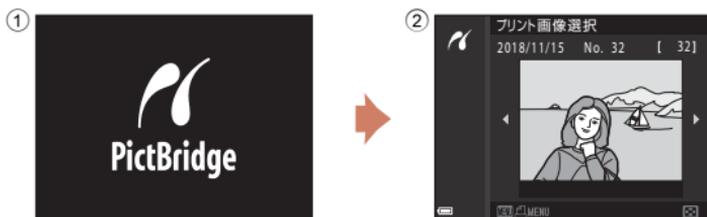
- 1 プリンターの電源をONにする
- 2 カメラの電源をOFFにし、USBケーブルでカメラとプリンターを接続する

• プラグは形状と向きを確認して、まっすぐに抜き差ししてください。



- 3 カメラの電源が自動的にONになる

• カメラの画面に [PictBridge] 画面 (①) が表示された後、[プリント画像選択] 画面 (②) が表示されます。



PictBridge画面が表示されないときは

プリンターによっては、[パソコン接続充電] (□179) を [オート] にするとプリントできない場合があります。電源がONになってもPictBridge画面が表示されないときは、カメラの電源をいったんOFFにしてUSBケーブルを外し、[パソコン接続充電] を [しない] に設定してから、再接続してください。



1コマずつプリントする

1 マルチセクターの◀▶でプリントする画像を選び、OKボタンを押す

- ズームレバーを **W** (📷) 側に動かすと一覧表示に、**T** (🔍) 側に動かすと1コマ表示に切り換わります。



2 ▲▼で [プリント枚数設定] を選び、OKボタンを押す

- ▲▼でプリント枚数 (9枚まで) を設定し、OKボタンを押します。



3 [用紙設定] を選び、OKボタンを押す

- 用紙サイズを選び、OKボタンを押します。
- プリンター側の用紙設定で印刷するには、[プリンターの設定] を選びます。
- カメラ側で選べる用紙サイズは、使用するプリンターによって異なります。



4 [プリント実行] を選び、OKボタンを押す

- プリントが始まります。



複数の画像をプリントする

- 1 [プリント画像選択] 画面が表示されたら、MENU（メニュー）ボタンを押す

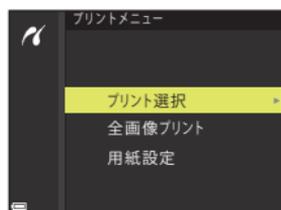


- 2 マルチセレクトの▲▼で [用紙設定] を選び、OK ボタンを押す

- 用紙サイズを選び、OK ボタンを押します。
- プリンター側の用紙設定で印刷するには、[プリンターの設定] を選びます。
- カメラ側で選べる用紙サイズは、使用するプリンターによって異なります。
- プrintメニューを終了したいときは、MENU ボタンを押します。



- 3 [プリント選択] または [全画像プリント] を選んで、OK ボタンを押す



プリント選択

プリントする画像（最大99コマまで）と、プリント枚数（各9枚まで）を設定します。

- マルチセレクトの◀▶で画像を選び、▲▼でプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、🖨️とプリント枚数が表示されます。選択をキャンセルするには、枚数を0にします。
- ズームレバーをT(Q)側に動かすと1コマ表示に、W(📐)側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- 設定が終了したらOKボタンを押します。プリント枚数の確認画面が表示されたら、[プリント実行]を選び、OKボタンを押すと画像のプリントが始まります。



全画像プリント

メモリーカード内のすべての画像を1枚ずつプリントします。

- プリント枚数の確認画面が表示されたら、[プリント実行]を選び、OKボタンを押すと画像のプリントが始まります。



パソコンに画像を取り込む (NX Studio)

付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続できます。ニコンのソフトウェア NX Studioをインストールすると、画像の転送、閲覧、および調整ができます。

NX Studioをインストールする

NX Studioのインストールにはインターネットに接続できる環境が必要です。ソフトウェアの最新情報、動作環境は、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

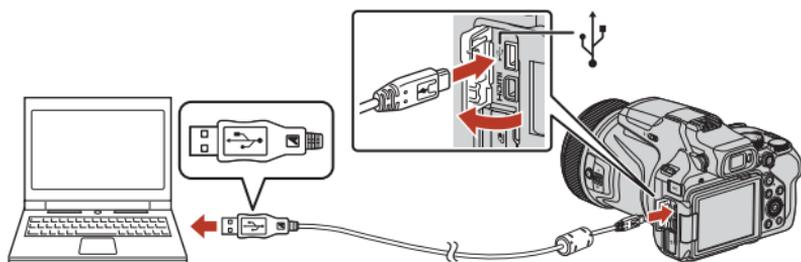
- 下記のホームページからNX Studioの最新のインストーラーをダウンロードし、画面の指示に従ってインストールしてください。
<https://downloadcenter.nikonimglib.com/>
- 最新のバージョンではない場合、カメラの画像が転送できないことがあります。

NX Studioを使ってパソコンに画像を取り込む

NX Studioの詳しい使い方はヘルプをご覧ください。

1 パソコンに接続する

- メモリーカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続します。

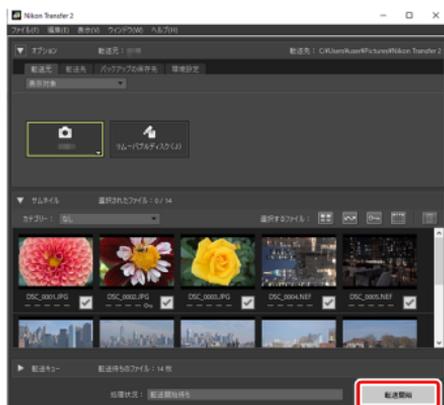


2 カメラの電源をONにする

- NX StudioのNikon Transfer 2が起動します。Nikon Transfer 2は、NX Studioをインストールすると一緒にインストールされる画像転送ソフトウェアです。
- 起動するプログラム (ソフトウェア) を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2を選んでください。
- 自動で起動しない場合、NX Studioを起動して「取り込む」アイコンをクリックしてください。



3 [転送開始] をクリックする



- 記録されている画像がパソコンに取り込まれます。

4 カメラの電源をOFFにする

- USBケーブルを抜いて接続を解除してください。

Windows 10またはWindows 8.1をお使いの場合
パソコンの設定によっては、図のようなダイアログが表示されます。



この場合は、表示されたダイアログをクリックしてから、**[画像ファイルを取り込む Nikon Transfer 2]** をクリックしてNikon Transfer 2を選びます。



macOSをお使いの場合

Nikon Transfer 2が自動起動しないときは、カメラとパソコンを接続した状態で、macOS 付属アプリケーションのイメージキャプチャを起動し、カメラを接続時に開くアプリケーションとしてNikon Transfer 2を設定してください。

動画を転送する場合のご注意

このカメラで使用したメモリーカードを他機種のカメラに入れて、そのカメラから動画を転送しないでください。動画が転送されないままファイルが削除されるおそれがあります。

パソコンとの接続時のご注意

- カメラとパソコンが通信している間は、カメラの電源をOFFにしたり、USBケーブルを抜いたりしないでください。
- ケーブルを接続するときは、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- ケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。
- パソコンから電源を供給するタイプの他のUSB機器はパソコンから取り外してください。同時に接続すると動作に不具合が発生したり、パソコンからの供給電力が過大になり、カメラ、メモリーカードなどが壊れるおそれがあります。
- カメラの電池残量が十分であることを確認してください。別売のACアダプターEH-5b/EH-5cとパワーコネクタEP-5Cを使うと、家庭用コンセントからこのカメラへ電源を供給できます。EH-5b/EH-5c以外のACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。

USBハブについて

USBハブを使ってカメラをパソコンに接続すると、正しく動作しないことがあります。カメラはパソコンに標準装備されたUSBポートへ接続してください。

カードリーダーを使用する場合

市販のカードリーダーを使用して画像を転送することもできます。その場合、カードリーダーがお使いのメモリーカードに対応しているかご確認ください。



メニューを使う

メニューの操作方法	113
メニュー項目一覧	116
撮影メニュー（撮影モード共通）	121
撮影メニュー（ P 、 S 、 A 、 M モード）	124
マニュアル動画メニュー	149
動画メニュー	150
再生メニュー	157
通信メニュー	161
セットアップメニュー	164



メニューの操作方法

MENU（メニュー）ボタンを押すと、以下のメニューを設定できます。

-  撮影メニュー ※1、2
-  マニュアル動画メニュー ※3
-  動画メニュー ※1
-  再生メニュー ※4
-  通信メニュー
-  セットアップメニュー

※1 撮影画面でMENUボタンを押すと設定できます。

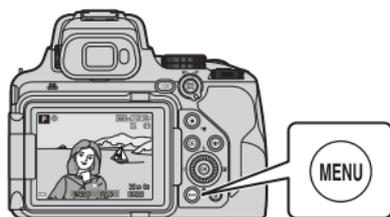
※2 メニューアイコンと設定できる項目は、撮影モードによって異なります。

※3 撮影モードダイヤルを （マニュアル動画）に合わせ、撮影画面でMENUボタンを押すと設定できます。

※4 再生画面でMENUボタンを押すと設定できます。

1 MENU（メニュー）ボタンを押す

- メニュー画面が表示されます。



2 マルチセレクターの◀を押す

- メニューアイコンが黄色で表示されます。



メニュー切り換えアイコン

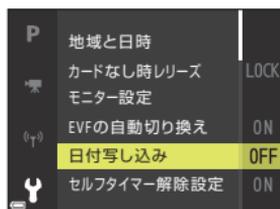
3 メニューアイコンを選び、OKボタンを押す

- メニュー項目が選べるようになります。



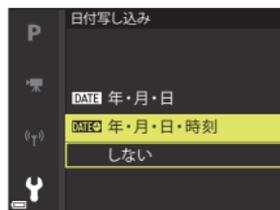
4 メニュー項目を選び、OK ボタンを押す

- 撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。
- マルチセレクターを回しても項目を選べます。



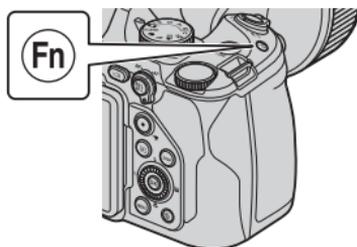
5 設定内容を選び、OK ボタンを押す

- 選んだ設定内容が決定します。
- メニュー操作を終了するには、MENU ボタンを押してください。
- メニュー画面から撮影画面にするには、シャッターボタンまたは (●) ボタンを押してください。



Fn (ファンクション) ボタンを使う

P、S、A、M、UモードでFnボタンを押すと、あらかじめ登録したメニュー項目をすばやく設定できます (初期設定は「連写」です)。メニュー項目の登録を変更するには、Fn [Fnボタン設定] を選び、表示されるメニュー項目の中から登録したいメニュー項目を選びます。



画像選択画面の操作方法

メニューの操作中に右のような画像選択画面が表示されたときは、以下の手順で画像を選びます。



1 マルチセレクトターの◀ ▶または回転で画像を選ぶ

- ズームレバー (□□2) をT (Q) 側に動かすと1コマ表示に、W (■) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- [画像回転]、[連写の代表画像選択] の画像選択では、1画像しか選べません。
→ 手順3へ



2 ▲▼でON/OFFを設定する

- ONにすると、選択画像の下にアイコンが表示されます。複数の画像に設定したいときは、手順1と2を繰り返します。



3 ㊄ ボタンを押して画像選択を決定する

- 確認画面が表示されたときは、表示内容に従って操作してください。



メニュー項目一覧

撮影メニュー

撮影画面にする → MENU ボタン

撮影モード共通（マニュアル動画モードを除く）

項目	初期設定	📖
画質*	[NORMAL]	121
画像サイズ*	 [4608×3456]	123

* Fn（ファンクション）ボタンを押しても設定できます（📖114）。

P、S、A、M、Uモード

項目	初期設定	📖
Picture Control*	[スタンダード]	124
CSM Picture Control	—	128
ホワイトバランス*	[オート（標準）]	129
測光方式*	[マルチパターン]	132
連写*	[単写]	133
ISO感度設定*	<ul style="list-style-type: none">• ISO 感度設定：[オート]• 低速限界設定：[しない]	137
AEブラケットング	[しない]	139
AFエリア選択*	[ターゲットファインドAF]	140
AFモード	[常時AF]	143
調光補正	[0.0]	143
ノイズ低減フィルター	[標準]	144
アクティブD-ライティング	[しない]	144
多重露出	<ul style="list-style-type: none">• 多重露出モード：[しない]• 自動ゲイン補正：[する]	145
User Setting 登録	—	53
User Setting リセット	—	53



項目	初期設定	📖
ズームメモリー	[しない]	147
起動ポジション設定	[24 mm]	148
Mモード露出反映表示	[しない]	148

※ Fn (ファンクション) ボタンを押しても設定できます (📖114)。

マニュアル動画メニュー

撮影モードダイヤルを📷 (マニュアル動画) に合わせる → MENU ボタン → 📷メニューアイコン → OK ボタン

項目	初期設定	📖
露出モード	[絞り優先オート]	94
Picture Control	[スタンダード]	124
CSM Picture Control	—	128
ホワイトバランス	[オート (標準)]	129
ISO感度設定	<ul style="list-style-type: none"> ISO 感度設定: [オート] 低速限界設定: [しない] 	137

動画メニュー

撮影画面にする → MENU ボタン → 📷メニューアイコン → OK ボタン

項目	初期設定	📖
動画設定	📷 [1080/30p] または 📷 [1080/25p]	150
AFモード	[シングルAF]	153
電子手ブレ補正	[する]	154
風切り音低減	[しない]	154
ズームマイク	[する]	155
フレームレート設定	—	155
外付けマイク感度	[マイク感度 オート]	156



再生メニュー

▶ ボタンを押す (再生モード) → MENU ボタン

項目	
送信画像の指定 ※1	157
簡単レタッチ ※2	84
D-ライティング ※2	84
美肌 ※2	85
フィルター効果 ※2	86
スライドショー	158
プロテクト設定 ※1	159
画像回転 ※1	159
スモールピクチャー ※2	87
連写グループ表示方法	160
連写の代表画像選択 ※1	160

※1 画像選択の画面で、画像を選びます。→「画像選択画面の操作方法」(📖115)

※2 編集した画像は、元画像とは別に保存されます。画像によっては編集できない場合があります。

通信メニュー

MENU ボタンを押す →  メニューアイコン →  ボタン

項目	
機内モード	161
接続先切替	161
スマートフォンと接続	161
リモコンとの接続	161
撮影時画像送信	161
Wi-Fi	162
Bluetooth	162



項目	📖
設定の初期化	162

セットアップメニュー

MENU ボタンを押す →  メニューアイコン →  ボタン

項目	📖
地域と日時	164
カードなし時リリース	166
モニター設定	167
EVFの自動切り換え	169
日付写し込み	169
セルフタイマー解除設定	170
手ブレ補正 [※]	171
AF補助光	172
電子ズーム	172
サイドズームレバー設定	173
クイックバックズーム	173
コントロールリング設定	174
AE-L/AF-Lボタン設定	175
操作音	175
オートパワーオフ	176
カードの初期化	176
言語/Language	176
HDMI	177
パソコン接続充電	179
画像コメント	180
著作権情報	181
位置情報	182
Av/Tv操作切り換え	182



項目	
連番リセット	183
ピーキング	184
設定クリアー	184
バージョン情報	184

※ Fn (ファンクション) ボタンを押しても設定できます (☞114)。



撮影メニュー（撮影モード共通）

画質

撮影画面にする※ → MENU ボタン → 撮影モードメニューアイコン
→ 画質 → OK ボタン

※ マニュアル動画モード以外の撮影モードで設定できます。設定は、他の撮影モードにも適用されます（撮影モードU、シーンモードの「かんたんパノラマ」を除く）。

記録する画質（画像の圧縮率）を設定します。

画質を高くするほど、画像の細部の描写が保たれますが、記録可能コマ数は少なくなります。

項目		内容
FINE	FINE	[NORMAL] よりも精細な画質になります。 圧縮率：約1/4
NORM	NORMAL (初期設定)	一般的な撮影に適した画質モードです。 圧縮率：約1/8
RAW	RAW	撮像素子の生データを記録します。撮影時に設定したホワイトバランスやコントラストなどを、パソコン上で変更できます。 • ファイル形式：RAW (NRW)、ニコン独自フォーマット
RAW-F	RAW+FINE	RAW とJPEG (FINE) の2種類の画像を同時に記録します。
RAW-N	RAW+NORMAL	RAW とJPEG (NORMAL) の2種類の画像を同時に記録します。

画質についてのご注意

- [画質] が [RAW] のときは、[画像サイズ] は  [4608×3456] に固定されます。
 - 以下の撮影モードでは、RAW 画像を記録できません。
 - シーンモード
 - 月モード
 - 鳥モード
 - クリエイティブモード
- 他の撮影モードでRAW 画像の記録を設定しているときに上記の撮影モードにすると、画質は [FINE] または [NORMAL] に切り換わります。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (P75)。



このカメラのRAW画像について

- このカメラではRAW現像はできません。
- パソコンでRAW画像を表示するには、NX Studio (□□109) をインストールする必要があります。
- RAW画像は、画像編集やダイレクトプリントができません。RAW画像をパソコンに取り込んでから、NX Studioなどのソフトウェアを使うと、画像の調整やRAW現像ができます (□□109)。

RAW画像とJPEG画像の同時記録について

- 同時記録したRAW画像とJPEG画像は、同じファイル番号で拡張子がそれぞれ「.NRW」と「.JPG」になります (□□205)。
- カメラでの再生時には、JPEG画像だけが表示されます。
- JPEG画像を削除すると、同時記録されたRAW画像も削除されますので、ご注意ください。

記録可能コマ数

- 記録可能なコマ数の目安は、撮影時の表示で確認できます (□□22)。
- 実際に記録可能なコマ数は、同じメモリー容量と画質、画像サイズでも、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって大きく異なります。メモリーカードの種類によっても、記録可能コマ数が異なることがあります。
- 記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。



画像サイズ

撮影画面にする※ → MENU ボタン → 撮影モードメニューアイコン
→ 画像サイズ →  ボタン

※ マニュアル動画モード以外の撮影モードで設定できます。設定は、他の撮影モードにも適用されます（撮影モードU、シーンモードの【かたんぱノラマ】または【スーパープラス動画】を除く）。

記録するJPEG画像の大きさ（記録画素数）を設定します。

画像サイズを大きくするほど、大きくプリントするのに適していますが、記録可能コマ数は少なくなります。

項目※	アスペクト比（横：縦）
 4608×3456（初期設定）	4:3
 3264×2448	4:3
 2272×1704	4:3
 1600×1200	4:3
 4608×2592	16:9
 4608×3072	3:2
 3456×3456	1:1

※ 数値は記録画素数を表しています。

例： 4608×3456：約16メガピクセル=4608×3456ピクセル

画像サイズ1:1の画像をプリントするときのご注意

画像サイズを「1:1」にして撮影した画像をプリントするときは、プリンターの設定を「フチあり」にしてください。

プリンターによっては、画像を1:1の縦横比でプリントできない場合があります。

画像サイズについてのご注意

この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（□75）。



撮影メニュー（P、S、A、Mモード）

- ・ [User Setting 登録]、[User Setting リセット] については、「U（ユーザーセッティング）モード」（□□52）をご覧ください。

Picture Control(COOLPIXピクチャーコントロール)

撮影モードダイヤルをP、S、A、M、Uに合わせる※1 → MENUボタン → P、S、A、M、Uメニューアイコン※2 → Picture Control → @ボタン

※1  (マニュアル動画) モード時も設定できます。

※2  (マニュアル動画) モード時は、 メニューアイコンが表示されます。

撮影状況や好みに合わせて、記録する画像の画（え）作りを設定できます。輪郭強調の度合い、コントラスト、色の濃さ（彩度）を細かく調整できます。

項目	内容
 スタンダード (初期設定)	鮮やかでバランスのとれた標準的な画像になります。ほとんどの撮影状況に適しています。
 ニュートラル	素材性を重視した自然な画像になります。撮影後に画像を加工したいときに適しています。
 ビビッド	メリハリのある生き生きとした色鮮やかな画像になります。青、赤、緑など、原色の色を強調したいときに適しています。
 モノクローム	白黒やセピアなど、単色の濃淡で表現した画像になります。
 カスタム1 ※	COOLPIXカスタムピクチャーコントロールで [カスタム1] に登録した設定にします。
 カスタム2 ※	COOLPIXカスタムピクチャーコントロールで [カスタム2] に登録した設定にします。

※ [CSM Picture Control] (□□128) でカスタマイズした設定を登録したときのみ表示されます。

COOLPIXピクチャーコントロールについてのご注意

- ・ このカメラのCOOLPIXピクチャーコントロール機能は、他のカメラ、NX StudioやPicture Control Utility 2などのソフトウェアのピクチャーコントロール機能と相互利用はできません。
- ・ この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (□□75)。



COOLPIXピクチャーコントロールのカスタマイズ：クイック調整と手動調整

COOLPIXピクチャーコントロールは、輪郭強調、コントラスト、色の濃さ（彩度）などの画（え）作りの要素をバランス良くまとめて調整できる「クイック調整」と、要素ひとつひとつを細かく調整できる「手動調整」でカスタマイズできます。

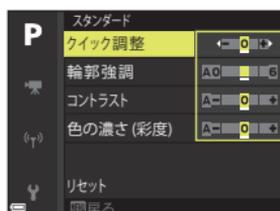
1 マルチセレクターの▲▼でCOOLPIXピクチャーコントロールの種類を選び、OKボタンを押す

- マルチセレクターを回しても項目を選べます。



2 ▲▼で調整する項目（P126）を選び、◀▶で値を設定する

- OKボタンを押すと、値が設定されます。
- [リセット] を選んでOKボタンを押すと、調整値は初期設定に戻ります。



クイック調整と手動調整の種類

項目	内容
クイック調整※ ¹	<p>輪郭強調、コントラスト、色の濃さ（彩度）のレベルを自動的に調整します。</p> <p>一側にするとそれぞれのCOOLPIXピクチャーコントロールの特徴を抑えた画像になり、+側にするとそれぞれのCOOLPIXピクチャーコントロールの特徴を強調した画像になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 初期設定：[0]
輪郭強調	<p>画像の輪郭の強調度合い（シャープネス）を設定します。数字が大きいくっきりとした画像になり、小さいほどソフトな画像になります。</p> <p>[A]（オート）に設定すると、自動調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 初期設定：[スタンダード] または [モノクローム] のとき [3]、[ニュートラル] のとき [2]、[ビビッド] のとき [4]
コントラスト	<p>画像のコントラストを設定します。</p> <p>一側にすると軟調な画像になり、+側にすると硬調な画像になります。晴天時の人物撮影や白とびが気になる場合などは一側が、かすんだ遠景の撮影などには+側が適しています。</p> <p>[A]（オート）に設定すると、自動調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 初期設定：[0]
色の濃さ（彩度）※ ²	<p>画像の色の鮮やかさを設定します。</p> <p>一側にすると鮮やかさが抑えられ、+側にするとより鮮やかになります。</p> <p>[A]（オート）に設定すると、自動調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 初期設定：[0]
フィルター効果※ ³	<p>白黒写真用カラーフィルターを通して撮影したときのような効果が得られます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [OFF]：フィルター効果を使用しません。 • [Y]（黄色）、[O]（オレンジ）、[R]（赤）：コントラストを強調する効果があり、風景撮影で空の明るさを抑えたい場合などに使います。[Y] → [O] → [R] の順にコントラストが強くなります。 • [G]（緑）：肌の色や唇などを落ち着いた感じに仕上げます。ポートレート撮影などに使います。 • 初期設定：[OFF]



項目	内容
調色 ^{※3}	<p>印画紙を調色したときのように、画像全体の色調を調整できません。調色は[B&W]（白黒）、[Sepia]（セピア調）、[Cyanotype]（青写真）から選べます。</p> <p>[Sepia] または [Cyanotype] を選んでマルチセクターの▼を押すと、さらに色の濃淡を選べます。◀▶を押して選んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 初期設定：[B&W]（白黒）

※1 [ニュートラル]、[モノクローム]、[カスタム 1] または [カスタム 2] の場合は、クイック調整できません。

手動調整した後にクイック調整をすると、手動調整で設定した値は無効になります。

※2 [モノクローム] の場合は、表示されません。

※3 [モノクローム] の場合のみ、表示されます。

【輪郭強調】 についてのご注意

【輪郭強調】の効果は、撮影時の画面では確認できません。画像を再生して確認してください。

【コントラスト】、【色の濃さ(彩度)】の [A] (オート) についてのご注意

同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって、仕上がり具合は変化します。



CSM Picture Control (COOLPIXカスタムピクチャーコントロール)

撮影モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**に合わせる※1 → MENUボタン →
P、**S**、**A**、**M**、**U**メニューアイコン※2 → CSM Picture Control → OKボタン

※1  (マニュアル動画) モード時も設定できます。

※2  (マニュアル動画) モード時は、メニューアイコンが表示されます。

「COOLPIXピクチャーコントロール」(📖125) の設定を調整 (カスタマイズ) して、**[Picture Control]** の **[カスタム1]** または **[カスタム2]** に登録します。

1 マルチセクターの▲▼で **[編集と登録]** を選び、OKボタンを押す

- 登録済みのCOOLPIXカスタムピクチャーコントロールを削除するには **[登録削除]** を選びます。



2 元にするCOOLPIXピクチャーコントロール (📖124) を選び、OKボタンを押す

3 ▲▼で調整する項目を選び、◀▶で値を設定する (📖125)

- 項目の内容はCOOLPIXピクチャーコントロールの調整と同じです。
- 調整が終わったら、OKボタンを押します。
- [リセット]** を選んでOKボタンを押すと、調整値は初期設定に戻ります。

4 登録先を選び、OKボタンを押す

- [Picture Control]** または **[CSM Picture Control]** で、**[カスタム1]** または **[カスタム2]** を選べるようになります。
- 調整値を変えるには、**[Picture Control]** または **[CSM Picture Control]** で **[カスタム1]** または **[カスタム2]** を選びます。



ホワイトバランス（色合いの調整）

撮影モードダイヤルを**P、S、A、M、U**に合わせる※¹ → MENUボタン → **P、S、A、M、U**メニューアイコン※² → ホワイトバランス → OKボタン

※1  (マニュアル動画) モード時も設定できます。

※2  (マニュアル動画) モード時は、メニューアイコンが表示されます。

画像を見た目に近い色で記録するように、天候や光源に合わせて設定します。

項目	内容
AUTO1 オート（標準） （初期設定）	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。 [オート（電球色を残す）] を選ぶと、電球色の光源下で撮影した際に暖かみのある画像の仕上がりになります。フラッシュ使用時は、フラッシュ発光の条件に応じて調整されます。
AUTO2 オート（電球色を残す）	
PRE プリセットマニュアル	[オート（標準）]、[オート（電球色を残す）] や [電球] などの設定では望ましい結果が得られない場合に使います（□□131）。
 晴天※	晴天の屋外での撮影に適しています。
 電球※	白熱電球の下での撮影に適しています。
 蛍光灯	蛍光灯の下での撮影に適しています。[1]（白色蛍光灯）、[2]（昼白色蛍光灯）、[3]（昼光色蛍光灯）のいずれかを選べます。
 曇天※	曇り空の屋外での撮影に適しています。
 フラッシュ※	フラッシュを使う撮影に適しています。
 色温度設定	色温度（□□130）を直接指定できます。

※7段階の微調整ができます。「+」方向で青み、「-」方向で赤みが増します。

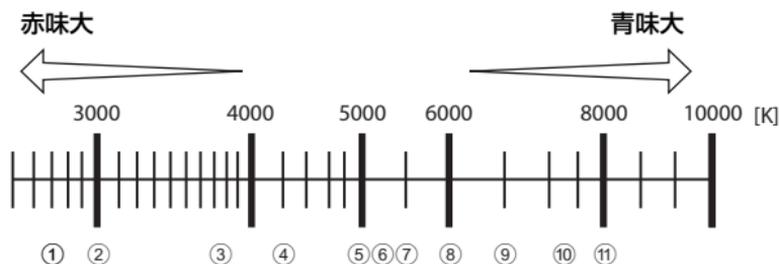
ホワイトバランスについてのご注意

- [オート（標準）]、[オート（電球色を残す）]、[フラッシュ] 以外のホワイトバランスを選んだときは、内蔵フラッシュを閉じてください（□□25）。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（□□75）。



色温度について

光の色を絶対温度（K：ケルビン）という客観的な数字で表したものが色温度です。色温度が低くなるほど赤味を帯びた光色になります。色温度が高くなるほど青味を帯びた光色になります。



- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| ① ナトリウム灯混合光（約2700K） | ⑦ フラッシュ（約5400K） |
| ② 電球（約3000K）
電球色蛍光灯（約3000K） | ⑧ 曇天（約6000K） |
| ③ 温白色蛍光灯（約3700K） | ⑨ 昼光色蛍光灯（約6500K） |
| ④ 白色蛍光灯（約4200K） | ⑩ 高色温度の水銀灯（約7200K） |
| ⑤ 昼白色蛍光灯（約5000K） | ⑪ 晴天日陰（約8000K） |
| ⑥ 晴天（約5200K） | |



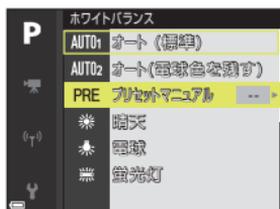
プリセットマニュアルの使い方

以下の手順で、撮影する照明下のホワイトバランス値を測定して、撮影します。

1 白またはグレーの被写体を用意し、撮影する照明下に置く

2 マルチセクターの▲▼で[プリセットマニュアル]を選び、**OK**ボタンを押す

- レンズが測定用のズーム位置になります。



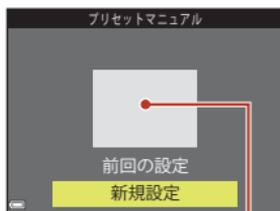
3 [新規設定]を選ぶ

- 前回の測定値を使いたいときは、[前回の設定]を選びます。



4 測定窓に、用意した白またはグレーの被写体を収め、**OK**ボタンを押して測定する

- シャッターがきかれて、新規設定が終了します（画像は記録されません）。



測定窓

✓ プリセットマニュアルについてのご注意

フラッシュ発光時のホワイトバランス値は測定できません。フラッシュ撮影時は、[ホワイトバランス]を[オート(標準)]、[オート(電球色を残す)]または[フラッシュ]に設定してください。



測光方式

撮影モードダイヤルを**P、S、A、M、U**に合わせる → MENUボタン →
P、S、A、M、Uメニューアイコン → 測光方式 → OKボタン

露出を合わせるため、被写体の明るさを測ることを「測光」といいます。
カメラが測光する方式を設定します。

項目	内容
 マルチパターン (初期設定)	画面の広い領域を測光します。 通常の撮影では、マルチパターン測光をおすすめします。
 中央部重点	画面に表示される中央部重点測光範囲に重点を置いて測光します。ポートレート撮影など、重点的に画面中央部に露出を合わせたいときなどに使います。*
 スポット	画面中央部に表示されているスポット測光範囲で測光します。被写体と背景の明るさが著しく異なるときなどに使います。被写体がスポット測光範囲に入るように撮影してください。*

※ ピントと露出を合わせたい被写体が画面中央部にはないときは、**[AFエリア選択]** をマニュアルにしてAFエリアを画面中央にし、フォーカスロック (□66) をお使いください。

測光方式についてのご注意

- 電子ズーム作動中は、拡大倍率によって**[中央部重点]** または**[スポット]** になります。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (□75)。

撮影画面の表示について

[中央部重点] または**[スポット]** に設定すると、測光範囲のガイド (□11) が表示されます (電子ズーム使用時を除く)。



連写

撮影モードダイヤルを**P、S、A、M、U**に合わせる → MENUボタン →
P、S、A、M、Uメニューアイコン → 連写 →  ボタン

項目	内容
 単写 (初期設定)	1コマずつ撮影します。
 連写 H	シャッターボタンを全押ししている間、連写します。 • 約 7 コマ / 秒の速度で約 7 コマ連写できます。
 連写 L	シャッターボタンを全押ししている間、連写します。 • 約 1 コマ / 秒の速度で約 200 コマ連写できます。
 先取り撮影	シャッターボタンを半押しすると先取り撮影を開始します。シャッターチャンスで全押しすると、その直前の画像もさかのぼって記録します ( 134)。シャッターチャンスを逃しにくくなります。 • 約 15 コマ / 秒の速度で 20 コマ (先取り撮影の最大 5 コマを含む) 連写できます。 • 画質は [NORMAL] 、画像サイズは  (1280×960 ピクセル) に固定されます。
 120 高速連写 120 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、高速で連写します。 • 約 120 コマ / 秒の速度で 60 コマ連写できます。 • 画像サイズは  (640×480 ピクセル) に固定されます。
 60 高速連写 60 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、高速で連写します。 • 約 60 コマ / 秒の速度で 60 コマ連写できます。 • 画像サイズは  (1920×1080 ピクセル) に固定されます。
 インターバル撮影	あらかじめ設定した撮影間隔 (インターバル) で、静止画を自動的に連続撮影します ( 135)。

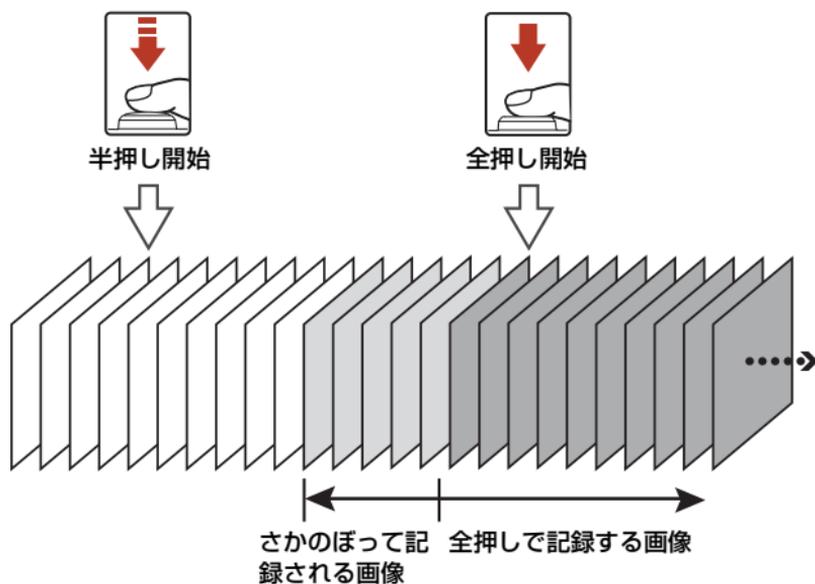


✓ 連写についてのご注意

- ピントと露出は、最初の1コマと同じ条件に固定されます。[連写L] / [インターバル撮影] 以外の連写設定では、ホワイトバランスも最初の1コマと同じ条件に固定されます。
- 撮影後の画像の記録に時間がかかることがあります。
- ISO感度が上がって、撮影した画像がざらつくことがあります。
- 画質や画像サイズ、メモリーカードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなる場合があります（RAW記録時など）。
- [高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps] の場合、蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で明滅する照明下では、画像に横帯が発生したり、画像の明るさや色合いがばらついたりすることがあります。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（☐75）。

📄 先取り撮影について

シャッターボタンの半押し/全押しと記録する画像の関係は以下のとおりです。



- シャッターボタンの半押し中は、撮影画面の先取り撮影アイコン（📄）が緑色に変わります。



インターバル撮影を使った撮影方法

撮影モードダイヤルを**P、S、A、M、U**に合わせる → MENUボタン →
P、S、A、M、Uメニューアイコン → 連写 → OKボタン

- 1 マルチセレクターの▲▼で📷 [インターバル撮影] を選び、OKボタンを押す



- 2 撮影間隔を設定する

- ◀▶で項目を選び、▲▼で時間を設定します。
- 設定が終了したらOKボタンを押します。



- 3 MENU（メニュー）ボタンを押し、撮影画面にする

- 4 シャッターボタンを押し、1コマ目を撮影する

- 2コマ目以降は、撮影間隔の設定に従って自動でシャッターがきれます。
- 撮影の合間は画面が消灯し、電源ランプが点滅します。



- 5 必要な画像を撮影し終わったら、シャッターボタンを押す

- 撮影が終了します。
- 以下の場合、撮影は自動終了します。
 - メモリーカードの残量がなくなったとき
 - 連続撮影が9999コマに達したとき



インターバル撮影についてのご注意

- 途中で電源が切れないように、十分に残量のある電池をお使いください。
- 別売のACアダプター EH-5b/EH-5cとパワーコネクタ EP-5C (□□206) を使うと、家庭用コンセントから電源を供給できます。EH-5b/EH-5c以外のACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。
- インターバル撮影中は、撮影モードダイヤルを回さないでください。撮影が終了します。
- 設定した撮影間隔に対して、シャッタースピードが遅く、1コマの記録にも時間がかかる場合は、途中の撮影がキャンセルされることがあります。



ISO感度設定

撮影モードダイヤルを**P、S、A、M、U**に合わせる※¹ → MENUボタン → **P、S、A、M、U**メニューアイコン※² → ISO感度設定 → OKボタン

※¹  (マニュアル動画) モード時も設定できます。

※²  (マニュアル動画) モード時は、メニューアイコンが表示されます。

ISO感度を高くすると、より暗い被写体を撮影できます。また、同じ明るさの被写体でも、より速いシャッタースピードで撮影でき、手ブレや被写体の動きによるブレを軽減しやすくなります。

・ ISO感度を高くすると、撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

項目	内容
ISO感度設定	<ul style="list-style-type: none">・ [オート] (初期設定) : ISO 100 ~ 1600 の範囲で自動設定します。マニュアル動画モードでは、ISO 125 ~ 1600 の範囲で自動設定します。・ [感度制限オート] : 自動設定範囲を  [ISO 100-400]、 [ISO 100-800] から選べます。マニュアル動画モードでは、 [ISO 125-400]、 [ISO 125-800] から選べます。・ [100] ~ [6400] (マニュアル動画モードでは [125] ~ [6400]) : ISO 感度を選んだ値に固定します。
低速限界設定	<p>撮影モードがPまたはAのときに、ISO感度の自動制御が働き始めるシャッタースピードを設定します。ここで設定したシャッタースピードでは露出不足となる場合、適正露出を得るためにISO感度を自動的に高くします。</p> <ul style="list-style-type: none">・ [ISO 感度設定] が [オート]、[感度制限オート] のときに有効です。・ ISO 感度が上がっても露出不足となる場合は、シャッタースピードが遅くなります。・ 初期設定: [しない]

ISO感度設定についてのご注意

- ・ **M** (マニュアル露出) モードのときに [オート]、または [感度制限オート] に設定すると、ISO感度はISO 100に固定されます。
- ・ マニュアル動画モードで [露出モード] が [マニュアル露出] のときに [オート]、または [感度制限オート] に設定すると、ISO感度はISO 125に固定されます。
- ・ この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (Q75)。



撮影画面のISO感度表示について

- [オート] 時は、感度が上がったときに **ISO** マークが表示されます。
- [感度制限オート] 時は、感度の上限値が表示されます。



AEブラケットイング

撮影モードダイヤルを**P**、**S**、**A**に合わせる → MENUボタン → **P**、**S**、**A**メニューアイコン → AEブラケットイング → ボタン

露出（明るさ）を自動的に変えながら連続撮影できます。画像の明るさの調節が難しい場合の撮影に効果的です。

項目	内容
しない（初期設定）	AEブラケットイングを行いません。
±0.3	シャッターボタンを全押しすると、0、-0.3、+0.3の順で自動的に露出を変えながら、3コマを連続撮影します。
±0.7	シャッターボタンを全押しすると、0、-0.7、+0.7の順で自動的に露出を変えながら、3コマを連続撮影します。
±1.0	シャッターボタンを全押しすると、0、-1.0、+1.0の順で自動的に露出を変えながら、3コマを連続撮影します。

AEブラケットイングについてのご注意

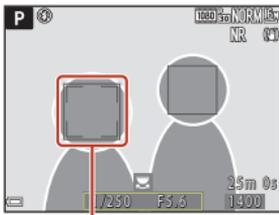
- **M**（マニュアル露出）モードの場合、**[AEブラケットイング]** は使えません。
- 露出補正（69）と **[AEブラケットイング]** の **[±0.3]**、**[±0.7]**、**[±1.0]** のいずれかを同時に設定すると、補正量を加算します。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（75）。



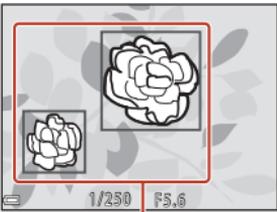
AFエリア選択

撮影モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**に合わせる → MENUボタン → **P**、**S**、**A**、**M**、**U**メニューアイコン → AFエリア選択 → OKボタン

オートフォーカスでピント合わせをするエリアの決め方を変更します。

項目	内容
<p> 顔認識オート</p>	<p>カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について → 64）。</p> <p>人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、9つあるAFエリアのうち最も手前の被写体をとらえているエリアでピントが合います。</p> <div data-bbox="668 327 947 582">  <p>The diagram shows a camera viewfinder with a 'P' mode indicator. Two human figures are shown. A red square highlights the AF area on the left figure's face. A red line points from the text 'AFエリア' below to this square. The viewfinder also shows technical data: '1/250 F5.6 1/300' and '25m 0s'.</p> </div>



項目	内容
④ ターゲット追尾	<p>動く被写体の撮影に使用します。 ピントを合わせたい被写体を登録すると、AFエリアが被写体を追いかけて移動します。→「ターゲット追尾の使い方」(□142)</p> 
[] ターゲットファインド AF (初期設定)	<p>カメラが主要な被写体を検出すると、その被写体にピントが合います。→「ターゲットファインドAFについて」(□63)</p>  <p style="text-align: center;">AF エリア</p>

✓ AFエリア選択についてのご注意

- 電子ズーム使用時は、[AF エリア選択] の設定にかかわらず、画面中央でピント合わせを行います。
- フォーカスモードセクターがMF (マニュアルフォーカス) のときは、[AF エリア選択] を設定できません。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (□75)。

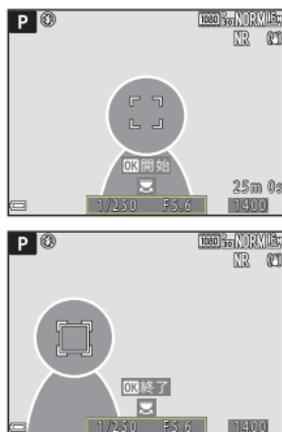


ターゲット追尾の使い方

撮影モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**に合わせる → MENUボタン → **P**、**S**、**A**、**M**、**U**メニューアイコン → AFエリア選択 → OKボタン →  ターゲット追尾 → OKボタン → MENUボタン

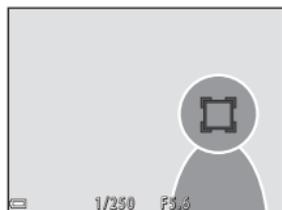
1 被写体を登録する

- 追尾したい被写体を画面中央の枠に合わせ、OKボタンを押します。
- 被写体が登録されると、黄色いAFエリア表示で囲まれ、ターゲット追尾が始まります。
- 登録できなかったときは、枠が赤色に表示されます。構図を変えて登録をやり直してください。
- 登録を解除したいときは、OKボタンを押します。
- カメラがターゲットを見失うと、AF エリア表示が消えます。登録をやり直してください。



2 シャッターボタンを全押しして撮影する

- AF エリアが表示されていない状態でシャッターボタンを押すと、画面中央のエリアにピントが合います。



✓ ターゲット追尾についてのご注意

- ターゲットの追尾中にズーム操作などを行うと、登録が解除されます。
- 撮影条件によっては、適切にターゲット追尾できないことがあります。



AFモード

撮影モードダイヤルを**P、S、A、M、U**に合わせる → MENUボタン →
P、S、A、M、Uメニューアイコン → AFモード → ボタン

静止画撮影時のピントの合わせ方を設定します。

項目	内容
AF-S シングルAF	シャッターボタンを半押ししたときのみピントを合わせます。
AF-F 常時AF (初期設定)	シャッターボタンを半押ししなくても、常にピントを合わせます。常に動作音がします。

AFモードについてのご注意

- フォーカスモードセクターが**MF** (マニュアルフォーカス) のときは、**[AFモード]**を設定できません。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (□75)。

動画のAFモードについて

動画撮影時のAFモードは、動画メニューの **[AFモード]** (□153) で設定します。

調光補正

撮影モードダイヤルを**P、S、A、M、U**に合わせる → MENUボタン →
P、S、A、M、Uメニューアイコン → 調光補正 → ボタン

フラッシュの発光量を補正します。

フラッシュが明るすぎるときや暗すぎるときなどに使います。

- 設定画面に設定したい補正值が表示されていないときは、表示されるまでマルチセクターの▲▼を押してください。

項目	内容
+0.3~+2.0	0.3~2.0 EVまで、1/3段ごとにフラッシュの発光量が多くなります。構図の中心となる被写体をより明るく照らすように発光量を多くします。
0.0 (初期設定)	調光補正を行いません。
-0.3~-2.0	-0.3~-2.0 EVまで、1/3段ごとにフラッシュの発光量が少なくなります。被写体に光が強くなりすぎないように発光量を少なくします。



ノイズ低減フィルター

撮影モードダイヤルを**P、S、A、M、U**に合わせる → MENU ボタン →
P、S、A、M、Uメニューアイコン → ノイズ低減フィルター →  ボタン

画像の記録時に通常行うノイズ低減機能の強さを設定します。

項目	内容
NR ⁺ 強め	ノイズ低減を標準よりも強めに行います。
NR 標準 (初期設定)	ノイズ低減を標準の強さで行います。
NR ⁻ 弱め	ノイズ低減を標準よりも弱めに行います。

アクティブD-ライティング

撮影モードダイヤルを**P、S、A、M、U**に合わせる → MENU ボタン →
P、S、A、M、Uメニューアイコン → アクティブD-ライティング →  ボタン

ハイライトの白とびを抑え、暗部の黒つぶれを軽減し、見た目のコントラストに近い仕上がりになります。暗い室内から外の風景を撮ったり、直射日光の強い海辺など明暗差の激しい景色を撮影するときに効果的です。

項目	内容
暗H 強め	効果の度合いを設定します。
暗N 標準	
暗L 弱め	
OFF しない (初期設定)	アクティブD-ライティング処理をしません。

アクティブD-ライティングについてのご注意

- ・撮影後の画像の記録に時間がかかります。
- ・この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (□75)。

【アクティブD-ライティング】と【D-ライティング】の違い

- ・【アクティブD-ライティング】は、白とびを抑えるように撮影し、記録時に階調を調節します。
- ・再生メニューの【D-ライティング】(□84)は、記録した画像の階調を調節します。



多重露出

撮影モードダイヤルを**P、S、A、M、U**に合わせる → MENU ボタン →
P、S、A、M、Uメニューアイコン → 多重露出 → **OK** ボタン

2～3コマの画像を重ねて、1枚の画像として記録します。

項目	内容
多重露出モード	[する] に設定すると、多重露出で撮影します。 <ul style="list-style-type: none">• 重ねない画像も記録します。• 初期設定：[しない]
自動ゲイン補正	重ねるときに、画像の明るさを自動調節するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none">• 初期設定：[する]

✓ 多重露出についてのご注意

- 画像の合成に時間がかかることがあります。
- 撮影中にオートパワーオフ (□176) による待機状態になると、撮影が終了します。撮影間隔の長い撮影では、オートパワーオフの時間を長めに設定することをおすすめします。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (□75)。
- 多重露出時にシャッタースピードが遅い場合、記録した画像にノイズ (白い点) が目立つことがあります。

多重露出を使った撮影方法

撮影モードダイヤルを**P、S、A、M、U**に合わせる → MENU ボタン →
P、S、A、M、Uメニューアイコン → 多重露出 → **OK** ボタン

- 1 マルチセレクターの▲▼で[**多重露出モード**]を選び、**OK** ボタンを押す



2 [する] を選び、**OK** ボタンを押す



3 MENU (メニュー) ボタンを押し、撮影画面にする

4 シャッターボタンを押し、1コマ目を撮影する



5 シャッターボタンを押し、2コマ目を撮影する

- 半透明で表示される 1 コマ目の画像を見ながら、構図を決めてください。
- 2コマ目を撮影すると、1コマ目と2コマ目を重ねた画像が記録され、半透明で表示されます。
- 2コマで多重露出を終了するには、**[多重露出モード]** を **[しない]** に設定するか、撮影モードダイヤルを **P**、**S**、**A**、**M**、**U** 以外に切り換えます。



6 シャッターボタンを押し、3コマ目を撮影する

- 3コマを重ねた画像が記録され、多重露出が終了します。
- 3コマ目を撮影できるまで、時間がかかることがあります。



ズームメモリー

撮影モードダイヤルを**P、S、A、M、U**に合わせる → MENU ボタン →
P、S、A、M、Uメニューアイコン → ズームメモリー →  ボタン

項目	内容
する	<p>ズームレバーを動かすと、この設定でチェックボックスをオンにしたズーム位置（35mm判換算の焦点距離/撮影画角）に切り換わります。</p> <ul style="list-style-type: none">マルチセレクターの ▲▼ で焦点距離を選び、 ボタンを押してチェックボックスのオン <input checked="" type="checkbox"/> / オフを設定します。 [24 mm]、[28 mm]、[35 mm]、[50 mm]、[70 mm]、[85 mm]、[105 mm]、[135 mm]、[200 mm]、[300 mm]、[400 mm]、[500 mm]、[600 mm]、[800 mm]、[1000 mm]、[1200 mm]、[1400 mm]、[1600 mm]、[1800 mm]、[2000 mm]、[2200 mm]、[2400 mm]、[2600 mm]、[2800 mm]、[3000 mm] を設定できます。初期設定：すべてのチェックボックスがオン <input checked="" type="checkbox"/>設定を終了するには、マルチセレクターの ▶ を押します。[起動ポジション設定] で設定された焦点距離は自動的にオン <input checked="" type="checkbox"/> になります。サイドズームレバーでは、ズームメモリー機能は使えません。
しない（初期設定）	[する] で設定できるズーム位置以外にもズームを移動します。

ズーム操作についてのご注意

- 複数の焦点距離を設定した場合、ズームレバーを動かすと、操作前と一番近い焦点距離に切り換わります。他の焦点距離に切り換えるには、いったんズームレバーをはなしてください。
- 電子ズームを使うときは、[ズームメモリー] を [しない] に設定してください。



起動ポジション設定

撮影モードダイヤルを**P、S、A、M、U**に合わせる → MENU ボタン →
P、S、A、M、Uメニューアイコン → 起動ポジション設定 → OK ボタン

電源をONにしたときのズーム位置（35mm判換算の焦点距離/撮影画角）を設定します。

[24 mm]（初期設定）、[28 mm]、[35 mm]、[50 mm]、[70 mm]、[85 mm]、
[105 mm] または [135 mm] に設定できます。

Mモード露出反映表示

撮影モードダイヤルを**P、S、A、M、U**に合わせる → MENU ボタン →
P、S、A、M、Uメニューアイコン → Mモード露出反映表示 → OK ボタン

M（マニュアル露出）モードで露出を変えたときに、撮影画面にも明るさを反映するかどうかを設定します。

項目	内容
する	撮影画面に明るさを反映します。
しない（初期設定）	撮影画面に明るさを反映しません。



マニュアル動画メニュー

以下のページをご覧ください。

- [露出モード] (1194)
- [Picture Control] (1124)
- [CSM Picture Control] (1128)
- [ホワイトバランス] (1129)
- [ISO感度設定] (1137)



動画メニュー

動画設定

撮影画面にする → MENU ボタン → 設定メニューアイコン → 動画設定
→ OK ボタン

撮影する動画の種類を選びます。通常速度の動画と、再生するとスローモーションや早送りになるHS（ハイスピード）動画（□□151）があります。選べる項目は、[フレームレート設定]によって異なります（□□155）。

- 動画撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のメモリーカードをおすすめします（□□220）。

通常速度の動画

項目（画像サイズ/フレームレート、記録方式）	画像サイズ	アスペクト比（横：縦）
 2160/30p (4K UHD)	3840×2160	16:9
 2160/25p (4K UHD)		
 1080/30p	1920×1080	16:9
 1080/25p (初期設定)		
 1080/60p	1920×1080	16:9
 1080/50p		
 720/30p	1280×720	16:9
 720/25p		
 720/60p	1280×720	16:9
 720/50p		

- 動画のサイズ/フレームレートが [2160/30p] (4K UHD) 時は約6分以上、[2160/25p] (4K UHD) 時は約7分以上撮影すると、複数の動画ファイル（1ファイルにつき最大4GB）で記録され、連続再生できません。
実際に記録可能な時間は、画像の絵柄や動き、メモリーカードの種類によって異なることがあります。



HS動画

撮影した動画を再生すると、スローモーションや早送りになります。

→「スローモーション再生と早送り再生について」(□152)

項目	画像サイズ アスペクト比 (横:縦)	内容
120fps 100fps HS 480/4 倍	640×480 4:3	1/4 の速度のスローモーション動画です。 • 最長撮影時間: 7 分 15 秒 (再生時間: 29 分)
60fps 50fps HS 720/2 倍	1280×720 16:9	1/2 の速度のスローモーション動画です。 • 最長撮影時間: 14 分 30 秒 (再生時間: 29 分)
15fps 12.5fps HS 1080/0.5 倍	1920×1080 16:9	2倍の速度の早送り動画です。 • 最長撮影時間: 29 分 (再生時間: 14 分 30 秒)

HS動画についてのご注意

- 音声は記録されません。
- 動画撮影中の静止画記録はできません。
- 動画撮影の一時停止はできません。
- ズーム位置、ピント、露出、ホワイトバランスは、撮影開始時に固定されます。



スローモーション再生と早送り再生について

通常速度で撮影した場合：

撮影時間  10秒

再生時間  10秒

120fps [HS 480/4倍] または100fps [HS 480/4倍] で撮影した場合：

通常速度の4倍のハイスピードで撮影します。

再生時は、4倍の時間をかけてスローモーションで再生します。

撮影時間  10秒

再生時間  40秒

スローモーション再生

15fps [HS 1080/0.5倍] または125fps [HS 1080/0.5倍] で撮影した場合：

通常速度の1/2のスピードで撮影します。

再生時は、2倍の速さで早送り再生します。

撮影時間  10秒

再生時間  5秒

早送り再生



AFモード

撮影画面にする → MENU ボタン → 設定メニューアイコン → AFモード
→  ボタン

動画撮影時のピントの合わせ方を設定します。

項目	内容
AF-S シングルAF (初期設定)	動画撮影開始時にピントを固定します。 撮影中に被写体との距離があまり変化しない撮影に適しています。
AF-F 常時AF	動画撮影中、ピント合わせを繰り返します。 撮影中に被写体との距離が変化する撮影に適しています。ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、[シングルAF]での撮影をおすすめします。

AFモードについてのご注意

- スーパーラプス動画のときは、[シングルAF]に固定されます。
- [動画設定]をHS動画に設定したときは、[シングルAF]に固定されます。
- フォーカスモードセクターがMF（マニュアルフォーカス）のときは、[AFモード]を設定できません。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（75）。



電子手ブレ補正

撮影画面にする → MENU ボタン → 設定メニューアイコン → 電子手ブレ補正 → ON ボタン

動画撮影時に、電子式の手ブレ補正をするかどうかを設定します。

項目	内容
する (初期設定)	電子手ブレ補正を行います。 <ul style="list-style-type: none">画角（写る範囲）は狭くなります。セットアップメニューの [手ブレ補正] (📖171) を [NORMAL]、[ACTIVE]、[NORMAL (構図優先)] または [ACTIVE (構図優先)] に設定している場合は、光学式手ブレ補正も同時に行われます。
しない	電子手ブレ補正を行いません。

✔ 電子手ブレ補正についてのご注意

- スーパーラプス動画のときは、[する] に固定されます。
- [動画設定] を [2160/30p]、[2160/25p]、またはHS動画に設定したときは、[しない] に固定されます。

風切り音低減

撮影画面にする → MENU ボタン → 設定メニューアイコン → 風切り音低減 → ON ボタン

項目	内容
する	動画撮影時にマイクに吹き付ける風の音を抑えて記録します。再生時に風切り音以外の音が聞こえにくくなります。
しない (初期設定)	風切り音を低減しません。

✔ 風切り音低減についてのご注意

スーパーラプス動画、または [動画設定] をHS動画に設定したときは、[しない] に固定されます。



ズームマイク

撮影画面にする → MENU ボタン → 設定メニューアイコン → ズームマイク →  ボタン

項目	内容
する (初期設定)	画角（写る範囲）に応じて、広角側では広い範囲、望遠側では狭い範囲の音を録音します。
しない	ズームマイクを無効にします。

ズームマイクについてのご注意

以下の場合、[しない] に固定されます。

- ・ スーパーラプス動画のとき
- ・ [動画設定] をHS動画に設定したとき
- ・ 外部マイク接続時

フレームレート設定

撮影画面にする → MENU ボタン → 設定メニューアイコン → フレームレート設定 →  ボタン

動画撮影時のフレームレートを選びます。フレームレートの設定を切り換えると、[動画設定] (150) で選べる項目が変わります。

項目	内容
30 fps (30p/60p)	NTSC方式のテレビで再生するのに適しています。
25 fps (25p/50p)	PAL方式のテレビで再生するのに適しています。



外付けマイク感度

撮影画面にする → MENU ボタン → 設定メニューアイコン → 外付けマイク感度 → OK ボタン

カメラの外部マイク端子に接続したマイクの感度を設定します。
外部マイク接続時のみ設定できます。

項目	内容
🎤 A マイク感度 オート (初期設定)	外部マイクの感度を自動で設定します。
🎤 M マイク感度 マニュアル	外部マイクの感度を手動で設定します。

マイク感度マニュアル画面の操作方法

- 外部マイクからの入力状態がインジケータで表示されます。
- マルチセレクターで数値を調節し、OK ボタンを押して感度の設定を終了します。



インジケータ



再生メニュー

画像編集機能については、「画像の編集（静止画）」（[Q83](#)）をご覧ください。

送信画像の指定

▶ ボタンを押す(再生モード) → MENU ボタン → 送信画像の指定 → Ⓜ ボタン

カメラ内の静止画を選んで、SnapBridgeアプリで無線接続したスマートフォンに送信します。

画像選択の画面（[Q115](#)）で、画像を選んで送信画像の指定または解除をします。

- 取り込む画像サイズは2Mサイズに制限されます。オリジナルサイズで静止画を取り込むには、SnapBridgeアプリの「**画像取り込み**」をお使いください。
- RAW 画像および動画は指定できません。動画をスマートフォンに取り込むには、SnapBridgeアプリの「**画像取り込み**」をお使いください。
- セットアップメニューの「**設定クリアー**」（[Q184](#)）または通信メニューの「**設定の初期化**」（[Q162](#)）を実行すると、送信画像の指定は解除されますので、ご注意ください。



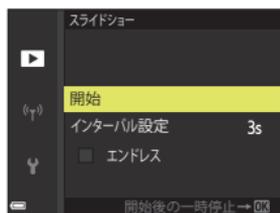
スライドショー

▶ ボタンを押す(再生モード) → MENUボタン → スライドショー → OKボタン

画像を1コマずつ順番に自動再生します。動画は1フレーム目だけを表示します。

1 マルチセクターの ▲▼ で [開始] を選び、OKボタンを押す

- スライドショーが始まります。
- [開始] を選ぶ前に [インターバル設定] を選びOKボタンを押すと、画像の表示時間を変更できます。
- 繰り返し再生するには、[開始] を選ぶ前に [エンドレス] を選んでOKボタンを押します。
- スライドショーの連続再生時間は、[エンドレス] に設定している場合も含め、最大約30分です。



2 終了または再開する

- 再生終了後や一時停止中は、右の画面になります。終了するには、▶ を選びOKボタンを押します。再開するには、▶ を選びOKボタンを押します。



再生中の操作

- マルチセクターの ▲▼◀▶ でコマ送りします。押し続けると早送りします。
- 一時停止または途中で終了したいときは、OKボタンを押します。



プロテクト設定

▶ ボタンを押す(再生モード) → MENUボタン → プロテクト設定 → OKボタン

大切な画像を誤って削除しないように保護します。
画像選択の画面(□□115)で、画像を選んでプロテクトの設定または解除をします。
メモリーカードを初期化(フォーマット、□□176)すると、プロテクト設定した画像も削除されますので、ご注意ください。

画像回転

▶ ボタンを押す(再生モード) → MENUボタン → 画像回転 → OKボタン

撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き(縦横位置)を設定します。静止画を時計方向に90度、または反時計方向に90度回転できます。
撮影時に縦位置で記録された画像は、時計回り/反時計回りのどちらか一方に180度まで回転できます。
画像選択の画面(□□115)で回転する画像を選ぶと、画像回転の画面が表示されます。マルチセレクターの◀▶または回転で、90度回転します。



OKボタンを押すと、表示している方向で決定し、画像に縦横位置情報が記録されます。



連写グループ表示方法

▶ ボタンを押す (再生モード) → MENU ボタン → 連写グループ表示方法 → Ⓜ ボタン

連写グループ (□82) の再生時の表示方法を設定します。

項目	内容
1枚ずつ	連写した画像を、常に1コマずつ表示します。再生画面で Ⓜ が表示されます。
代表画像のみ (初期設定)	連写した画像を代表画像で表示します。

設定内容は、すべての連写グループに反映され、電源をOFFにしても記憶されます。

連写の代表画像選択

▶ ボタンを押す (再生モード) → 代表画像を変更したい連写グループを表示する → MENU ボタン → 連写の代表画像選択 → Ⓜ ボタン

連写グループの代表画像をグループ内の他の画像に変更します。

- 代表画像の選択画面が表示されたら、画像を選びます (□115)。



通信メニュー

MENU ボタンを押す →  メニューアイコン →  ボタン

カメラとスマートフォン、またはリモコン ML-L7 (別売) を接続するため無線ネットワーク情報を設定します。

- カメラと SnapBridge アプリをインストールしたスマートフォンを無線接続すると、カメラで撮影した画像をスマートフォンに送信することや、リモート撮影などができます。接続方法は、付属の「SnapBridge接続ガイド」をご覧ください。
- 無線接続中は設定を変更できない項目があります。変更するときは、無線接続を一時停止してください。

項目	内容
機内モード	[する] にすると、すべての無線通信をOFFにします。
接続先切替	カメラをスマートフォンと接続するか、リモコン ML-L7 (別売) と接続するかを選びます。
スマートフォンと接続	SnapBridgeアプリを使用して、カメラとスマートフォンを接続するときを選びます。詳しくは、付属の「SnapBridge接続ガイド」をご覧ください。 <ul style="list-style-type: none">あらかじめ [接続先切替] を [スマートフォン] に設定してください。
リモコンとの接続	カメラとリモコン ML-L7 (別売) を接続するときを選びます。カメラはリモコンとの接続待機状態になります (□□213)。 <ul style="list-style-type: none">あらかじめ [接続先切替] を [リモコン] に設定してください。
撮影時画像送信	画像をスマートフォンへ自動送信する条件を設定します。 <ul style="list-style-type: none">取り込む画像サイズは 2M サイズに制限されます。オリジナルサイズで静止画を取り込むには、SnapBridgeアプリの [画像取り込み] をお使いください。



項目	内容	
Wi-Fi	接続設定	SSID※:SSIDを変更できます。英数字の1~32桁で設定します。
		認証/暗号:スマートフォンと接続するときに、通信信号を暗号化するかどうかを設定します。 [OPEN] のときは、暗号化しません。
		パスワード※:パスワードを設定します。英数字の8~36桁で設定します。
		チャンネル:Wi-Fi接続で使用するチャンネルを設定します。 Wi-Fi接続時に通信状態が悪いときや、画像送信速度が極端に遅いときは、チャンネルを変えると改善することがあります。
		サブネットマスク:通常は初期設定([255.255.255.0])のままお使いください。
	DHCPサーバーIPアドレス:通常は初期設定([192.168.0.10])のままお使いください。	
現在の設定	現在の設定を一覧表示します。	
Bluetooth	通信機能	[無効] にすると、Bluetoothの通信をOFFにします。
	ペアリング済み機器	接続するスマートフォンの切り換えや、接続済みスマートフォンの削除をします。このカメラは接続するスマートフォンを最大5台登録できます。ただし一度に接続できるのは1台のみです。
	電源オフ中の通信	カメラが電源OFFのときや待機状態(□□24)のときに、スマートフォンと通信するかどうかを設定します。
設定の初期化	通信メニューのすべての設定を初期化します。	

※ 英数字の入力方法は「文字入力画面の操作方法」(□□163)をご覧ください。

撮影画面のBluetooth通信表示について

- 点灯:スマートフォンとBluetoothで接続中です。
- 点滅:スマートフォンとの再接続の待機中です。画像送信中にBluetooth通信が切断されたときも点滅します(□□203)。



文字入力画面の操作方法

- マルチセクターの▲▼◀▶でキーボードの英数字を選択します。OKボタンを押すと、選択した英数字が文字列に追加されカーソルが次の桁に移動します。
- 文字列のカーソル位置を移動するには、キーボードの←または→を選んでOKボタンを押します。
- 1文字削除するには、🗑️ボタンを押します。
- 設定を確定するには、キーボードの↵を選んでOKボタンを押します。



セットアップメニュー

地域と日時

MENU ボタンを押す → ツメニューアイコン → 地域と日時 → OK ボタン

内蔵時計の日時を設定します。

項目	内容
スマートフォンと同期	[する] を選ぶと、日時設定をスマートフォンと同期します。SnapBridgeアプリの日時同期機能を有効にしてください。
日時の設定	[スマートフォンと同期] を [しない] にした場合に日時を設定します。 <ul style="list-style-type: none">項目を選ぶ：マルチセクターの◀▶を押します。日時を合わせる：▲▼を押します。マルチセクターまたはコマンドダイヤルを回しても変更できます。設定を完了する：[分] を選び、OK ボタンまたは▶を押します。 
日付の表示順	[年/月/日]、[月/日/年]、[日/月/年] から選びます。
タイムゾーン	タイムゾーン (地域) や夏時間 (サマータイム) を設定します。 <ul style="list-style-type: none">自宅 (🏠) を設定してから、訪問先 (👤) のタイムゾーンを設定すると、時差を自動計算し、撮影日時を訪問先の時間で記録できます。



タイムゾーンの設定方法

- 1 マルチセクターの ▲▼ で [タイムゾーン] を選び、**OK** ボタンを押す



- 2 **🏠** [自宅] または **👤** [訪問先] を選び、**OK** ボタンを押す

- 自宅か訪問先の日時に切り換わります。

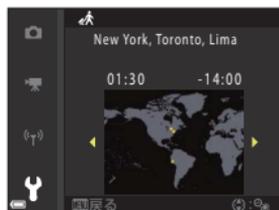


- 3 **▶** を押す



- 4 **◀▶** でタイムゾーンを選ぶ

- ▲を押すと夏時間 (サマータイム) になり、🌞が表示されます。解除するには、▼を押します。
- **OK** ボタンを押して、タイムゾーンを決定します。
- 自宅または訪問先のタイムゾーンの設定では、正しい時刻が表示されないときは、[日時の設定] で合わせてください。



カードなし時レリーズ

MENU ボタンを押す →  メニューアイコン → カードなし時レリーズ →  ボタン

カメラにメモリーカードを入れなくてもシャッターがきれる設定にできます。

項目	内容
レリーズ禁止 (初期設定)	メモリーカードを入れないと、シャッターはきれません。
レリーズ許可	メモリーカードを入れていないときでも、シャッターがきれます。ただし、メモリーカードが入っていないときに撮影した画像は、画面に表示されますが、画像上に [デモモード] と表示され、プリントやメモリーカードへの保存はできません。また、スマートフォンへの転送もできません。



モニター設定

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → モニター設定 → OK ボタン

項目	内容
撮影後の画像表示	撮影直後に、撮影した画像を表示するかどうかを設定します。 • 初期設定：[する]
モニターの調整	画像モニターの明るさと色合いを調節します。 • マルチセレクターの ▲▼ で明るさを、◀▶ で色合いを調節し、 を押します。 • 初期設定：明るさ [3]、色合い [0] • 電子ビューファインダーの使用中は設定できません。
EVFの調整	電子ビューファインダーの明るさと色合いを調節します。 • マルチセレクターの ▲▼ で明るさを、◀▶ で色合いを調節し、 を押します。 • 初期設定：明るさ [3]、色合い [0] • 画像モニターの使用中は設定できません。
格子線表示※	撮影画面に構図を決めるための格子状のガイドを表示するかどうかを設定します。 • 初期設定：[しない] • マニュアルフォーカス時の画面で中央拡大表示中は、格子線が表示されません。
ヒストグラム表示※	撮影画面に画像の明るさの分布を表すグラフ (□11、69) を表示するかどうかを設定します。 • 初期設定：[しない] • 以下の撮影モードでのみ表示できます。 - P、S、A、M モード ([AF エリア選択] が [顔認識オート]、[マニュアル (スロット)]、[マニュアル (標準)] または [マニュアル (ワイド)] 時) - シーンモード ([かんたんパノラマ] を除く) • 動画撮影中、マニュアルフォーカス時の画面では、ヒストグラムは表示されません。
水準器表示※	撮影画面に水準器を表示するかどうかを設定します (□168)。 • 初期設定：[しない]

※ [する] に設定して DISP (表示切り換え) ボタンを押すと、表示 / 非表示が切り換わります (□8)。



水準器表示について

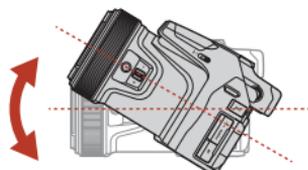
水準器では、2方向の傾きを確認できます。



ローリング方向



横の線が黄色のときは、カメラの左右が水平ではありません。水平になると緑色になります。1目盛は5度を示しています。



ピッチング方向



中央の●が黄色のときは、カメラの前後が水平ではありません。水平になると緑色になります。1目盛は10度を示しています。



水準器の精度について

カメラを前または後ろに大きく傾けると、水準器の誤差が大きくなりますのでご注意ください。測定できない状態までカメラを傾けると、水準器の目盛が消灯します。



EVFの自動切り換え（電子ビューファインダーの自動切り換え）

MENU ボタンを押す →  メニューアイコン → EVFの自動切り換え →  ボタン

項目	内容
する (初期設定)	電子ビューファインダーに顔を近づけると、アイセンサーが反応し、画像モニターの表示が自動的に電子ビューファインダーの表示に切り換わります。
しない	電子ビューファインダーに顔を近づけても、電子ビューファインダーの表示に切り換えません。

日付写し込み

MENU ボタンを押す →  メニューアイコン → 日付写し込み →  ボタン

撮影時に日付と時刻を画像に写し込んで記録します。



項目	内容
 年・月・日	日付を写し込みます。
 年・月・日・時刻	日付と時刻を写し込みます。
しない (初期設定)	日付、時刻のどちらも写し込みません。



☑ 日付写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日付と時刻を画像から消したり、撮影した後で日付と時刻を写し込むことはできません。
- 以下の場合は日付と時刻を写し込みません。
 - シーンモードが [スポーツ]、[夜景ポートレート] ([手持ち撮影] 時)、[夜景] ([手持ち撮影] 時)、[逆光] ([HDR] を [する] 設定時)、[かんたんパノラマ]、[ペット] ([連写] 設定時)、[比較明合成]、[タイムラプス動画]、[スーパーラプス動画]
 - 鳥モード ([連写] 設定時)
 - [画質] ([121]) が [RAW]、[RAW+FINE] または [RAW+NORMAL]
 - [連写] の設定 ([133]) が [先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps]
 - 動画
 - 動画撮影中に記録した静止画
 - 動画再生中に切り出した静止画
- 画像サイズが小さいと、日付と時刻が読みにくいことがあります。

セルフタイマー解除設定

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → セルフタイマー解除設定 → ボタン

セルフタイマー ([58]) 撮影後に、セルフタイマーの設定を解除するかどうかを選びます。

項目	内容
撮影後に解除する (初期設定)	撮影後、セルフタイマーの設定を解除します。 <ul style="list-style-type: none">• 月モード ([40]) で撮影後のセルフタイマーの設定は [3s] (3秒) になります。• ペット自動シャッター ([38]) の設定は、解除されません。• 笑顔自動シャッター ([60]) の設定は、解除されません。
撮影後に解除しない	設定を解除しないで、セルフタイマー撮影を継続します。 <ul style="list-style-type: none">• 電源を OFF にすると、セルフタイマー撮影は解除されます。



手ブレ補正

MENU ボタンを押す → Y メニューアイコン → 手ブレ補正 → OK ボタン

撮影時の手ブレ補正を設定します。

三脚などでカメラを固定して撮影するときは、[しない] にしてください。

項目	内容
 NORMAL (初期設定)	静止している被写体の撮影などに適しています。
 ACTIVE	比較的大きなブレが起こりやすい、車上での撮影や足場の悪い状況での撮影などに適しています。
 NORMAL (構図優先)	[NORMAL] に比べ、撮影時に決めた構図と撮影した画像とのズレを抑えることができます。
 ACTIVE (構図優先)	[ACTIVE] に比べ、撮影時に決めた構図と撮影した画像とのズレを抑えることができます。
しない	補正をしません。

手ブレ補正についてのご注意

- カメラの電源を ON にした直後、または再生モードから撮影モードに切り換えた直後は、画面の画像が安定してから撮影してください。
- 構図のズレが気にならないシーンでは、[NORMAL] または [ACTIVE] にすることをおすすめします。[NORMAL (構図優先)] または [ACTIVE (構図優先)] に比べて補正効果は高くなります。
- 流し撮りなどカメラの向きを大きく変えるときは、[NORMAL (構図優先)] に設定することをおすすめします。流し撮りでは、カメラが流し撮りの方向を自動的に検出し、手ブレによる揺れのみを補正します。
- 撮影直後に画面の画像がずれて見えることがあります。
- 撮影状況によっては手ブレを完全に補正できないことがあります。



AF補助光

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → AF補助光 → ボタン

項目	内容
オート (初期設定)	暗い場所などでシャッターボタンを押すと、オートフォーカスの補助光が自動的に点灯します。AF補助光が届く距離は、広角側で約5.0 m、望遠側で約7.0 mです。 <ul style="list-style-type: none">AF エリアの位置やシーンモードの種類によっては点灯しない場合があります。
なし	AF補助光は点灯しません。

電子ズーム

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → 電子ズーム → ボタン

項目	内容
する (初期設定)	電子ズームが使えます。
しない	電子ズームは使えません。

電子ズームについてのご注意

- 以下のシーンモードでは、電子ズームを使えません。
 - [おまかせシーン]、[ポートレート]、[夜景ポートレート]、[逆光] ([HDR] 使用時)、[かんたんパノラマ]、[ペット]、[タイムラプス動画]、[スーパーラプス動画]
- 他の撮影モードでも、設定によっては電子ズームは使えません (□78)。



サイドズームレバー設定

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → サイドズームレバー設定 → OK ボタン

撮影時にサイドズームレバーを動かしたときの動作を設定します。

項目	内容
ズームレバー (初期設定)	撮影時にサイドズームレバーで、ズーム操作ができます (□□23)。
MFレバー	フォーカスモードセレクターが MF (マニュアルフォーカス) のときに、サイドズームレバーでピント合わせができます。 <ul style="list-style-type: none">• T 方向に動かすと、遠くの被写体にピントが合います。• W 方向に動かすと、近くの被写体にピントが合います。• フォーカスモードセレクターが AF (オートフォーカス) のときは、サイドズームレバーの操作は無効になります。

クイックバックズーム

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → クイックバックズーム → OK ボタン

(クイックバックズーム) ボタン (□□72) を押したときに、見える範囲を一時的に広げる量を設定します (初期設定: [戻り量 大])。



コントロールリング設定

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → コントロールリング設定 → ボタン

フォーカスモードセレクターが**AF**（オートフォーカス）時の、コントロールリングの機能を選びます。

項目	内容
露出補正（初期設定）	コントロールリングで露出補正（  69）を設定できます。
ISO感度	撮影モードが P、S、A、M 、マニュアル動画（ [動画設定] をHS動画にした場合を除く）時に、コントロールリングでISO感度（  137）を設定できます。 <ul style="list-style-type: none">マルチセレクターまたはコントロールリングを回して設定項目を選び、ボタンまたは を押して決定します。
ホワイトバランス	撮影モードが P、S、A、M 、マニュアル動画時に、コントロールリングでホワイトバランス（  129）を設定できます。 <ul style="list-style-type: none">マルチセレクターまたはコントロールリングを回して設定項目を選び、ボタンまたは を押して決定します。
設定しない	フォーカスモードセレクターが AF （オートフォーカス）時のコントロールリングの操作を無効にします。



AE-L/AF-Lボタン設定

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → AE-L/AF-Lボタン設定 → OKボタン

撮影時に (AE-L/AF-L) ボタンを押したときの動作を設定します。

項目	内容
AE-L/AF-L (初期設定)	ボタンを押している間、ピントと露出の両方を固定します。
AE-L	ボタンを押している間、露出のみを固定します。*1
AE-L (ホールド)	ボタンを1回押すと露出を固定します。もう一度押すと固定を解除します。
AF-L	ボタンを押している間、ピントのみを固定します。*2

*1 動画撮影時は、 ボタンを1回押すと露出を固定します。もう一度押すと固定を解除します。

*2 動画撮影時は、 ボタンを1回押すとピントを固定します。もう一度押すと固定を解除します。

操作音

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → 操作音 → OKボタン

項目	内容
設定音	[あり] (初期設定) にすると、操作時に設定音 (電子音1回)、合焦音 (電子音2回) および警告音 (電子音3回) が鳴ります。 • シーンモードの [ペット] または鳥モードでは鳴りません。
シャッター音	[あり] (初期設定) にすると、シャッターをきったときに電子音が鳴ります。 • 連写時 ([連写 H]、[連写 L] を除く)、AE ブラケットング時や動画撮影時、シーンモードの [かんたんパノラマ]、[ペット] または鳥モードでは鳴りません。



オートパワーオフ

MENU ボタンを押す →  メニューアイコン → オートパワーオフ →  ボタン

カメラが待機状態 (□□24) になるまでの時間を設定します。

[30 秒]、[1 分] (初期設定)、[5 分]、[30 分] から選べます。

オートパワーオフの設定について

以下の場合、待機状態になるまでの時間は固定です。

- メニュー表示中：3分 (オートパワーオフを [30 秒] または [1 分] に設定した場合)
- ACアダプター接続中：30分

カードの初期化 (フォーマット)

MENU ボタンを押す →  メニューアイコン → カードの初期化 →  ボタン

メモリーカードを初期化 (フォーマット) します。

初期化すると、メモリーカード内のデータはすべて削除されます。削除したデータは元に戻せません。必要なデータは初期化する前にパソコンなどに保存してください。

表示された画面で [初期化する] を選び  ボタンを押すと初期化が始まります。

- 初期化中は、電源をOFFにしたり、電池/メモリーカードカバーを開けたりしないでください。
- 無線接続中は選択できないことがあります。

言語/Language

MENU ボタンを押す →  メニューアイコン → 言語/Language →  ボタン

画面に表示する言語を設定します。



HDMI

MENU ボタンを押す → Yメニューアイコン → HDMI → 設定ボタン

カメラのHDMI出力に関する設定をします。

情報表示のないライブビューをHDMI対応機器に出力するかどうかや、出力時の解像度を設定できます。

項目	内容	
HDMIクリーンアウト	[する]	<p>情報表示のないライブビューをHDMI対応機器に出力するときに設定します。市販の外部レコーダーでカメラからの映像を記録するときなどに使います。</p> <ul style="list-style-type: none">カメラの撮影モードは、マニュアル動画モードにしてください。また、フォーカスモードセレクターは MF にしてください。カメラの電源は、HDMI対応機器に接続した後に、カメラの電源スイッチで ON にしてください。マイクから取得した音声も HDMI対応機器に出力されません。外部レコーダーのモニターに情報表示があるときは、カメラの DISP ボタン ([]) を何度か押して、情報表示を消してください。4K UHD 画質では出力できません。HDMI対応機器に接続中は、ピーキング表示、および動画メニューの [動画設定] [フレームレート設定] は使えません。カメラでの静止画撮影はできません。HDMI対応機器に接続中も、カメラの ● (動画撮影) ボタンを押すと動画の撮影を開始し、カメラ内のメモリーカードに動画を記録できます。カメラでの動画撮影中は、電源ランプが点滅します。
	[しない] (初期設定)	撮影画像の鑑賞などに使います。テレビのモニターに被写体を映しながら、カメラで静止画や動画を撮影できます。



項目	内容
HDMI出力	[HDMIクリーンアウト] を [する] にしたときの、画像の解像度を選びます。 • [HDMI クリーンアウト] が [しない] のときは [オート] に固定されます。

- HDMI対応機器に接続中は、カメラの画面は点灯しません。

HDMI出力時の解像度について

[HDMIクリーンアウト] を [しない] にしたときや、[する] で [HDMI 出力] を [オート] (初期設定) にしたときのHDMI出力時の解像度は、出力先の解像度を検出して自動設定されます。



パソコン接続充電

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → パソコン接続充電 → ボタン

項目	内容
AUTO オート (初期設定)	起動済みのパソコンに接続すると (📖103)、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内の電池を充電します。 <ul style="list-style-type: none">充電中は電源ランプがゆっくり点滅します。充電が完了すると、電源ランプが点滅から点灯に変わります。
しない	パソコンに接続しても、カメラ内の電池を充電しません。

パソコンで充電するときのご注意

- パソコンに接続するとカメラの電源がONになり、充電が始まります。カメラの電源をOFFにすると、充電は中止されます。
- 残量がない電池の場合、フル充電までの時間は約8時間30分です。また、画像を転送しながら充電すると、充電に時間がかかります。
- 充電が完了し、パソコンとの通信が無い状態が30分続くと、カメラの電源は自動的にOFFになります。

電源ランプ (充電ランプ) が速く点滅したときは

充電できません。以下の可能性があります。

- 充電可能な温度ではありません。周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。
- USB ケーブルが正しく接続されていないか、電池の異常です。正しく接続し直すか、電池を交換してください。
- パソコンが休止状態 (スリープ状態) で電力を供給していません。パソコンを復帰してください。
- パソコンの仕様または設定がカメラへの電力供給に対応していないため充電できません。



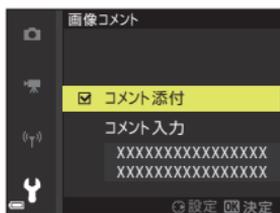
画像コメント

MENU ボタンを押す → ヲメニューアイコン → 画像コメント → OK ボタン

あらかじめ登録したコメントを、撮影する画像に添付できます。

添付されたコメントは、SnapBridgeアプリを使ってスマートフォンに送信する画像に写し込めます。あらかじめSnapBridgeアプリの設定が必要です。詳しくは、SnapBridgeアプリのオンラインヘルプをご覧ください。

項目	内容
コメント添付 (初期設定)	<p>[コメント入力] で登録したコメントを画像に添付します。</p> <ul style="list-style-type: none">• [コメント添付] を選んで ▶ を押し、チェックボックスをオン [✓] にします。OK ボタンを押すと、その後撮影した画像にコメントが添付されます。
コメント入力	<p>36文字までの英数字でコメントを登録できます。</p> <ul style="list-style-type: none">• [コメント入力] を選んで ▶ を押し、入力画面が表示されます。入力方法は、「文字入力画面の操作方法」(□163) をご覧ください。



✓ 画像コメントについてのご注意

動画には画像コメントを添付できません。

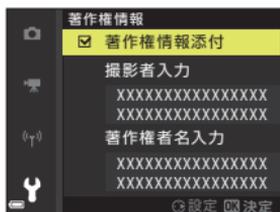


著作権情報

MENU ボタンを押す → ヲメニューアイコン → 著作権情報 → 決定 ボタン

あらかじめ登録した著作権情報を、撮影する画像に添付できます。
添付された著作権情報は、SnapBridgeアプリを使ってスマートフォンに送信する画像に写し込めます。あらかじめSnapBridgeアプリの設定が必要です。詳しくは、SnapBridgeアプリのオンラインヘルプをご覧ください。

項目	内容
著作権情報添付 (初期設定)	<p>[撮影者入力] および [著作権者名入力] で登録した著作権情報を画像に添付します。</p> <ul style="list-style-type: none">[著作権情報添付] を選んで ▶ を押し、チェックボックスをオン [✓] にします。決定 ボタンを押すと、その後撮影した画像に著作権情報が添付されます。
撮影者入力	<p>36文字までの英数字で撮影者名を登録できます。</p> <ul style="list-style-type: none">[撮影者入力] を選んで ▶ を押すと、入力画面が表示されます。入力方法は、「文字入力画面の操作方法」(P163) をご覧ください。
著作権者名入力	<p>54文字までの英数字で著作権者名を登録できます。</p> <ul style="list-style-type: none">[著作権者名入力] を選んで ▶ を押すと、入力画面が表示されます。入力方法は、「文字入力画面の操作方法」(P163) をご覧ください。



✓ 著作権情報についてのご注意

- カメラを貸したり譲渡したりする場合は、撮影者名や著作権者名の違法な使用を防ぐため、[著作権情報添付] の設定を必ず解除してください。また、撮影者名と著作権者名は空欄にしてください。
- [著作権情報] の使用によって生じたトラブルや損害など、当社は一切責任を負いません。
- 動画には著作権情報を添付できません。

📎 著作権情報の表示について

SnapBridgeアプリでは、[撮影者入力] と [著作権者名入力] の両方を入力した場合、著作権者名のみが画像に写し込まれます。



位置情報

MENU ボタンを押す → Yメニューアイコン → 位置情報 → OK ボタン

撮影画像に位置情報を記録するかどうか設定します。

項目	内容
スマートフォンから取得 (初期設定)	[する] を選ぶと、撮影画像にスマートフォンの位置情報が記録されます。SnapBridgeアプリの位置情報機能を有効にしてください。
情報表示	取得した位置情報を表示します。

Av/Tv操作切り換え

MENUボタンを押す → Yメニューアイコン → Av/Tv操作切り換え → OKボタン

P、S、A、M、U、 (マニュアル動画) モードで露出を設定するときの操作部の割り当てを切り換えます。

項目	内容
切り換えない (初期設定)	コマンドダイヤルでプログラムシフトまたはシャッタースピード (Tv) を、マルチセレクターで絞り値 (Av) を設定します。
操作を切り換える	マルチセレクターでプログラムシフトまたはシャッタースピード (Tv) を、コマンドダイヤルで絞り値 (Av) を設定します。



連番リセット

MENU ボタンを押す → ㊄メニューアイコン → 連番リセット → Ⓜ️ ボタン

[はい] を選ぶと、ファイル番号の連番 (□□205) をリセットします。リセットすると新しい記録フォルダーが作られ、次に撮影する画像の連番は、「0001」から始まります。

✔️ 連番リセットのご注意

フォルダー番号が999に達し、そのフォルダー内にファイルがあるときは、[連番リセット] ができません。メモリーカードを交換するか、メモリーカードを初期化 (□□176) してください。

- メモリーカードの書き込み禁止スイッチがロックされていると、[連番リセット] ができません。ロックを解除してください (□□16、191)。

📎 記録フォルダーについて

このカメラで撮影した静止画および動画は、メモリーカード内のフォルダーに記録されます。

- フォルダー名には、100から999までの連番がつきます (フォルダー名は、カメラでは表示できません)。
- 以下のときは、新しいフォルダーが作成されます。
 - フォルダー内のファイル数が999に達したとき
 - フォルダー内のファイル番号が9999に達したとき
 - [連番リセット] したとき
- インターバル撮影の場合、撮影のたびに新しいフォルダーが作成され、ファイル番号0001から始まる一連の画像が保存されます。



ピーキング

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → ピーキング → ボタン

項目	内容
する (初期設定)	マニュアルフォーカス時の画面で、ピントが合った箇所を白色で強調して、ピント合わせを補助します (□□67、68)。
しない	ピーキングをしません。

設定クリアー

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → 設定クリアー → ボタン

[はい] を選ぶと、カメラの設定が初期設定にリセットされます。

- 通信メニューの設定も初期化します。
- [地域と日時]、[言語/Language] など、一部の設定はリセットされません。撮影モードダイヤル **U** に登録したユーザーセッティングの設定はリセットされません。[User Setting リセット] (□□53) でリセットしてください。
- 無線接続中は選択できないことがあります。

ファイル番号の連番をリセットする

メモリーカード内の画像をすべて削除してから [設定クリアー] を行うと、連番は「0001」からにリセットされます。[連番リセット] でも「0001」からにリセットできます (□□183)。

バージョン情報

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → バージョン情報 → ボタン

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

- 無線接続中は選択できないことがあります。



資料

無線通信機能についてのご注意	186
取り扱い上のご注意	188
カメラについて	188
電池について	189
本体充電 AC アダプターについて	190
メモリーカードについて	191
お手入れ方法	192
クリーニングについて	192
保管について	192
警告メッセージ	193
故障かな？と思ったら	196
記録データのファイル名	205
使用できるアクセサリ	206
スピードライト（外部フラッシュ）	208
リモコン ML-L7	210
主な仕様	215
使用できるメモリーカード	220
索引	222
ニコンプラザについて	227
修理に関するお問い合わせ先	227
修理サービスのご案内	228
製品の使い方に関するお問い合わせ先	229



無線通信機能についてのご注意

● 電波に係わるご注意

- 本製品はWi-Fi（無線LAN）およびBluetooth機能を搭載しています。国や地域によって、法律によりWi-FiおよびBluetooth機能が使用できない場合があります。ご購入された国以外での使用については、本書の裏表紙に記載のニコンカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

● セキュリティーについて

- 本製品は電波を利用して情報を交換するため、電波の届く範囲で自由に無線接続が可能であるという利点がありますが、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
 - 情報の漏洩：悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワードなどの個人情報が漏洩する可能性があります。
 - 不正アクセス：悪意ある第三者が無断でネットワークにアクセスして、なりすまし、情報の改ざんなどの行為を行う可能性があります。また、本製品にセキュリティーを設定したにもかかわらず、Wi-FiおよびBluetoothの仕様上、特殊な方法によりセキュリティーが破られることもありますので、ご理解の上ご使用ください。データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責任を負いません。
- スマートフォンやタブレットに使用権限のないネットワークが表示されても、接続しないでください。接続すると、不正アクセスとみなされるおそれがあります。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。

● 個人情報の管理および免責事項

- 使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いで変化、消失する場合があります。
必要な内容は、お客様の責任において控えを必ずおとりください。
当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損害および逸失利益には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品を譲渡/廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報を含む内容を、セットアップメニュー（□□113）の【設定クリアー】で、初期化してください。
- 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社は一切の責任を負いません。

● 本製品の輸出、持ち出しに係わるご注意

本製品は米国輸出管理規則 Export Administration Regulations (EAR) を含む米国の対象です。EARの輸出規制国（キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリア：変更される可能性があります）以外への輸出や持ち出しは、米国政府の許可は不要です。



● Wi-Fi (無線LAN) 機能/Bluetooth機能のご注意

2.4 DS1/OF1

2.4 FH2/XX2

- 本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです。
 - 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等の移動体識別用の
 - ① 構内無線局（免許を要する無線局）
 - ② 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
 - アマチュア無線局（免許を要する無線局）これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、通信の途絶が双方に生じることがあります。
- 本製品で電波干渉を起こさないよう、以下にご注意ください。
 - 使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか、事前に確認する
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に電波干渉を生じたら、Wi-Fiアクセスポイントのチャンネル番号を変更して使用周波数を変える
 - その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面に記載されているニコンカスタマーサポートセンターにご相談ください。
- 本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV機器、OA機器などの電磁波や磁気の発生源の周辺で使わないでください。
 - 雑音が増大したり、通信が途絶したりします。
 - AV機器、OA機器などの受信障害の原因になります。

● 本製品の使用上のご注意

本製品は、Wi-FiおよびBluetooth機器としてお使いください。

Wi-FiおよびBluetooth機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任を負いません。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に係わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使わないでください。
- Wi-Fi および Bluetooth 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途では、使用システムの安全設計や故障に対する適切な処置をしてください。



取り扱い上のご注意

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□vi~□ix)をお守りください。

カメラについて

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶついたりすると、故障の原因になります。また、レンズに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 水にぬらさないでください

カメラ内部に水が入ると、部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

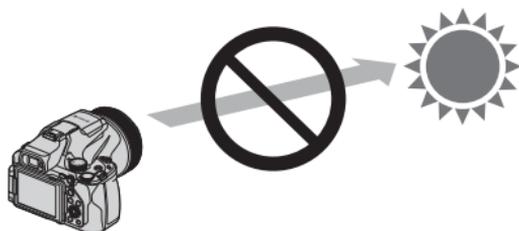
● 急激な温度変化を与えないでください

温度差が極端な場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因になります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● レンズを太陽に向けて撮影または放置しないでください



レンズを太陽などの高輝度被写体に向けて、撮影したり、レンズキャップを外したままで放置したりしないでください。太陽光などの非常に強い光がレンズによって集光するため、レンズ内部機構の変形や撮像素子の褪色/焼き付きを起こすおそれがあります。特に望遠側のズーム位置では、数秒間でもレンズを太陽に向けると故障するおそれがあります。

レンズ内部機構が変形すると、露出制御ができなくなることがあります。

撮像素子の褪色/焼き付きが起こると、画像にむらが生ずることがあります。

撮影しないときは、レンズキャップの装着をおすすめします。

● 電池やACアダプターやメモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態を取り外すと、故障の原因になります。特に、撮影中やデータの削除中は、データの破損やメモリーカードの故障の原因になります。



● 画像モニターについて

- 画像モニター（電子ビューファインダー含む）は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 画像モニターは、日差しの強い屋外などで見えにくいことがあります。
- 画像モニターの表面を強くこすったり、強く押ししたりすると、破損や故障の原因になります。万一、画像モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでけがをするおそれがありますのでご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないようご注意ください。

電池について

● 使用上のご注意

- 使用後の電池は、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が0℃～40℃の範囲を超える場所で使うと、性能劣化や故障の原因になります。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたら、すぐに使用を中止して、ご購入店または二コンサービス機関に修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、ビニール袋などに入れて絶縁してください。

● 充電について

撮影の前に充電してください。付属の電池は、ご購入時にはフル充電されておりません。

- 周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。
- 電池内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になったりし、性能劣化の原因にもなります。カメラの使用直後など、電池内部の温度が高くなっているときは、電池の温度が下がるのを待ってから充電してください。
このカメラを本体充電ACアダプターまたはパソコンに接続して充電する場合、電池の温度が0℃以下、50℃以上のときは、充電をしません。
- 充電が完了した電池を、続けて再充電すると、性能が劣化します。
- 充電直後に電池の温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。

● 予備電池を用意する

撮影環境に応じて、予備電池をご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があります。

● 低温時には残量の十分な電池を使い、予備電池も用意する

電池は一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、電池およびカメラを冷やさないようにしてください。

消耗した電池を低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備の電池は保温し、交互にあなたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかった電池も、常温に戻ると使える場合があります。



● 電池の接点について

電池の接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。

● 残量のなくなった電池は充電する

残量のなくなった電池をカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、電池の寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなった電池は、充電してからお使いください。

● 保管について

- 電池を使わないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。取り付けたままにすると、電源を切っていても微小電流が流れ続けて過放電状態になり、使えなくなることがあります。
- 電池は、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。
- 電池は、ビニール袋などに入れて絶縁し、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥した場所をおすすめします。暑い場所や極端に寒い場所は避けてください。

● 寿命について

電池を十分に充電しても、使用期間が極端に短くなってきたときは、寿命です。新しい電池をお買い求めください。

● リサイクルについて



不要になった充電式電池は、接点部をビニールテープなどで絶縁しリサイクル協力店へお持ちください。詳しくは一般社団法人JBRCホームページ (<http://www.jbrc.com>) をご覧ください。

Li-ion 00

数字の有無と数値は電池によって異なります。

本体充電ACアダプターについて

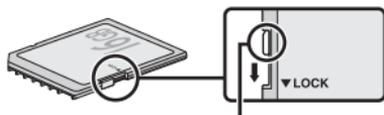
- 本体充電ACアダプター EH-73Pに対応している機器以外で使わないでください。
- UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。
- EH-73P以外の本体充電ACアダプター、市販のUSB-ACアダプター、携帯電話用充電器は絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- EH-73Pは、家庭用電源のAC 100-240 V、50/60 Hzに対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめのうえ、お買い求めください。



メモリーカードについて

● 使用上のご注意

- メモリーカードは、SD/SDHC/SDXCメモリーカード以外は使えません（220）。
- お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- メモリーカードの書き込み禁止スイッチがロックされていると、撮影、画像の削除、カードの初期化はできません。



書き込み禁止スイッチ

- ラベルやシールを貼らないでください。

● 初期化について

- メモリーカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- 他の機器で使ったメモリーカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。
未使用のメモリーカードは、このカメラで初期化してからお使いになるようおすすめします。
- メモリーカードを初期化すると、メモリーカード内のデータは、すべて削除されます。初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- メモリーカードを入れた後にカメラに「このカードは初期化されていません。初期化しますか？」の警告メッセージが表示されたときは初期化が必要です。削除したくないデータがある場合は、**[いいえ]**を選んでください。必要なデータはパソコンなどに保存してください。メモリーカードを初期化してよければ、**[はい]**を選んで  ボタンを押してください。
- 初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、データの破損やメモリーカードの故障の原因になります。
 - 電池/メモリーカードカバーを開けて、メモリーカードや電池を脱着する
 - カメラの電源を OFF にする
 - ACアダプターを外す



お手入れ方法

クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使わないでください。

レンズ/電子ビューファインダー

ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意ください。ゴミやホコリはブローアードで吹き払ってください。ブローアードで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。汚れが取れないときは、レンズクリーナー液（市販）で湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。

画像モニター

ゴミやホコリはブローアードで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

カメラボディ

- ゴミやホコリはブローアードで吹き払ってください。乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
- 海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。

ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因になります。この場合、当社の保証の対象外になります。

保管について

カメラを長期間お使いにならないときは、電池を取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、「月に一度」を目安に電池を入れ、カメラを操作するようおすすめします。カメラを以下の場所に保管しないようご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- 温度が50℃以上、または-10℃以下の場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺

電池の保管は、「取り扱い上のご注意」の「電池について」の「● 保管について」(P190)をお守りください。



警告メッセージ

以下のメッセージが表示されたときは、次の内容を確認してください。

表示	考えられる原因や対処法	📖
電池が高温です。 電源をOFFにします。	電源が自動的にOFFになります。温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。	—
カメラが高温です。 電源をOFFにします。		
カードがロックされています。	メモリーカードの書き込み禁止スイッチがロックされています。ロックを解除してください。	16、191
このカードは使えません。	メモリーカードへのアクセス異常です。 • 動作確認済みのカードを使ってください。 • カードの端子部分が汚れていないか確認してください。	16、220
カードに異常があります。	• カードが正しく挿入されているか確認してください。	
このカードは初期化されていません。 初期化しますか？	メモリーカードが、このカメラ用に初期化されていません。 初期化するとカード内のデータはすべて削除されるため、カード内に必要なデータが残っているときは、 【いいえ】 を選び、初期化する前にパソコンなどに保存してください。 【はい】 を選んで ⓧ ボタンを押すと、メモリーカードを初期化できます。	16、191
メモリー残量がありません。	不要な画像を削除するか、メモリーカードを交換してください。	16、28
画像を保存できません。	画像記録中にエラーが発生しました。 メモリーカードを交換するか、メモリーカードを初期化してください。	16、176
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。 メモリーカードを交換するか、メモリーカードを初期化してください。	16、176
この画像は編集できません。	編集可能な条件を確認してください。	83、202
動画記録できません。	メモリーカードに動画を記録するのに時間がかかっています。 画像記録処理の速いメモリーカードに交換してください。	220
連番リセットできません。	記録フォルダー名の連番が上限に達したため、リセットできません。 メモリーカードを交換するか、メモリーカードを初期化してください。	16、176



表示	考えられる原因や対処法	📖
フォーカスモードセレクターをMFに切り換えてください。	[HDMIクリーンアウト] を [する] にしてHDMI対応機器に接続するときは、フォーカスモードセレクターをMFに合わせてください。	5、177
撮影画像がありません。	画像が記録されているメモリーカードを入れてください。	16
このファイルは表示できません。	このカメラ以外で作成または編集したファイルです。このカメラでは再生できません。ファイルを作成または編集したパソコンなどで再生してください。	—
表示できる画像がありません。	<ul style="list-style-type: none"> スライドショーなどで表示できる画像がありません。 削除画像選択画面に表示できる画像がありません。 	—
このファイルは削除できません。	画像にプロテクトがかかっています。プロテクトを解除してください。	159
フラッシュを上げてください。	<ul style="list-style-type: none"> シーンモードの [おまかせシーン] 時は、内蔵フラッシュを閉じたままでも撮影できますが、フラッシュは発光しません。 シーンモードが [夜景ポートレート] または [逆光] の [HDR] が [しない] 時は、内蔵フラッシュを閉じたままでは撮影できません。 	34 35、37
電源を入れなおしてください。	レンズの動作にエラーが発生しました。レンズに無理な力を加えないでください。電源を入れなおすと、レンズの動作が正常に戻ります。電源を入れなおしてもエラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	196
スピードライト設定エラー	スピードライトがこのカメラで使えない機能に設定されています。スピードライトの設定を変更してください。	208
通信エラー	プリンターとの通信中にエラーが発生しました。カメラの電源をOFFにして、USBケーブルの接続をやり直してください。	105
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。電源をOFFにして電池を入れ直し、もう一度電源をONにしてください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	196



表示	考えられる原因や対処法	📖
プリンターエラー： プリンターを確認 してください。	エラーの原因を取り除いた後、[継続]を選んでⓄボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： 用紙を確認してくだ さい。	指定したサイズの内紙をセットした後、[継続]を選んでⓄボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： 紙詰まりです。	詰まった用紙を取り除いた後、[継続]を選んでⓄボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： 用紙がありません。	指定したサイズの内紙をセットした後、[継続]を選んでⓄボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： インクを確認してく ださい。	インクに異常があります。 インクを確認した後、[継続]を選んでⓄボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： インクがありません。	インクを交換した後、[継続]を選んでⓄボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： ファイルが異常で す。	プリントする画像ファイルに異常があります。 [キャンセル]を選んでⓄボタンを押し、プリントを中止してください。	—
HDMIクリーンアウ トになっています。 マニュアル動画モー ドにしてください。	[HDMIクリーンアウト]を[する]にしてHDMI対応機器に接続するときは、撮影モードをマニュアル動画モードにしてください。	94

* プリンターの説明書もあわせてご覧ください。



故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

電源・表示・設定関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電源ONの状態 で、カメラの 操作ができ ない	<ul style="list-style-type: none">画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。操作できない状態が続くときは、電源を OFF にする操作をしてください。 電源が OFF にならない場合は、電池を入れ直してください。 AC アダプター使用時は付け直してください。 <ul style="list-style-type: none">- 記録中であったデータは保存されません。- 保存済みのデータは電池や AC アダプターの取り外しでは失われません。	—
電源をONに できない	電池残量がありません。	16、17、 189
カメラの電源 が突然切れる	<ul style="list-style-type: none">オートパワーオフが機能しました。低温下ではカメラや電池が正常に動作しないことがあります。カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。	24 189 —
画像モニター/ 電子ビューファ インダーに何 も映らない	<ul style="list-style-type: none">電源が入っていません。電池残量がありません。オートパワーオフが機能しました。画像モニターと電子ビューファインダーは同時に点灯しません。画像モニターと電子ビューファインダーの切り換えに時間がかかることがあります。カメラがテレビまたはパソコンと接続されていません。インターバル撮影中、シーンモードの [比較明合成] ([星軌跡] 設定時) 撮影中、タイムラプス動画撮影中、またはバルブ撮影やタイム撮影などの長時間露出撮影中です。	19 22 24 — — —
カメラの温度 が高くなる	動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。	—



こんなときは	考えられる原因や対処法	
カメラ内の電池を充電できない	<ul style="list-style-type: none"> • プラグの接続状態を確認してください。 • パソコンで充電するときは、以下の原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> - セットアップメニュー [パソコン接続充電] が [しない] になっています。 - カメラの電源を OFF にすると、電池の充電は中止されます。 - カメラの表示言語と日時を設定していないときや、時計用電池が切れて日時がリセットされたときは充電できません。本体充電 AC アダプターで充電してください。 - パソコンが休止状態 (スリープ状態) になると、充電が中止されることがあります。 - パソコンの仕様、設定または状態によっては、充電できないことがあります。 	17 113、179 — 19 — —
画像モニターがよく見えない	<ul style="list-style-type: none"> • 周囲が明るすぎます。 <ul style="list-style-type: none"> - 暗い場所に移動してください。 - 電子ビューファインダーをお使いください。 • 画面の明るさを調節してください。 	26 167
電子ビューファインダーがよく見えない	<ul style="list-style-type: none"> • ファインダーの視度を調節してください。 • 画面の明るさを調節してください。 	26 167
画面で  が点滅する	<ul style="list-style-type: none"> • 内蔵時計の日時を設定しないと、撮影画面で  が点滅し、静止画の撮影日時が「0000/00/00 00:00」、動画の撮影日時が「2018/01/01 00:00」と記録されず。セットアップメニュー [地域と日時] で日時を正しく設定してください。 • 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くありません。定期的に日時の設定を行うことをおすすめします。 	10、164
撮影日時が正しく表示されない		
撮影情報や画像情報が表示されない	撮影情報、画像情報を非表示にしている可能性があります。情報が表示されるまで、DISP ボタンを押してください。	8
[日付写し込み] が選べない	セットアップメニュー [地域と日時] が設定されていません。	113、164
[日付写し込み] を有効にしたのに、日付が写し込まれない	<ul style="list-style-type: none"> • 日付を写し込めない撮影モードになっています。 • 日付写し込みが制限される他の機能の設定がされています。 • 動画には写し込みできません。 	31、170 75 —



こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電源を入れると地域と日時の設定画面が表示される 設定内容が初期状態に戻ってしまった	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。カメラを再設定してください。 • カメラの時計や一部の設定の保持には、内蔵の時計用電池が使われています。時計用電池はカメラに電池を入れるか AC アダプター（別売）を接続すると約 10 時間で充電され、カメラの電池を取り出しても数日間動作します。	—
[連番リセット]ができない	連番リセットなどを行うと、メモリーカード内に新しい記録用フォルダーが作成されますが、フォルダー名の連番（カメラでは表示できません）が上限（999）に達するとリセットできません。メモリーカードを交換するか、メモリーカードを初期化してください。 • メモリーカードの書き込み禁止スイッチがロックされています。ロックを解除してください。	176、183
カメラから音がする	[AFモード] の [常時AF] 時や、選んだ撮影モードによっては、オートフォーカスの動作音が聞こえることがあります。	31、143、153

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影モードにできない	USBケーブルを外してください。	103
撮影できない	<ul style="list-style-type: none"> 再生モードになっているときは、▶ ボタン、シャッターボタンまたは ● (◀) ボタンを押してください。 メニューが表示されているときは、MENU ボタンを押してください。 シーンモードが [夜景ポートレート] または [逆光] の [HDR] が [しない] のときは、内蔵フラッシュをポップアップさせてください。 ☺ の点滅中は、内蔵フラッシュの充電中です。 電池残量がありません。 残量のあるメモリーカードを入れてください。 	2、27 114 25、35、37 55 17、189 16



こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
ピントが合わない	<ul style="list-style-type: none"> 被写体との距離が近すぎます。シーンモードの [おまかせシーン]、[クローズアップ]、またはフォーカスモードのマクロ AF での撮影をお試しください。 フォーカスモードの設定が合っていません。設定を確認または変更してください。 オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 セットアップメニュー [AF 補助光] を [オート] にしてください。 シャッターボタンを半押ししたときに、被写体が AF エリア内に入っていません。 フォーカスモードセレクターが MF (マニュアルフォーカス) になっています。 電源を入れ直してください。 三脚などで固定しても、カメラ操作による振動で、オートフォーカスが少しずれることがあります。 	31、34、36、54、62、61、65、113、172、24、140、67、—、23
撮影時の画面に色の付いた縞模様が発生する	<p>同じパターンを繰り返す被写体 (窓のブラインドなど) に色の付いた縞模様 (干渉縞、モアレ) が現れることがありますが、故障ではありません。</p> <p>記録される画像、動画にこの現象は残りません。ただし、[高速連写 120 fps] と [HS 480/4 倍] では、記録される画像、動画にこの現象が残ることがあります。</p>	—
画像がブレる	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュを使ってください。 手ブレ補正機能を使ってください。 三脚などでカメラを安定させてください (セルフタイマー [🕒10s] (10 秒) を併用すると、より効果的です)。 	25、55、154、171、23、58
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が入り込む	<p>フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。内蔵フラッシュを閉じてください。</p>	25、55
フラッシュが発光しない	<ul style="list-style-type: none"> 内蔵フラッシュが閉じています。 フラッシュが発光しない撮影モードです。 フラッシュが制限される他の機能の設定がされています。 	25、73、75
電子ズームが使えない	<ul style="list-style-type: none"> セットアップメニュー [電子ズーム] が [しない] になっています。 撮影モードや他の機能の設定によっては電子ズームを使えません。 	113、172、78、172
[画像サイズ] が選べない	<ul style="list-style-type: none"> [画像サイズ] が制限される他の機能の設定がされています。 シーンモードが [かんたんパノラマ] のときは、画像サイズが固定されます。 	75、41



こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
シャッター音が鳴らない	セットアップメニュー [操作音] の [シャッター音] が [なし] になっています。 [あり] にしていても、撮影モードや設定によってはシャッター音が鳴りません。	78、113、175
AF 補助光が点灯しない	セットアップメニュー [AF補助光] が [なし] になっています。 [オート] に設定していても、AFエリアの位置やシーンモードによっては点灯しない場合があります。	113、172
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	192
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスまたは色合いが選ばれていません。	37、129
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。 <ul style="list-style-type: none"> フラッシュを使ってください。 低いISO感度にしてください。 	25、55 137
多重露出時に画像に白い点が発生する	多重露出時にシャッタースピードが遅い場合、記録した画像にノイズ（白い点）が目立つことがあります。	—
画像が暗すぎる（露出アンダー）	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュが指などでさえぎられています。 被写体にフラッシュの光が届いていません。 露出を補正してください。 ISO感度を上げてください。 逆光で撮影しています。フラッシュを使うか、シーンモードの [逆光] での撮影をお試しください。 	22 217 69 137 25、37
画像が明るすぎる（露出オーバー）	露出を補正してください。	69
美肌の効果が得られない	<ul style="list-style-type: none"> 撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られないことがあります。 4人以上の顔を撮影した画像は、再生メニュー [美肌] をお試しください。 	65 85、113



こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像の記録に時間がかかる	<p>以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ノイズ低減機能が作動したとき フラッシュを🔴📷(赤目軽減自動発光/赤目軽減発光)にして撮影したとき 以下のシーンモードで撮影したとき <ul style="list-style-type: none"> [風景]、[クローズアップ] の [連写 NR 撮影] [夜景] の [手持ち撮影] [逆光] の [HDR] が [する] [かんたんパノラマ] バルブ撮影やタイム撮影など長時間露出で撮影したとき 撮影メニュー [連写] が [高速連写 120 fps] または [高速連写 60 fps] のとき 笑顔自動シャッターで撮影したとき アクティブ D-ライティング機能で撮影したとき 多重露出機能で撮影したとき [画質] が [RAW]、[RAW+FINE] または [RAW+NORMAL] のとき [動画設定] が [2160/30p] または [2160/25p] で動画撮影中に静止画を撮影したとき 	<p>—</p> <p>56</p> <p>34、36</p> <p>36</p> <p>37</p> <p>41</p> <p>50</p> <p>113、133</p> <p>60</p> <p>144</p> <p>145</p> <p>121</p> <p>93</p>
画面や撮影画像にリング状の帯や虹色の縞模様が見える	<p>逆光撮影や、太陽などの非常に強い光源が画面内にある撮影では、リング状の帯や虹色の縞模様（ゴースト）などが写し込まれることがあります。</p> <p>光源の位置を変えるか、光源を画面内に入れずに撮影をお試しください。</p>	—
設定が選べない/ 選んだ設定が有効にならない	<ul style="list-style-type: none"> 撮影モードによっては、選べない項目があります。選べないメニューはグレーで表示されます。 選んだ機能が制限される他の機能の設定がされています。 	—

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	<ul style="list-style-type: none"> このカメラ以外で記録した画像は、再生できないことがあります。 このカメラ以外で記録した RAW 画像、または動画は再生できません。 パソコンで加工したデータは、再生できないことがあります。 インターバル撮影中は再生できません。 	<p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>133</p>
画像の拡大表示ができない	<ul style="list-style-type: none"> 動画は拡大表示できません。 このカメラ以外で撮影した画像は、拡大できないことがあります。 画像サイズの小さい画像は、画面の倍率表示と画像の拡大率が一致しないことがあります。 	—



こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像編集ができない	<ul style="list-style-type: none"> 画像によっては編集できません。編集で作成した画像は、再編集できないことがあります。 メモリーカードに空き容量がありません。 このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。 動画は、画像編集できません。 	43、83、122 — — —
画像を回転できない	このカメラ以外で撮影した画像は回転できません。	—

外部機器関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
スマートフォンと無線接続できない ※1	<ul style="list-style-type: none"> はじめて無線接続するときは、付属の「SnapBridge 接続ガイド」に従って、接続してください。 無線接続済みの場合、以下の操作をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> カメラの電源を入れ直してください。 SnapBridge アプリを再起動してください。 一度接続を解除してから再度接続してください。 カメラの「通信メニュー」の設定を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> 「機内モード」を「しない」にしてください。 「Bluetooth」→「通信機能」を「有効」にしてください。 	— — 161
	<ul style="list-style-type: none"> カメラの接続先に、2台以上のスマートフォンを登録した場合、カメラの「通信メニュー」→「Bluetooth」→「ペアリング済み機器」で、接続したいスマートフォンを選んでください。 SnapBridge アプリの接続先に2台以上のカメラを登録したときは、アプリ側で接続先を切り換えてください。 十分に残量のある電池をお使いください。 残量のあるメモリーカードをカメラに入れてください。 HDMI ケーブルまたは USB ケーブルを外してください。 スマートフォンの Bluetooth、Wi-Fi および位置情報機能の設定を有効にしてください。 SnapBridge アプリの  タブ → 「自動連携設定」→ 「自動連携」を ON にしてください。OFF の場合、「画像取り込み」および「リモート撮影」は使えますが、画像の自動送信はできません。 	162 — 16 103 — —



こんなときは	考えられる原因や対処法	
SnapBridge アプリで無線接続中のスマートフォンに画像を送信できない※ ¹	<ul style="list-style-type: none"> • 自動送信するときは、以下の操作をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> - カメラの [通信メニュー] → [撮影時画像送信] → [静止画] を [する] にしてください。 - SnapBridge アプリの  タブ → [自動連携設定] → [自動連携] を ON にしてください。 - SnapBridge アプリの  タブ → [自動連携設定] → [自動転送] を ON にしてください。 - カメラの [通信メニュー] → [Bluetooth] → [電源オフ中の通信] が [しない] のときは、カメラの電源を ON にするか、[する] にしてください。 • Bluetooth 通信時に送信するコマ数が多いときは、画像送信中に通信が切断されることがあります。カメラの電源を入れなおすと、スマートフォンに再接続され、[撮影時画像送信]、[送信画像の指定] では画像送信が再開されます。 • カメラにメモリーカードを入れてください。 • カメラの操作中は、画像の送信機能が使えないことや、送信が停止することがあります。 	161 - - 162 157、161 16 -
SnapBridge アプリで無線接続中のスマートフォンからリモート撮影ができない※ ¹	<ul style="list-style-type: none"> • カメラにメモリーカードが入っていないときは、リモート撮影はできません。メモリーカードを入れてください。 • カメラの操作中は、リモート撮影が使えないことがあります。 	16 -
SnapBridge アプリで、静止画をオリジナルサイズで送信できない※ ¹	カメラの [撮影時画像送信] および [送信画像の指定] では、取り込む画像サイズは2Mサイズに制限されます。オリジナルサイズで静止画を取り込むには、SnapBridgeアプリの [画像取り込み] をお使いください。	-
SnapBridge アプリでWi-Fi接続時に通信状態が悪い/画像送信速度が極端に遅い※ ¹	カメラの [通信メニュー] → [Wi-Fi] → [接続設定] でチャンネルを変えると改善することがあります。	162
リモコン ML-L7 を操作してもカメラが反応しない※ ²	<ul style="list-style-type: none"> • カメラとリモコン ML-L7 (別売) が接続されていません。リモコンの電源ボタンを押して接続してください。撮影画面に  が表示されていない場合は、再度ペアリングして接続してください。 • リモコンは撮影時の操作にのみ使用できます。 • リモコンの Fn1/Fn2 ボタンは、このカメラとでは使用できません。 	213 210 211



こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
リモコン ML-L7とペアリングできない※2	カメラの「通信メニュー」の設定を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 「接続先切替」を「リモコン」にしてください。 • 「機内モード」を「しない」にしてください。 • 「Bluetooth」→「通信機能」を「有効」にしてください。 	161
接続中のスマートフォンやパソコンに、カメラ内の画像が表示されない	カメラ内のメモリーカードに保存された画像などが10,000個を超えると、それ以降に撮影した画像は、接続した機器に表示されないことがあります。 <ul style="list-style-type: none"> • メモリーカード内の画像数を減らしてください。必要な画像はパソコンなどに保存してください。 	—
画像がテレビに映らない	<ul style="list-style-type: none"> • パソコンまたはプリンターがカメラに接続されています。 • メモリーカードに画像が記録されていません。 	—
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transfer 2が自動起動しない	<ul style="list-style-type: none"> • カメラの電源がOFFになっています。 • 電池残量がありません。 • USBケーブルが正しく接続されていません。 • パソコンにカメラが正しく認識されていません。 • Nikon Transfer 2が自動起動しない設定になっています。Nikon Transfer 2については、Nikon Transfer 2のヘルプをご参照ください。 	— 103、179 103、109 —
カメラをプリンターに接続しても、PictBridge画面が表示されない	PictBridge対応プリンターの種類によっては、セットアップメニュー「パソコン接続充電」を「オート」に設定していると、PictBridge画面が表示されず、プリントできない場合があります。「パソコン接続充電」を「しない」にしてプリンターに接続し直してください。	113、179
プリントする画像が表示されない	メモリーカードに画像が記録されていません。	—
カメラ側で用紙設定ができない	PictBridge対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」ができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> • カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 • 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。 	—

※1 付属の「SnapBridge接続ガイド」、およびSnapBridgeアプリのオンラインヘルプもあわせてご覧ください。

※2 リモコン ML-L7（別売）付属の使用説明書もあわせてご確認ください。



記録データのファイル名

このカメラで撮影した静止画および動画には、以下のようにファイル名が付けられます。

ファイル名: **DSCN0001.JPG**

① ② ③

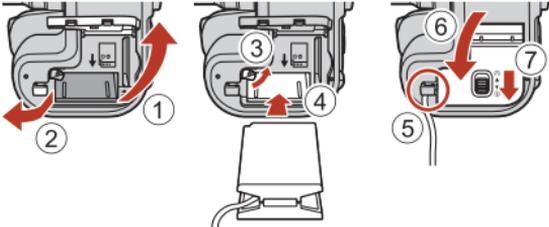
① 識別子	カメラの画面には表示されません。 <ul style="list-style-type: none">• DSCN：編集していない静止画、動画、動画編集で作成した静止画• SSCN：スモールピクチャー画像• RSCN：トリミング画像• FSCN：トリミングとスモールピクチャー以外の画像編集で作成した画像、動画編集で作成した動画
② ファイル番号	0001から9999までの連番で付けられます。 <ul style="list-style-type: none">• インターバル撮影の場合、撮影のたびに新しいフォルダーが作成され、ファイル番号 0001 から始まる一連の画像が保存されます。
③ 拡張子	ファイルの種類を示します。 <ul style="list-style-type: none">• .JPG：JPEG 静止画• .NRW：RAW 静止画• .MP4：動画

ご注意

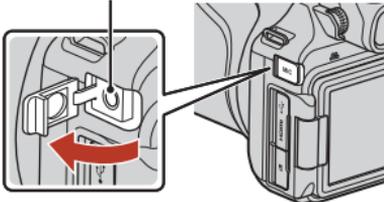
[画質] (121) の設定を [RAW+FINE] または [RAW+NORMAL] にして撮影した場合、同時に記録したRAW画像とJPEG画像は、同じ識別子とファイル番号になります。画像は同じフォルダーに保存され、ファイル数は同時記録したRAW画像とJPEG画像を合わせて1ファイルとカウントされます。



使用できるアクセサリ

<p>充電器</p>	<p>バッテリーチャージャー MH-29^{※1} 残量のない状態からの充電時間は、約3時間です。</p>
<p>ACアダプター</p>	<p>ACアダプター EH-5b/EH-5c^{※2}とパワーコネクター EP-5C : パワーコネクターをカメラに入れて、ACアダプターをつなぐとカメラに電源を供給できます。ACアダプターとパワーコネクターは、それぞれ別売です。 <EP-5Cの取り付け方></p>  <ul style="list-style-type: none"> • パワーコネクターカバー部を引き出してから (2)、+と-の向きを確認して入れてください (4)。 • 電池 / メモリーカードカバーを閉める前に、パワーコネクターのコードを電池室の溝に奥まで入れてください (5)。コードが溝からはみ出していると、カバーを閉めたときにカバーやコードを破損するおそれがあります。 • パワーコネクターの DC プラグコネクターに、AC アダプターの DC プラグを差し込みます。
<p>アクセサリシューカバー</p>	<p>アクセサリシューカバー BS-1 アクセサリシューを保護するカバーです。</p>
<p>スピードライト (外部フラッシュ)</p>	<p>対応スピードライトと使い方は、「スピードライト (外部フラッシュ)」(P208) をご覧ください。</p>
<p>フィルター</p>	<p>ネジ込み式ニュートラルカラー 77NC (77 mm) レンズ保護用のフィルターです。フィルターを装着した状態で内蔵フラッシュを使うと、画像の周辺が暗くなることがあります。</p>



外部マイク	<ul style="list-style-type: none"> • ステレオマイクロホン ME-1 • ワイヤレスマイク ME-W1 : ワイヤレスマイクに付属のオーディオケーブルで、レシーバーのヘッドホン出力端子とカメラの外部マイク端子を接続します。詳しくは ME-W1 の説明書をご覧ください。 	<p>外部マイク端子</p> 
リモートコントローラー	<p>リモートコード MC-DC2 アクセサリターミナルに装着すると、カメラのシャッターをきることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10/WR-T10 : WR-R10 (受信機) をアクセサリターミナルに装着すると、WR-T10 (送信機) から無線で遠隔撮影できます。ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10 (受信機)、WR-T10 (送信機)、WR用変換アダプター WR-A10のセットもあります。 • ワイヤレスリモートコントローラー WR-1 : 送信機または受信機に設定して使います。アクセサリターミナルにWR-1を受信機として装着すると、ワイヤレスリモートコントローラー WR-T10や、送信機にしたWR-1から無線で遠隔撮影できます。 	
	<p>リモコン ML-L7 ML-L7の使い方は「リモコン ML-L7」(P210) をご覧ください。</p>	

※1 日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などで確かめの上、お買い求めください。

※2 日本国内専用電源コード (AC 100V 対応) 付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。
また、オンラインショップ (ニコンダイレクト) <http://shop.nikon-image.com/>でもお求めいただけます。

国または地域によって、販売していない場合があります。
アクセサリの最新情報は、当社ウェブサイトやカタログなどでご確認ください。



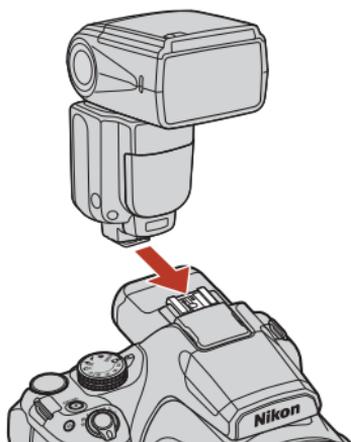
スピードライト（外部フラッシュ）

以下のスピードライトに対応しています。スタンダードi-TTL調光が可能です。

- SB-5000、SB-700、SB-500

スピードライトの取り付け方

- 内蔵フラッシュは、ポップアップしないでください。
- セーフティーロックピン付きスピードライトの取り付けや取り外し方など、詳しくは、スピードライトの説明書をご覧ください。
- このカメラに対応していないアクセサリを取り付けようとすると、カメラやアクセサリを破損することがありますのでご注意ください。



✓ 内蔵フラッシュについてのご注意

スピードライトを取り付けた場合は、カメラの内蔵フラッシュは使えません。スピードライトと内蔵フラッシュが衝突して破損する場合がありますので、内蔵フラッシュはポップアップさせないでください。

✓ 他社製フラッシュについてのご注意

他社製のフラッシュ（カメラのX接点に250V以上の電圧がかかるものや、アクセサリシュー部の接点をショートさせてしまうもの）を使わないでください。カメラの正常な機能が発揮できないだけでなく、カメラおよびフラッシュのシンクロ回路を破損することがあります。

✓ スピードライト（外部フラッシュ）使用時のご注意

撮影画像にケラレが発生した場合には、被写体と距離をとったり、レンズフードを外すなどしてください。



スピードライトと組み合わせて使える機能

		SB-5000	SB-700	SB-500
i-TTL	i-TTL-BL調光	—	—	—
	スタンダード i-TTL調光	○	○	○
AA	絞り連動外部自動調光	○	—	—
A	外部自動調光	—	—	—
M	マニュアル発光	○	○	—
GN	距離優先マニュアル発光	○	○	—
RPT	リピーティングフラッシュ	○	—	—
赤目軽減発光		○	○	○

i-TTL調光について

- モニター発光を行い、被写体からの反射光をカメラが測光して、スピードライトの発光を制御します。
 - スタンダードi-TTL調光：背景光を考慮せず、主要被写体が基準露光量になるように発光量を制御します。主要な被写体を強調した撮影に適しています。
- i-TTL 調光を使って撮影するときは、撮影前にスピードライト側の発光モードを i-TTL にセットしてください。

スピードライトについて

- このカメラでは、スピードライトの発光色温度情報伝達、オートFPハイスピードシンクロ、FVロック、マルチポイントAF補助光、ワイヤレスライティングの各機能は使えません。
- SB-5000、SB-700のオートパワーズーム機能を使うと、レンズの焦点距離に合わせて照射角が自動的にセットされます。
- スピードライト使用時に、ズームの広角側で画像の周辺が暗くなることがあります。その場合、SB-5000、SB-700ではワイドパネルをお使いください。
- スピードライトの「スタンバイ」機能は、撮影時のカメラの電源ONと連動します。レディーライトの点灯はスピードライト側でご確認ください。
- 詳しくは、お使いになるスピードライトの説明書をご覧ください。



リモコン ML-L7

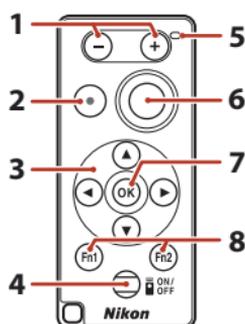
別売のリモコン ML-L7をカメラとペアリング※して (□□213)、リモコンからカメラを操作することができます。このカメラでは、撮影時に「リモコン各部の名称と機能 (P1000の場合)」(□□211) の操作ができます。

※ カメラとリモコンをBluetoothで接続する設定を、ここでは「ペアリング」と呼びます。

- リモコンは1台のカメラにつき1個のみペアリングできます。別のリモコンをペアリングすると、最後にペアリングしたリモコンのみ有効になります。
- リモコン ML-L7付属の使用説明書もあわせてご確認ください。



リモコン各部の名称と機能 (P1000の場合)



	操作部	機能
1	-ボタン/+ボタン	撮影画面の表示中、-ボタンを押すと広角側に、+ボタンを押すと望遠側にズームします。
2	動画撮影ボタン	ボタンを押すと動画撮影を開始し、もう一度押すと終了します。
3	マルチセレクター	<ul style="list-style-type: none"> 撮影画面でカメラのマルチセレクターと同様に、フラッシュモード (□□55)、セルフタイマー (□□58)、フォーカスモード (□□62)、露出補正 (□□69) を設定できます。撮影モードやメニュー設定によっては、効果の調整、AF エリアの移動 (□□140) ができます。 マニュアルフォーカス時は、▲▼でピント合わせができます (□□67)。
4	電源ボタン	電源ボタンを押すと、リモコンの電源がONになり、ペアリング済みのカメラを探し始めます。そのまま長押し (3秒以上) すると、ペアリングしていないカメラを探し始めます。電源がONの状態ですべて電源ボタンを押すとOFFになります。
5	状態表示ランプ	ランプの色や挙動によって、リモコンの状態や撮影の動作状態を表示します。詳しくは、「リモコンの状態表示ランプについて (P1000の場合)」 (□□212) をご覧ください。
6	シャッターボタン	カメラのシャッターボタンに対応します。 <ul style="list-style-type: none"> 半押し/長押し機能はありません。 セルフタイマー撮影では、カウントダウン中に押すと、撮影を中止できます。



	操作部	機能
7	Ⓞ (決定) ボタン	選択項目の決定をします。 マニュアルフォーカス調整時に押すと、ピント合わせを終了します。
8	Fn1(ファンクション1)/Fn2(ファンクション2) ボタン	このカメラでは使用できません。

リモコンの状態表示ランプについて (P1000の場合)

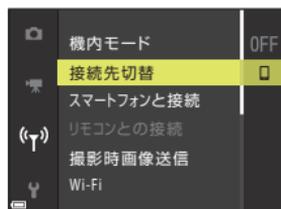
色	状態	内容
緑	約1秒間隔で点滅	ペアリング済みカメラを検出中
緑	速く点滅 (約0.5秒間隔)	ペアリング中
緑	約3秒間隔で点滅	カメラと接続されている状態
オレンジ	1回点滅	静止画撮影開始
オレンジ	2回点滅	静止画撮影終了 (タイム撮影等)
赤	1回点滅	動画撮影開始
赤	2回点滅	動画撮影終了



カメラとリモコンをペアリングする

はじめてリモコンを使うときには、カメラとのペアリングが必要です。

- 1 カメラのMENU ボタンを押す
- 2 マルチセレクターの◀️を押し、▲▼で(📷)メニューアイコンを選び、OK ボタンを押す
- 3 [接続先切替] を選び、OK ボタンを押す



- 4 [リモコン] を選び、OK ボタンを押す



- 5 [リモコンとの接続] を選び、OK ボタンを押す

- カメラがペアリング待機中になります。



- 6 リモコンの電源ボタンを長押し (3秒以上) する

- カメラとリモコンのペアリングがはじまります。この間、リモコンの状態表示ランプが約0.5秒間隔で点滅します。
- ペアリングが完了すると、カメラとリモコンが接続されます。撮影画面にすると、📶が表示されます。
- ペアリングに失敗したことを知らせるメッセージが表示されたら、手順5からやり直してください。



カメラの接続先をスマートフォンに切り換える

- カメラの通信メニュー [接続先切替] を、[リモコン] から [スマートフォン] へ切り換えてください (☐161、213)。
- スマートフォンでSnapBridgeアプリを起動し、カメラとスマートフォンが接続されると、撮影画面に④が表示されます。
- はじめてスマートフォンと無線接続するときは、付属の「SnapBridge接続ガイド」をご覧ください。



主な仕様

ニコン デジタルカメラ COOLPIX P1000

型式	コンパクトデジタルカメラ
有効画素数	1605万画素（画像処理で減少することがあります）
撮像素子	1/2.3型 原色CMOS、総画素数1679万画素
レンズ	光学125倍ズーム、NIKKORレンズ
焦点距離	4.3-539 mm (35mm判換算24-3000 mm相当の撮影画角)
開放F値	f/2.8-8
レンズ構成	12群17枚（EDレンズ5枚、スーパー EDレンズ1枚）
電子ズーム倍率	最大4倍（35mm判換算で約12000 mm相当の撮影画角） [2160/30p]（4K UHD）または [2160/25p]（4K UHD） の動画撮影時は最大3.6倍
手ブレ補正機能	レンズシフト方式（静止画） レンズシフト方式と電子式の併用（動画）
オートフォーカス	コントラスト検出方式
撮影距離範囲	<ul style="list-style-type: none">• 先端レンズ面中央から約30 cm ~ ∞（広角側）、約7.0 m ~ ∞（望遠側）• マクロ AF 時は先端レンズ面中央から約1 cm ~ ∞（広角側）、約7.0 m ~ ∞（望遠側）
AFエリア	ターゲットファインドAF、顔認識オート、マニュアル（スポット）、マニュアル（標準）、マニュアル（ワイド）、ターゲット追尾
ファインダー	電子ビューファインダー、0.39型有機ELモニター、約236万ドット、視度調節機能付き（-3 ~ +3 m ⁻¹ ）
視野率（撮影時）	上下左右とも約99%（対実画面）
視野率（再生時）	上下左右とも約100%（対実画面）
画像モニター	広視野角3.2型TFT液晶モニター、反射防止コート付き、約92万ドット（RGB）、輝度調節機能付き（5段階） バリアングル方式
視野率（撮影時）	上下左右とも約99%（対実画面）
視野率（再生時）	上下左右とも約100%（対実画面）



記録方式	
記録媒体	SD/SDHC/SDXC メモリーカード
対応規格	DCF、Exif 2.31準拠
ファイル形式	静止画：JPEG、RAW (NRW) (ニコン独自フォーマット) 動画：MP4 (映像：H.264/MPEG-4 AVC、音声：AACステレオ)
記録画素数	
静止画	16M [4608×3456]、8M [3264×2448]、4M [2272×1704]、 2M [1600×1200]、16:9 12M [4608×2592]、3:2 14M [4608×3072]、1:1 12M [3456×3456]
動画	2160/30p (4K UHD)、2160/25p (4K UHD)、1080/ 30p、1080/25p、1080/60p、1080/50p、720/30p、720/ 25p、720/60p、720/50p、HS 480/4倍、HS 720/2倍、 HS 1080/0.5倍
ISO感度 (標準出力感度)	<ul style="list-style-type: none"> • ISO 100* ~ 1600 * マニュアル動画モード時の最低ISO感度はISO 125 <ul style="list-style-type: none"> • ISO 3200、6400 (P、S、A、M、マニュアル動画モード時に設定可能)
露出	
測光モード	マルチパターン測光、中央部重点測光、スポット測光
露出制御	プログラムオート (プログラムシフト可能)、シャッター優先オート、絞り優先オート、マニュアル露出、AEブラケティング可能、露出補正 (±2段の範囲で1/3段刻み)可能
シャッター方式	
シャッタースピード	メカニカルシャッターとCMOS電子シャッターの併用 <ul style="list-style-type: none"> • 1/4000* ~ 1秒 • 1/4000* ~ 30秒 (MモードでISO 100時) ※ 広角側、小絞り側時 <ul style="list-style-type: none"> • バルブ撮影、タイム撮影 (MモードでISO 100時に設定可能)：最長 60秒 • 1/8000 ~ 1/30秒 (動画撮影時)
フラッシュ同調シャッタースピード	すべてのシャッタースピードで同調
絞り	
制御段数	10 (1/3 EVステップ) (広角側) (A 、 M モード)
セルフタイマー	10秒、3秒



フラッシュ	
内蔵フラッシュ調光範囲 (ISO感度設定オート時)	約0.3～12 m (広角側) 約5.0～8.0 m (35mm判換算の焦点距離が2000 mm相当時) • 35mm 判換算の焦点距離が 3000 mm 相当の場合 : 約 7.0 ～ 8.2 m (ISO 感度設定 3200 時)、約 7.0 ～ 11 m (ISO 感度設定 6400 時)
調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
調光補正	範囲 -2～+2段、補正ステップ 1/3ステップ
アクセサリシュー	
ホットシュー (ISO 518) 装備 : シンクロ接点、通信接点、セーフティーロック機構 (ロック穴) 付き	
外部インターフェース	
USB端子	Micro-USB端子 (付属のUC-E21以外のUSBケーブルは使わないでください)、Hi-Speed USB • ダイレクトプリント (PictBridge) 対応
HDMI出力端子	HDMIマイクロ端子 (Type D)
アクセサリターミナル	下記の別売アクセサリに対応 • リモートコード MC-DC2 • ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10、WR-1
外部マイク端子	ステレオミニジャック (Φ3.5 mm)、プラグインパワー対応
Wi-Fi (無線LAN)	
準拠規格	IEEE 802.11b/g (無線LAN標準プロトコル)
周波数範囲 (中心周波数)	2412～2462 MHz (1～11 ch)
出力	9.2 dBm (EIRP)
認証方式	オープンシステム、WPA2-PSK
Bluetooth	
通信方式	Bluetooth標準規格 Ver. 4.1
周波数範囲	Bluetooth : 2402～2480 MHz Bluetooth Low Energy : 2402～2480 MHz
電源	
Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL20a (リチウムイオン充電池 : 付属) ×1個 ACアダプター EH-5b/EH-5c (パワーコネクター EP-5Cと組み合わせて使用) (別売)	
充電時間	約3時間 (本体充電ACアダプター EH-73P使用時、残量のない状態からの充電時間)



電池寿命※1

静止画撮影時	約250コマ（EN-EL20a使用時）
動画撮影時 （実撮影電池寿命）※2	約1時間20分（EN-EL20a 使用時）

三脚ネジ穴 1/4（ISO 1222）

寸法（幅×高さ×奥行き） 約146.3×118.8×181.3 mm（突起部除く）

質量 約1415 g（電池、メモリーカード含む）

動作環境

使用温度	0℃～40℃
使用湿度	85%以下（結露しないこと）

- 仕様データは、CIPA（カメラ映像機器工業会）の規格またはガイドラインに準拠しています。

※1 電池寿命は、SnapBridge を使用していないときの値です。また、使用温度、撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などの使用状況によって異なります。

※2 動画の連続撮影可能時間（1回の撮影で記録可能な時間）は、メモリーカードの残量が多いときでも最長29分です。動画のサイズ/フレームレートが [2160/30p]（4K UHD）時は約6分以上、[2160/25p]（4K UHD）時は約7分以上撮影すると、複数の動画ファイル（1ファイルにつき最大4 GB）で記録され、連続再生できません。カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL20a

形式	リチウムイオン充電電池
定格容量	DC 7.2 V、1110 mAh
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約30.7×50.0×14.0 mm
質量	約42 g



本体充電ACアダプター EH-73P

電源	AC 100-240 V、50/60 Hz、MAX 0.14 A
定格入力容量	12-18 VA
定格出力	DC 5.0 V、1.0 A
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約55×22×54 mm
質量	約51 g

製品に表示されている記号の意味は下記の通りです。

～ AC（交流）、≡ DC（直流）、Ⓜ クラスⅡ機器（二重絶縁構造）

- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- カメラに表示されるサンプル画像、および説明書内の画像やイラストは、機能を説明するためのイメージです。



使用できるメモリーカード

SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードが使用できます。

- UHS-IIに対応しています。
- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のメモリーカードをおすすめします。動画のサイズ/フレームレートが [2160/30p] または [2160/25p] (4K UHD) の場合は、UHSスピードクラス3以上のメモリーカードをおすすめします。転送速度が遅いメモリーカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- カードリーダーなどをお使いの場合は、お使いのメモリーカードに対応していることをご確認ください。
- メモリーカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーにお問い合わせください。

商標説明

- Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、株式会社ニコンはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Apple®、App Store®、Appleロゴ、Mac、OS X、macOS、iPhone®、iPad®、iPod touch®およびiBooksは、Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社 (<http://www.iphone.co.jp/>) のライセンスに基づき使用しています。
- AndroidとGoogle PlayおよびGoogle Playロゴは、Google LLCの商標です。Androidロボットは、Googleが作成および提供している作品から複製または変更したものであり、クリエイティブ・コモンズ表示 3.0 ライセンスに記載された条件に従って使用しています。
- iOSの商標は、米国およびその他の国におけるCisco Systems, Inc.のライセンスに基づき使用しています。
- Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、およびReaderは、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- PictBridgeロゴは商標です。



- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。

HDMI

- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）

(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、©2012 The FreeType Project (<http://www.freetype.org>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、©2016 The HarfBuzz Project (<http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。



索引

マーク・英数

- 📷** オート撮影モード 31、32
📷 クリエイティブモード 31、44
SCENE シーンモード 31、33
A 絞り優先オートモード 31、46
S シャッター優先オートモード
..... 31、46
🌙 月モード 31、33、40
🐦 鳥モード 31、33、40
P プログラムオートモード 31、46
🎥 マニュアル動画モード 31、94
M マニュアル露出モード 31、46
U ユーザーセッティングモード
..... 31、52
🔍 拡大表示 27、80
W 広角ズーム 71
🖼️ サムネイル表示 27、81
T 望遠ズーム 71
🔍 クイックバックズームボタン
..... 3、5、72
Ⓚ 決定ボタン 4、6
▶ 再生ボタン 4、7、27
🗑️ 削除ボタン 4、7、28、83
● (🎥 動画撮影) ボタン
..... 4、6、25、90
DISP 表示切り換えボタン 4、7、8
Fn ファンクションボタン 2、7、70
🔍 フラッシュポップアップレバー
..... 2、25、55
MENU メニューボタン 4、7、113
|📺| モニターボタン 4、7、26
AE-L/AF-L ボタン 5、66、175
☺ セルフタイマー/笑顔自動シャッター
..... 54、58、60
🌸 フォーカスモード 54、61
🔍 フラッシュモード 54、55
☑ 露出補正 54、69
1 コマ表示 12、27、80、81
AC アダプター 103、206
AE-L/AF-L ボタン設定 119、175
AE ブラケットング 116、139
AF エリア 11、24、38、140
AF エリア選択 70、116、140
AF 表示 9、24
AF 補助光 2、119、172
AF モード 116、117、143、153
Av/Tv 操作切り換え 119、182
Bluetooth 118、162
COOLPIX カスタムピクチャーコント
ロール 116、117、128
COOLPIX ピクチャーコントロール
..... 70、116、117、124
CSM Picture Control 116、117、128
D- ライティング 84、118
EH-73P 219
EN-EL20a 218
EVF の自動切り換え 119、169
EVF の調整 167
Fn ボタン設定 70、114
HDMI 119、177
HDMI クリーンアウト 104、177
HDMI マイクロ端子 3、104
HDR 37
HS 動画 151、152
ISO 感度設定 70、116、117、137
Micro-USB 端子 3、17、105、109
M モード露出反映表示 117、148
NX Studio 103、109
PictBridge 103、105
Picture Control 70、116、117、124
USB ケーブル 17、103、105、109
User Setting 登録 53
User Setting リセット 53
Wi-Fi 118、162
ア
アイ センサー 4、26
赤目軽減 自動発光 56、57
赤目軽減 発光 56、57



赤目軽減ランプ	2、57	クイック調整	126
アクティブD-ライティング	116、144	クイックバックズーム	119、173
位置情報	119、182	組み合わせて使えない機能	75
色温度	130	クリエイティブモード	31、44
色の濃さ(彩度)	126	クローズアップ 	33、36
インターバル撮影	133、135	言語 /Language	119、176
打ち上げ花火 	33、37	広角ズーム	71
笑顔自動シャッター	54、60	光学ズーム	71
遠景 AF	62	格子線表示	11、167
オート撮影モード	31、32	高速連写	133
オートパワーオフ	24、119、176	コマンドダイヤル	7、46
オートフォーカス	61、65	コントラスト	126
オートフォーカスモード	116、117、143、153	コントロールリング	7、174
おまかせシーン 	31、33、34	コントロールリング設定	119、174
音量	99		
カ		サ	
カードなし時リリース	119、166	再生	27、90
カードの初期化	16、119、176	再生メニュー	118、157
顔認識	64	再生モード	27
顔認識オート	140	サイドズームレバー	3、5、23
拡大表示	27、80	サイドズームレバー設定	119、173
拡張子	205	先取り撮影	133、134
画質	70、116、121	削除	28、83
風切り音低減	117、154	撮影	22、31、90
画像回転	118、159	撮影後の画像表示	167
画像コメント	119、180	撮影時画像送信	118、161
画像サイズ	70、116、123	撮影情報	8
画像選択画面の操作方法	115	撮影メニュー	116、121、124
画像編集	83	撮影モード	31
画像モニター	4、8、18、192	撮影モードダイヤル	2、5、22、31
画面の明るさ	167	サマータイム	19、165
カレンダー表示	81	サムネイル表示	27、81
かんたんパノラマ 	33、41	シーンモード	31、33
簡単レタッチ	84、118	識別子	205
起動ポジション設定	117、148	時差	164
機内モード	118、161	自動発光	56
逆光 	33、37	視度調節ダイヤル	3、26
強制発光	56	絞り値	46
記録可能コマ数	22、122	絞り優先オートモード	31、46
記録可能時間	90、91	シャッター音	175
		シャッタースピード	46、49
		シャッターボタン	2、6、24、62



シャッター優先オートモード	31、46
充電器	206
充電式バッテリー	17
充電ランプ	2、17
常時 AF	143、153
使用できるアクセサリ	206
焦点距離	147、148、215
焦点距離の選択	40
初期化	16、119、176
シングル AF	143、153
スーパーラプス動画 	33、98
ズーム	71
ズームマイク	117、155
ズームメモリー	117、147
ズームレバー	2、5、71
水準器表示	11、167、168
ストラップ取り付け部	2、15
スピーカー	4
スポーツ 	33、35
スマートフォンと接続	118、161
スマートフォンと同期	164
スモールピクチャー	87、118
スライドショー	118、158
スローシンクロナイズ	56
スローモーション動画	151、152
静止画の切り出し	101
接続先切替	118、161
設定音	175
設定クリア	120、184
設定の初期化	119、162
セットアップメニュー	119、164
セルフタイマー	54、58
セルフタイマー解除設定	119、170
セルフタイマーランプ	2、59、60
セレクトカラー 	33、38
操作音	119、175
送信画像の指定	118、157
測光方式	70、116、132
外付けマイク感度	117、156
ソフト SOFT	33

夕

ターゲット追尾	141、142
ターゲットファインド AF	63、141
ダイナミックファインズーム	71
タイム撮影	50
タイムゾーン	19、165
タイムラプス動画 	33、96
ダイレクトプリント	103、105
多重露出	116、145
端子カバー	3、17、103
単写	133
地域と日時	19、119、164
調光補正	116、143
調色	127
著作権情報	119、181
通常 AF	62
通常発光	56
通信メニュー	113、161
月モード	31、33、40
低速限界設定	137
手ブレ補正	70、119、171
テレビ	103、104
電源	19
電源スイッチ	2、19
電源ランプ	2、24
電子ズーム	71、119、172
電子手ブレ補正	117、154
電子ビューファインダー	4、8、26、192
電池	16、217、218
電池残量	22
トーンレベル	13
トーンレベルインフォメーション	8、13
動画再生	27、90
動画撮影	25、90
動画設定	117、150
動画編集	100
動画メニュー	117、150
トリミング	80、88
鳥モード	31、33、40
トワイライト 	33



ナ

内蔵フラッシュ	2、55
夏時間	19、165
日時の設定	19、119、164
ノイズ低減フィルター	116、144

ハ

バージョン情報	120、184
パーティー 	33、35
パソコン	103、109
パソコン接続充電	119、179
バッテリーチャージャー	206
早送り動画	151、152
バルブ撮影	50
パワーコネクター	206
パワーコネクターカバー	4
半押し	6、24、62
ピーキング	120、184
ビーチ 	33
比較明合成 	33、39
ヒストグラム	13、69、167
日付写し込み	119、169
日付の表示順	19、164
美肌	85、118
美肌機能	65
ピント	24、91、140、143、153
ファイル名	205
フィルター効果	86、118、126
風景 	33、34
フォーカスモード	54、61
フォーカスモードセレクター	5
フォーカスロック撮影	66
フォーマット	16、119、176
フラッシュモード	54、55
プリセットマニュアル	131
プリンター	103、105
プリント	105、106、107
フレームレート設定	117、155
プログラムオートモード	31、46
プロテクト設定	118、159
別売アクセサリ	206
ペット 	33、38

ポートレート 	33
望遠ズーム	71
ホワイトバランス	70、116、117、129
本体充電 AC アダプター	17、219

マ

マイク (ステレオ)	2
マクロ AF	62
マニュアル動画メニュー	117、149
マニュアル動画モード	31、94
マニュアルフォーカス	67
マニュアル露出モード	31、46
マルチセレクター	6、54
メモリーカード	16、191、220
メモリーカードの初期化	16、119、176
メモリー残量	22、90
モニター設定	119、167
モニターの調整	167

ヤ

夜景 	33、36
夜景ポートレート 	33、35
ユーザーセッティングモード	31、52
夕焼け 	33
雪 	33
用紙設定	106、107

ラ

リアシンク口	56
リチウムイオン充電電池	16、218
リモコン	210
リモコンとの接続	118、161
リモコンのペアリング	213
料理 	33、37
輪郭強調	126
レディーライト	55
連写	40、70、116、133
連写グループ	28、82
連写グループ表示方法	118、160
連写の代表画像選択	118、160
レンズ	2、192、215



レンズキャップ	15
レンズフード	15
連番リセット	120、183
ロータリーマルチセクター	6、54
露出補正	54、69
露出モード	117



ニコンプラザについて

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。

※ ニコンプラザサービスセンターでは持ち込み修理の受け付けも行っていきます。インターネットでの事前予約が必要となります。詳細については、下記のホームページをご覧ください。



ニコンプラザショールーム ナビダイヤル

0570-02-8080



ニコンプラザサービスセンター ナビダイヤル

0570-02-8060

- ・ 音声ガイダンスにしたがってご利用ください。
- ・ ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター (03) 6702-0577 におかけください。

ニコンプラザの所在地、営業時間などについては、下記URLをご覧ください。

<https://www.nikon-image.com/support/showroom/>



修理に関するお問い合わせ先

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター



修理センター ナビダイヤル

0570-02-8200

- ・ 営業時間などの詳細については、下記のホームページをご覧ください。
<https://www.nikon-image.com/support/repair/>
- ・ ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター (03) 6702-0577 におかけください。



修理サービスのご案内

■インターネットでのお申込み

ニコンイメージングジャパン修理センターで承ります。
下記のホームページからお申込みいただけます。

<https://www.nikon-image.com/support/repair/>



- ・ニコンピックアップサービスで発送する場合
ご自宅への修理品専用梱包資材のお届けから修理完了品の返送までをセットで
ご提供いたします。詳細については、上記のホームページをご覧ください。

■お電話でのお申込み

お電話でもニコンピックアップサービスをご利用いただけます。詳細については、
上記のホームページをご覧ください。



ニコンピックアップサービス専用 フリーダイヤル
0120-02-8155

■サービスセンターでのお手続き

ニコンプラザのサービスセンター窓口でお見積り・受付をいたします。インター
ネットでの事前予約が必要となります。詳細については、上記のホームページを
ご覧ください。

■補修用性能部品と修理可能期間について

補修用性能部品（機能維持に必要な部品）の保有期間内を、修理可能期間とさせ
ていただきます。なお、部品保有期間の経過後も修理できる場合もありますので、
ニコンサービス機関、ご購入店または最寄りの販売店にお問い合わせください。ま
た、水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、保有期
間内であっても修理できません。この故障や破損の程度の判定は、ニコンサービス
機関にお任せください。



製品の使い方に関するお問い合わせ先

■インターネットでのお問い合わせ

<https://www.nikon-image.com/support/contact/>

■お電話でのお問い合わせ

お電話でお問い合わせいただく前に本説明書の「故障かな?と思ったら」をご参照ください。



ニコンカスタマーサポートセンター ナビダイヤル

0570-02-8000

- ・ 営業時間などの詳細については、上記のホームページをご覧ください。
- ・ ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター (03) 6702-0577 におかけください。

ニコンイメージング会員「製品登録」のご案内

ニコンでは製品を安全に、安心してご使用いただくため「製品登録」へのご協力をお願いしております。ご登録いただいた製品に関するファームアップ情報や重要なお知らせなどをメールでご案内いたします。ニコンイメージング会員登録および製品登録は以下ニコンホームページからお手続きください。

ニコンイメージング会員のご案内

<https://www.nikon-image.com/enjoy/membership/about/>

ニコンイメージングサポートページのご案内

<https://www.nikon-image.com/support/>

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデート情報をご覧ください。製品をより有効にご利用いただくために、定期的なアクセスをおすすめします。



株式会社 **ニコン**

株式会社 **ニコン イメージング ジャパン**

© 2018 Nikon Corporation

YP2G09(10)
6MQA5710-09